平成 2 9 年 第 1 回

千 早 赤 阪 村 議 会 定 例 会
会 議 録

平成 2 9 年 2 月 2 7 日 開会

1 7 日 間

平成 2 9 年 3 月 1 5 日 閉会

千 早 赤 阪 村 議 会

平成29年第1回千早赤阪村議会定例会会議録（第1号）

1. 招集年月日

平成29年2月27日

2. 招集の場所

千早赤阪村役場 二階議事堂

3. 出席議員

1番 井上昭司

2番 関口ほづみ

3番 徳丸幸夫

4番 浅野利夫

5番 清井浩

6番 田中博治

7番 山形研介

4. 欠席議員

なし

5. 署名議員

2番 関口ほづみ

3番 徳丸幸夫

6. 職務のため議場に出席した者の職氏名

局長 松村典英 主査 井ノ本純一

7. 地方自治法第121条により、説明のため出席した者の職氏名

村長 松本昌親 副村長 清水秀都

教育長 矢倉龍男 人事財政課長 菊井佳宏

理事兼地域戦略室長 高橋昭二 会計管理者兼
総務課長 中野光二

住民課長 池西昌夫 健康福祉課長 和田博幸

健康福祉課参事 西口美和 観光・産業振興課長 森田洋文

施設整備課長 赤阪秀樹 施設整備課理事 西川浩和

施設整備課理事 松本賢一 教育課長 北浦秀明

教育課参事 近藤和浩

8. 議事日程

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 諸報告

日程第4 議案第5号 専決処分（平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算

（第10号））の承認を求めることについて

- 日程第 5 議案第 6 号 専決処分（平成 28 年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第 3 号））の承認を求めることについて
- 日程第 6 議案第 7 号 千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定について
- 日程第 7 議案第 8 号 千早赤阪村情報公開条例等の改正について
- 日程第 8 議案第 9 号 千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について
- 日程第 9 議案第 10 号 千早赤阪村税条例等の改正について
- 日程第 10 議案第 11 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について
- 日程第 11 議案第 12 号 職員の育児休業等に関する条例の改正について
- 日程第 12 議案第 13 号 一般職の職員の給与に関する条例の改正について
- 日程第 13 議案第 14 号 千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正について
- 日程第 14 議案第 15 号 千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正について
- 日程第 15 議案第 16 号 千早赤阪村国民健康保険条例の改正について
- 日程第 16 議案第 17 号 千早赤阪村宮香楠荘設置及び管理に関する条例の改正について
- 日程第 17 議案第 18 号 千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正について
- 日程第 18 議案第 19 号 平成 28 年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分について
- 日程第 19 議案第 20 号 権利の放棄について
- 日程第 20 議案第 21 号 平成 28 年度千早赤阪村一般会計補正予算（第 11 号）について
- 日程第 21 議案第 22 号 平成 28 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について
- 日程第 22 議案第 23 号 平成 28 年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について
- 日程第 23 議案第 24 号 平成 28 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について

- 日程第 2 4 議案第 2 5 号 平成 2 8 年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算
(第 4 号) について
- 日程第 2 5 議案第 2 6 号 平成 2 8 年度千早赤阪村水道事業会計補正予算 (第 3
号) について
- 日程第 2 6 議案第 2 7 号 平成 2 9 年度千早赤阪村一般会計予算について
- 日程第 2 7 議案第 2 8 号 平成 2 9 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算に
ついて
- 日程第 2 8 議案第 2 9 号 平成 2 9 年度千早赤阪村介護保険特別会計予算につい
て
- 日程第 2 9 議案第 3 0 号 平成 2 9 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算
について
- 日程第 3 0 議案第 3 1 号 平成 2 9 年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算につ
いて
- 日程第 3 1 議案第 3 2 号 平成 2 9 年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算
について

午前10時00分 開議

○井上議長 皆さんおはようございます。

ただいまの出席議員は7名でございます。定足数に達しておりますので、平成29年第1回千早赤阪村議会定例会を開会いたします。

まず初めに、松本村長より挨拶がございます。

○松本村長 皆さんおはようございます。

今日は、平成29年度の予算審議の議会でございます。ちょうど国会では、予算の金額は私どもの村と非常に違い大きいございますが、本日衆議院で通過し、年内に成立すると言われております。私どもの村も少々金額に違いはございますが、本日一般会計、特別会計56億3,000万円を上程させていただきます。

千早赤阪村は、平成26年度に過疎指定を受けました。私は、日本で初めて過疎から脱却する村をテーマに人口増1,000人、税収増3億円を夢としており、夢が目標となって、目標が現実となる日は遠い将来ではないと思っております。皆さんの協力を得ながら、私は夢に向かって進んでいきたいと考えております。

私たちの村は、住民の皆様が全ての面で行政依存度が非常に高いと感じております。各種委員会、外郭団体でも職員が懸命にサポートしているような状況でございます。本来は、住民主導で運営していただき、職員はただバックアップに当たるというのが本来の姿と私は考えております。住民の皆さんの盛り上がりを形にすることで、村全体のパワーが上がり、村が過疎から正常に戻る力ができると思っております。継続して議員を続けていただく先生、議員をおやめになる先生もおいでとのうわさもございますが、ぜひ皆様に村発展に力をかしていただき、村は去年より間違いなく確実によくなったと言われる村づくりを職員一同とともに行ってまいりたいと思っております。議員先生の御健闘を祈念するとともに、よい村づくりへの御協力をお願いし、開会の御挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

○井上議長 次に、2月21日に開催されました議会運営委員会の報告を求めます。

清井議会運営委員長。

○清井議会運営委員長 去る2月21日に開催いたしました議会運営委員会におきまして、今期定例会の上程予定議案についての審議方法を審査いたしましたので、御報告申し上げます。

まず、本日の付議案件は、議事日程のとおり議案第5号から議案第32号までの28議案でございます。

審議方法は、議案第5号及び議案第6号を1議案ごとに本会議において審議することに

決しております。

議案第7号から議案第26号の20議案は、村長の提案理由及び総括質疑の後、所管の常任委員会に付託することに決しております。

なお、議案第11号及び議案第12号は一括議題といたします。

議案第27号から議案第32号の平成29年度予算6議案については、村町の村政運営方針、各会計の概略説明を受け、総括質疑の後、所管の常任委員会に付託することに決しております。

なお、今期定例会の会期は本日2月27日から3月15日までの17日間と決しておりますので、あわせて御報告申し上げます。

以上でございます。

○井上議長 ありがとうございます。

これより本日の日程に入ります。

~~~~~

○井上議長 議事日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定によって、2番関口議員、3番徳丸議員を指名いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日2月27日から3月15日までの17日間といたしたいと思っております。これに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は本日2月27日から3月15日までの17日間と決しました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第3、諸報告に入ります。

南河内環境事業組合議会の徳丸議員から、組合議会定例会の経過報告がございます。

徳丸議員。

○徳丸議員 去る2月16日に開催されました平成29年第1回南河内環境事業組合議会定例会の報告を申し上げます。

本会議前に議員全員協議会が開催された後、本会議が開かれ、7件の提出案件がありました。河南町、太子町選出議員の異動報告、組合職員の勤務時間等に関する条例の専決処

分、組合職員の退職手当に関する条例の専決処分、一般職の職員の給与に関する専決処分、いずれもこれらは原案どおり承認されました。

議案第1号、一般会計補正予算第1号、議案第2号、平成29年度環境事業組合一般会計予算は、歳入歳出予算総額を21億8,166万2,000円とするもので、いずれも原案のとおり可決されました。

なお、千早赤阪村の分担金は前年度比273万4,000円の減で5,751万4,000円となっております。

監査報告第1号は、特に問題はなかったとの報告がありました。

以上で簡単ですが報告を終わります。なお、詳細な会議録等については、事務局にありますのでごらんいただきたいと思います。

以上です。

○井上議長 続きまして、1月18日、19日に実施いたしました議員会派研修について、関口議員から研修報告をいただきます。

関口議員。

○関口議員 1月18日、島根県中山間地域研究センターで、中山間地域の活性化に取り組んでいる事業やその施設を見学すると同時に、センターの研究統括官である藤山浩氏県立島根大学連携教授より、地元にと仕事を取り戻し、現状の人口を維持するために成功している全国の事例などを聞き、研修をしてまいりました。

研修センターは、島根県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県の中国地方5県の共同センターとして、中山間地域の振興や農業、畜産、林業などの研究、事業実施、研修など、多面的な活動を行っております。例えば、耕作放棄地活用対策として、耕作放棄地の発生を防止するには周辺の農地整備が必要です。この作業を省力、低コストで実施するために、牛の放牧が有効な技術であるため、放牧牛と資材の貸し出しを行っております。また、手をかけなくても育つアカメガシワの栽培を進め、健康増進作用が認められている茶葉の商品化などで成果を上げています。イノシシや熊被害対策などももちろん進めております。

藤山先生の研修では、都会のそびえ立つビルやタワーマンションで暮らすより、人口減少に悩む中山間地域こそ、次世代が定住できる地域であり、田園回帰が求められている時代である。必要な定住増加人数は、人口総数の1%弱で安定化が可能という話をされました。千早赤阪村でのシミュレーションも示して、毎年39世帯、20代前半の男女、30代子連れ夫婦、60代前半夫婦、こうした人たちの定住増加があれば、5,000人の人口水準が維持できること、それを各地区に当てはめれば大きな数字ではなく、実現可能ではないかという内容でありました。

そのほか、住民出資で地域に共同売店ができた地域、元気なお年寄りも運営に参加する集会所での地元ランチレストランで介護費用が節減できている報告などもありました。村でも、各地区の老人憩いの家で月1回の喫茶室が開かれておりますが、こうした活動が先生の報告の内容と重なりました。

また、人口水準を維持するためには大きな住宅開発ではなく、今ある空き家の活用を積極的に進めることが人口維持をするために大事ではないかとも私は思いました。

以上で報告といたします。

○井上議長 以上で諸報告を終わります。ありがとうございました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第4、議案第5号専決処分（平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号））の承認を求めることについてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第5号は、平成29年2月1日付で専決処分いたしました平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号）について、議会の承認を求めるものでございます。

本予算は、想定以上にふるさと応援寄附金がふえたことによる返礼品等、経費や人事異動に伴う職員人件費及び新庁舎建設計画の見直しに伴う行政監査経費などを補正させていただくものでございまして、歳入歳出それぞれ1,046万7,000円を追加いたしまして、予算総額を33億7万4,000円といたすものでございます。

内容につきましては担当より説明いたしますので、よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由といたします。

○井上議長 詳細説明を菊井人事財政課長。

○菊井人事財政課長 それでは、議案第5号の平成29年2月1日付で専決処分いたしました平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号）につきまして御説明申し上げます。

10ページの歳入歳出補正予算事項別明細書の3、歳出から御説明申し上げます。

10ページをお開きください。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、補正額451万1,000円の増、全額一般財源で、ふるさと応援寄附金の増加に伴います委託料などがございます。

6項監査委員費、1目監査委員費、補正額15万2,000円の増、全額一般財源で、行政監査の実施による費用弁償でございます。

続いて、4款衛生費、2目清掃費、1目清掃総務費、補正額106万4,000円の増と、次の7款土木費、3項都市計画費、2目下水道費、補正額106万4,000円の減は、1月20日付で行いました施設整備課から住民課への職員の人事異動に伴います職員人件費の増減補正でございます。

続きまして、8ページをお開きください。

8ページ、歳入でございます。

17款寄附金、1項寄附金、1目寄附金、補正額580万4,000円の増、ふるさと応援寄附金でございます。

18款繰入金、2項基金繰入金、3目財政調整基金繰入金、補正額466万3,000円の増でございます。

以上、御説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○井上議長 これより本案に対する質疑に入ります。

浅野議員。

○浅野議員 ちょっと1点お聞きします。

ふるさと応援寄附金ということで、かなりふえたということであります。かなりPRが行き届いているということで、本当に喜ばしいことかなと思いますし、返礼品の中身もいいというふうに思っております。

今回は580万円ですけれども、28年度総額で幾らふるさと応援寄附金があるのか教えていただけますか。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 寄附金につきましては、きのう現在でいきますと1億9,571万7,060円となっております。

以上です。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 では、きのう現在ですので、まだあと一カ月以上ありますけど、目標としては、目標が合ってへんかどうかわかりませんが、2億円超しそうですか。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 これまでの実績を見ておきますと、大体あと残り四百数十万円で2億円に達しますので、2億円は超えるというふうに見込んでおります。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 そのうち、いろいろ委託料とかJTBいろいろとかヤフーとか払っていくと思いますけど、実質この村に残るのは幾らぐらいでしょうか。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 返礼品とか委託料を引きますと、大体4割弱程度が実質村に残りますので、2億円としますと8,000万円弱ぐらいが実質な入りというふうに見込んでおります。

以上です。

○井上議長 ほかにございませんか。

田中議員。

○田中議員 ふるさと納税というのが、きょうの朝日新聞の社説の中に、ここへ切り取ってきたんですけど。例えば、今年度はもう終わりですけど、来年、年度が変わった場合、返礼品より人で競えというふうに言われていますけど、その辺村としてはどちらを重点的にまず置かれますか。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 総務省、国の指針としましては、やはり過度な競争が生じているということから、こういった金品の返金ができるような商品は好ましくないというような指導は入っておりますけども、やはり村としては村自身の、地元の特産品がなかなか少ないということがありますので、いろんな協賛のメーカーさんに協力いただいて、村としてなるべく寄附金をいただけるような仕組みを継続していきたいというふうに考えております。

○井上議長 ほかに。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 ほかにないようですので、これにて本案に対する質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第5号につきましては、会議規則第38条第3項の規定により本会議で議決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、議案第5号につきましては本会議で議決することに決しました。

これより議案第5号に対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

本案に御意見があれば賜ります。

(「意見なし」との声あり)

○井上議長 これより議案第5号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり承認することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり承認されました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第5、議案第6号専決処分(平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算(第3号))の承認を求めることについてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第6号は、平成29年2月1日付で専決処分いたしました平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算(第3号)について、議会の承認を求めるものでございます。

本議案につきましては、歳入歳出それぞれ106万4,000円を減額いたしまして、予算総額を2億5,987万8,000円といたしましたものでございます。

主な内容でございますが、歳入では一般会計繰入金を106万4,000円減額するものでございます。歳出では、下水道建設費の職員人件費の減額が主なものでございます。よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明といたします。

○井上議長 これより本案に対する質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第6号につきましては、会議規則第38条第3項の規定により本会議で議決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、議案第6号につきましては本会議で議決することに決しました。

これより議案第6号に対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

本案に御意見があれば賜ります。

(「意見なし」との声あり)

○井上議長 これより議案第6号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり承認することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり承認されました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第6、議案第7号千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第7号は、千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定についてでございます。

本議案は、面積3,000平方メートル未満、土砂量500立方メートル以上の土砂埋め立て等について規制する条例の制定をお願いするものでございます。

住民の安全・安心の確保を最優先に、埋め立て等行為の現場においては、適切に実施させるため、制度として大阪府土砂埋め立て等の規制に関する条例が平成27年7月に施行されていますが、本村においても府条例が適用されない小規模な土砂埋め立て等を対象とした同等の基準の条例を制定するものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明といたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第7号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第7、議案第8号千早赤阪村情報公開条例等の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第8号は、千早赤阪村情報公開条例等の改正についてでございます。

本議案は、平成29年4月1日より本村の水道事業を大阪府広域水道企業団が運営することに伴い、村の実施機関から水道事業管理者を削除するものでございます。また、個人情報保護条例の一部改正及び個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部改正につきましては、個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、適用条文の条ずれを改正するものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第8号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第8、議案第9号千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第9号は、千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正についてでございます。

本議案は、個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、適用条文の条ずれを修正するものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第9号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第9、議案第10号千早赤阪村税条例等の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第10号は、千早赤阪村税条例等の改正についてでございます。

本議案は、平成28年11月28日に地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の改正を行うものでございます。

主な内容としましては、住宅ローン控除制度の適用期限の延長、消費税増税延期に伴う軽自動車税の環境性能割創設及び法人税割の税率の延期等の改正でございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明といたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第10号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第10、議案第11号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について及び議事日程第11、議案第12号職員の育児休業等に関する条例の改正についての2議案を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第11号から議案第12号までは、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について及び職員の育児休業等に関する条例の改正について、関連いたしますので一括して提案するものでございます。

これらの議案は、育児または介護を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするため、育児休業、介護休暇等に係る制度改正を行うものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明といたします。

○井上議長 これより2議案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて2議案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第11号及び議案第12号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第12、議案第13号一般職の職員の給与に関する条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第13号は、一般職の職員の給与に関する条例の改正でございます。

本議案は、再任用職員で金剛山ロープウェイ安全統括管理者に選任された者の給料を定めるため改正を行うものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第13号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第13、議案第14号千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第14号は、千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正についてでございます。

本議案は、行政不服審査法に基づく審理員に弁護士を指名する場合、適切な報酬の支払いができるよう限度額の引き上げの改正を行うものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

徳丸議員。

○徳丸議員 1万5,000円を2万5,000円に改めるという大幅な引き上げですけど、対象者は何人ぐらいいてはりますか。

○井上議長 菊井課長。

○菊井人事財政課長 この件につきまして、今後弁護士さんなりを雇用する可能性があるということで限度額を引き上げてるような状況でございまして、あったときにお願いするというような状況でございまして、そのために今ちょっと上げてるような状況でございまして。

○井上議長 ほかにございせんか。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 ほかにないようですので、これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第14号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第14、議案第15号千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第15号は、千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正についてでございます。

本議案は、児童福祉法の改正に伴い、条例の整備を行うための改正でございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第15号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第15、議案第16号千早赤阪村国民健康保険条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第16号は、千早赤阪村国民健康保険条例の改正についてでございます。

本議案は、国民健康保険法施行令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものでございます。内容については、国民健康保険料の軽減措置について、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を改正し、賦課限度額においては中間所得者層の負担を軽減するため、賦課限度額改正で、その他は外国人等の国際運輸業に係る所得に関する相互主義による所得税等の非課税に関する法律施行令等の一部を改正する政令に伴い改正するものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第16号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第16、議案第17号千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第17号は、千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正についてでございます。

本議案は、千早赤阪村営宿泊施設香楠荘を改修し、多目的室を設けたための利用料金の設定でございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第17号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員

会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第17、議案第18号千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第18号は、千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正についてでございます。

本議案は、金剛山ロープウェイを本年度から新たに指定管理者において運営しているところでございますが、現在運営している運賃等の内容を明確にするため条例を改正するものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第18号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第18、議案第19号平成28年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第19号は、平成28年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分についてでございます。

積立金につきましては、減債積立金で4,076万5,715円、建設改良積立金700万円を取り崩すものでございます。内容といたしましては、未処理欠損金2,173万2,848円と繰越利益剰余金2,603万2,867円に振りかえ処分するものです。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第19号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第19、議案第20号権利の放棄についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第20号は、権利の放棄についてでございます。

本議案は、徴収停止となっている水道料金の債権を放棄するため、地方自治法第96条第1項第10号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明といたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第20号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第20、議案第21号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算(第11号)についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第21号は、平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算(第11号)についてでございます。

本議案は、歳入歳出それぞれ1億2,025万7,000円を減額いたしまして、予算総額を31億7,981万7,000円とするものでございます。主な内容でございますが、歳入におきましては村税、地方特例交付金、地方交付税等の一般財源の増減補正、また国庫支出金及び府支出金繰入金、村債、その他特定財源の決算見込みに伴います増減の補正でございます。一方、歳出につきましては4月から大阪水道企業団へ身分移管に伴う退職手当金負担金の増額補正や特定財源の確定等に伴います財源更正及び不用によります減額補正などを行わせていただきました。なお、不用等によります剰余金につきましては、財政調整基金積立金で調整しております。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第21号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会並びに文教建設常任委員会にそれぞれ所管の項目を分割付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第21、議案第22号平成28年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第22号は、平成28年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)でございます。

事業勘定においては、歳入歳出それぞれ2,928万6,000円を減額いたしまして、予算総額を10億8,481万9,000円とするものでございます。歳入の主なものにつきましては、保険料や療養給付費等負担金などの国庫支出金や府支出金ほか、特定財源の実績見込みに伴います増減の補正でございます。歳出につきましては、実績見込みに伴います総務費、後期高齢者支援金、保険事業費、共同事業拠出金などの不用額の減及び財源更正、一般被保険者療養給付費等の増額でございます。

直営診療施設勘定につきましては、歳入歳出それぞれ16万4,000円を減額いたしまして、予算総額を1,263万5,000円といたしましたものでございます。歳入につきましては、一般会計繰入金及び事業勘定繰入金などの確定に伴います減額補正でございます。歳出につきましては、一般管理費の不用額の減額でございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

関口議員。

○関口議員 平成28年度の医療費が非常に膨らむという心配もある中で、一般会計からの繰入金の270万円、また国保の財政調整基金の5,270万円を繰り入れしなくとも行けるという状況は読み取れるんですけど、この予算の中で、平成28年度の医療費の動向といたしますか、平成28年度については医療費はどういう動向であるかというのがわか

ったらお聞かせいただきたいと思います。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 医療費給付費のほうですけども、平成27年度実績なんですけども、対前年で約8,500万円ほど増加いたしました。それで、平成28年度の見込みですけども、27年度と同額程度を見込んでおります。それで、最近の傾向なんですけども、冬場なんですけども、対前年で2カ月連続で1,000万円ほど減少しておるところです。

○井上議長 関口議員、付託いたしますので。

○関口議員 わかりました。

○井上議長 ほかにございませんか。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第22号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第22、議案第23号平成28年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算(第3号)についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第23号は、平成28年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算(第3号)についてでございます。

本議案は、歳入歳出それぞれ6,718万2,000円を減額いたしまして、予算総額を6億8,046万1,000円とするものでございます。

歳入の主なものにつきましては、国庫支出金、支払基金交付金、府支出金の特定財源の減額でございます。

歳出につきましては、総務費、保険給付費など、不用額の減額並びに財源更正でございます。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げ、提案の理由といたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第23号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員

会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第23、議案第24号平成28年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第24号は、平成28年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてでございます。

本議案は、歳入歳出それぞれ553万円を減額いたしまして、予算総額を9,863万3,000円とするものでございます。主な内容でございますが、歳入は後期高齢者医療保険料及び一般会計繰入金などの減額でございます。歳出につきましては、総務費、広域連合納付金などの経費の不用による減額でございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

関口議員。

○関口議員 総括質問というほどのものではないんですけども、今村長が歳入歳出それぞれ553万円の減額と言われたんですけど、55万3,000円の減額ではないかと、確認したいんですが。もし、それが55万3,000円であるのなら、そのところは訂正していただきたい。議事録に載ったときに、と思います。

○松本村長 済いません、55万3,000円の訂正でございます。申しわけございません。

○井上議長 ほかにございませんか。

（「質疑なし」との声あり）

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第24号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により総務民生常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第24、議案第25号平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第25号は、平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第4号）についてでございます。

本議案は、歳入歳出それぞれ1,552万2,000円を減額いたしまして、予算総額を2億4,435万6,000円とするものでございます。

歳入では、分担金及び負担金を20万2,000円、下水道使用料を25万9,000円増額し、一般会計繰入金を988万2,000円、村預金利子を1,000円、下水道事業債を610万円減額するものでございます。

歳出では、下水道総務費、下水道建設費、公共下水道管理費、公債費の減額が主なものでございます。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

（「質疑なし」との声あり）

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第25号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員会に付託いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第25、議案第26号平成28年度千早赤阪村水道事業会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第26号は、平成28年度千早赤阪村水道事業会計補正予算（第3号）についてでございます。

収益的収支につきましては、営業収益で2,186万1,000円を増額するものでございます。内容といたしましては、大阪広域水道企業団身分移管に伴う退職手当金と人事異動に伴う人件費負担金の増額でございます。

収益的支出につきましては、営業費用を1,969万6,000円を増額するものでございます。内容といたしまして、大阪広域水道企業団への身分移管に伴う退職給付引当金の増額でございます。

よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げ、提案の理由並びに説明いたします。

○井上議長 これより本案に対する総括質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて本案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第26号につきましては、会議規則第38条第1項の規定により文教建設常任委員会に付託いたします。

ここで休憩を行います。

11時10分から再開いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時10分 再開

○井上議長 休憩前に引き続き、再開いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第26、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算についてから議事日程31、議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算についての6議案を一括議題といたします。

提案者の説明並びに村政運営方針を求めます。

松本村長。

○松本村長 ただいま一括上程されました議事日程第26、議案第27号から議事日程第31、議案第32号までは、平成29年度の一般会計、特別会計でございます。提案申し上げるに当たり、村政運営方針をもって所信の一端を申し述べ、議員各位並びに村民の皆さんの村政に対する一層の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、将来の千早赤阪村にとって最良の選択は何かということを常に考え行動してまいりました。村政のかじ取り役としてその責任の重さを痛感しながらも、本村が村内外を問わず愛されるように、ふるさと納税の返礼品の向上を図ったことで、昨年度に比べ60倍以上の1億8,000万円を上回るふるさと納税をいただき、またプロモーションビデオは3週間で17万件を超える閲覧数になるなど、魅力発信やB型肝炎ワクチン定期接種化にあわせて、全国で初めて任意予防接種費用の助成拡大を行い、子育てに優しい村の実現に向けた一歩を踏み出すなど、確かな歩みを進めた1年であったと考えております。

今後も、本村が乗り越えなければならない課題の一つ一つに真摯に向き合い、村民の皆さんの知恵と力を結集し、村民の皆さんと行政が力を合わせ、第4次総合計画の将来像である「みんなが集う、みんなで育む、みんなに優しい、みんなを結ぶ ーちはやあかさか」の実現に向け、前進全霊をかけて取り組みます。また、本村の重要施策の一つである役場庁舎建設については、計画見直しに伴い住民アンケートを実施したところで、皆さんの安心・安全の拠点となる新庁舎の建設を強力に推進してまいります。

続きましては、平成29年度予算の概要及び本村の財政状況について申し上げます。

平成29年度の一般会計予算編成におきましては、国の経済財政の現状と地方財政の動向、本村の財政状況を踏まえ、第4次総合計画、過疎地域自立促進計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、人口の維持、地域の活性化に向けての取り組みを行うため、地域おこし協力隊を活用した農業や集落の活性化、地域が抱える課題解決のための地区への補助制度の創設、来村者をおもてなしするためトイレや看板の整備、また村民の皆さんが安心して暮らせるよう、引き続き防犯カメラの設置や街灯のLED化、指定管理者の変更による診療体制の充実、地域医療の推進、各種健診の無償化など、さらには夢を持って子育てができるよう、学校給食費の助成や保育料の助成拡大、産後ケアの充実、子育て世帯への家賃補助など、若年層や子育て世代の定住を図ることで、生産年齢人口、将来を担う年少人口を増加させ、村民力が結集された選ばれるまちを目指すための責めの予算を編成いたしました。

また、厳しい財政状況であるとの認識のもと、全ての事業において最少の経費で最大の効果を得られるよう、国の交付金なども活用しながら村民の皆さんの声を少しでも多く反映できるよう努めてまいりました。その結果、平成29年度の当初予算における一般会計は、31億3,515万5,000円、特別会計総予算額は24億9,582万2,000円で、一般会計及び特別会計総額は56億3,097万7,000円となりました。

それでは、平成29年度に取り組む主要な施策について、第4次総合計画における村づくりの基本方向の6つの基本柱に沿って御説明申し上げます。

まず、基本柱1「安全・安心・環境～豊かな自然と共生し やすらぎのある暮らしを育む むらづくり～」につきましては、防災対策の推進として新庁舎の建設について、大規模災害が発生した場合に十分な防災機能を発揮し、村民の皆さんが安心して利用できる庁舎として整備するため早期に新庁舎建設案を決定するなど、一日も早い防災拠点施設の完成を目指します。

また、災害等に備え、村民の皆さんがより安全・安心に生活できるよう、昨年度見直した地域防災計画に基づき、災害に対する危機管理機能の向上に努めるとともに、被害の低減、地域の防災力の向上を目指します。

さらに、住宅耐震化事業では、耐震診断、設計、改修費用の補助、また耐震性の低い住宅の除去費用についても補助を引き続き実施します。

防犯対策では、地域での犯罪などを未然に防止し、村民の皆さんが安心して暮らせることができる村づくりを目指すため、最終年度となる地区防犯灯のLED化の補助事業を実施するとともに、昨年度に引き続き防犯カメラの設置事業を実施します。

消防救急体制では、消防団の消防車車両の更新など消防救急体制の充実を図ります。

水道事業では、将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するため、今年度より大阪広域水道企業団が運営を行います。

公共下水道では、二河原辺地区の未整備地域の污水管渠設置工事を行うとともに、下水道処理区域外については、合併浄化槽の維持管理や浄化槽設置に伴う助成制度を引き続き実施することで、浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進し、公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の向上などに努めます。

次に、基本柱2「健康・福祉～心と体の健康を みんなで育む むらづくり～」については、今年度から産婦の心身の不調や産後鬱等を防ぐため、母子心身ケアや児童サポートを行う産後ケア事業を実施するとともに、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、保育料の助成を拡大するなど、地域における切れ目のない妊娠、出産、子育て支援の実現や子育てに優しい村をつくります。

また、今年度より国民健康保険診療所の指定管理者を公益社団法人地域医療振興協会に指定し、診療体制の充実及び地域医療の推進に努めます。そのほか、がん診療を初めとする各種健康診査費用の無料化を継続し、受診しやすい体制づくりを行い、乳幼児や高齢者に対する疾病予防として任意の予防接種についても公費助成を引き続き実施します。

高齢者福祉では、超高齢化社会に対応するため、千早赤阪村高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第6期に基づき、高齢者が住みなれた地域でいつでも安心して暮らせるよう、地域包括支援センターを中心に介護予防事業の機能強化とともに、地域の支え合い体制の整備や医療と介護の連携を推進し、認知症高齢者支援に取り組みます。

次に、基本柱3「教育・歴史・伝統～歴史・文化、人が育む むらづくり～」について、今後ますます少子化が進むことが予想される中、若い世代が家庭を持ち、安心して子育てができる環境づくりを行うため、幼稚園児、小・中学生の子どもを持つ世帯を対象に、千早赤阪村学校給食費補助金を交付し、子育て世帯における負担軽減を図ります。

また、国際化時代に対応できる人材を育成するため、中学生と高校生を対象にホームステイや現地校での語学研修を行う海外派遣事業、中学生に対する英語検定費用の補助を引き続き実施いたします。

学校教育では、確かな学力を育成するため、各学校で成果と課題を明確にした指導計画を立て、それに基づき指導方法の改善や工夫を進めます。豊かな給食を今後も安定的に提供できる環境を確保するため、食物アレルギー対策をより確実に実施し、食育の異なる推進と安全な給食を提供します。

次に、基本柱4「観光・産業・地域振興～地域資源を生かし村民の元気を育む むらづ

くり～」につきましては、まず観光振興については昨年日本を訪れた外国人は2,400万人を超え、来阪外国人も941万人といずれも過去最高を更新しています。本村では、昨年度に民間企業と連携した金剛山の里ツーリズムビューローを設立し、領事館関係者を対象としたビュースポットツアーの開催や外国語観光ホームページ、ガイドブックを作成するなど、外国人の受け入れ環境整備を進めています。今年度は、楠公誕生地のトイレの改修整備等に加え、点在するさまざまな観光資源をネットワーク化するため、適所におもてなしのスポットや誘導サイン整備等を進め、観光客の回遊性と滞在時間の増加を促す施策を取り組んでまいります。

また、道の駅ちはやあかさかにつきましては、先進的な事例などを参考に、今後の道の駅のあり方を調査研究してまいります。金剛山ロープウェイや香楠荘につきましては、専用水道改修工事を実施し、山を訪れる方への安心・安全の確保に努め、昨年度設置したロープウェイの金剛山天空テラスや香楠荘多目的スペースを有効に活用し、自然を堪能していただけるよう今後も指定管理者が有するノウハウをより一層発揮され、これまで以上に利用施設の利用促進が図られるよう大阪府とも連携して施設の魅力づくりを進めてまいります。

農業振興では、農業委員会とともに農地中間管理機構と連携し、営農意欲の高い担い手への集約、集積を行うなど、遊休農地の発生防止解消に努めてまいります。また、エコ農産物や環境保全型農薬などによる環境に配慮した農業を推進するとともに、新規就農者の定着を図るため、青年就農給付金事業の活用について積極的に支援します。

これらのほか、農産物等を鳥獣の被害から守るため、農家がみずから行う被害防止柵の設置費用補助の拡充を行うとともに、農業用施設の改修に係る原材料費の支給を引き続き実施し、農地等の利用の最適化に努めます。

林業振興では、森林資源の活用と森林整備の促進を図るため、森林経営計画に基づく森林施策に補助を行うほか、昨年度に創設いたしました間伐材搬出補助を継続するとともに、今年度は林道整備について原材料支給制度を新設し、間伐の促進及び村内木材の流通促進を図るなど、森林が持つ多目的機能の発揮に努めます。

商業振興では、新規企業の立地や既存企業の規模の拡大に対し、必要な整備支援を積極的に行い、産業の振興及び発展を図るため、新たに開発に係る流出抑制施設整備や埋蔵文化財の発掘などの費用、また建屋の建設に係る費用に対し大幅な補助を行うとともに、コンビニなど小売業の誘致を促進するための開業支援を行います。あわせて、製造業などの企業立地については固定資産税減税の導入など税制優遇策を引き続き実施します。

次に、基本柱5「建設・交通～村民の快適な暮らしを育む むらづくり～」について

は、生活道路である村道は、村民の皆さんが日常生活を円滑に行うために必要不可欠なインフラ設備であります。舗装や橋梁などの老朽化が進み、延命化のための予防的補修、計画的維持管理が課題となっています。そのような中、舗装につきましては村道整備計画をもとに計画的な舗装、補修工事を行うとともに、さらに村道の損傷状況等を勘案しながら適切な村道維持管理に取り組めます。

橋梁につきましては、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、甲取橋及び上東阪橋の2橋の補修工事を実施いたします。

また、安心・安全な交通の確保を図るため、カーブミラーなどの設置を進め、村民の皆さんや来村者が通行しやすい交通環境の整備に積極的に取り組めます。

広域道路網では、国道309号河南赤阪バイパス2期区間の一日も早い完成と3期区間の早期事業化や国道309号を初め村外との重要な連絡道路である府道について、急カーブや幅員狭小箇所等の解消とあわせて、車両の通行の支障となっている樹木の除去や安全対策を引き続き大阪府に要望いたします。

また、今後ますます高齢化が深刻化する中、村民の皆さんが快適に暮らすことができるよう、引き続き地域公共交通の課題検証を行い、買い物弱者への支援や村内間移動の利便性の向上を図れるシステムの向上に向け検討してまいります。

定住人口増加に向けた取り組みといたしましては、空き家情報バンクへの物件の登録促進を図れるよう、所有者や地区に対し登録に対する謝礼を引き続き行うとともに、子育て世帯の負担軽減を図るため、引っ越しや家賃に係る費用を助成し、子育て世帯層の増加を加速させます。また、空き家に入居された方や村内間へ移住される方の負担軽減を図るため、空き家改修に係る費用の助成を引き続き行い、村民の皆さんがいつまでも住み続けたい村を目指します。

また、村民の皆さんが心豊かに心地よく暮らせるよう、またこの自然豊かな美しい風景や環境を代々子孫に残せるよう、村民の皆さんとともに検討会を設置し、美化や環境に対する条例の制定に向けた検討を行います。

次に、基本柱6「協働・行政経営～村民と行政がともに育む むらづくり～」については、協働による村づくりでは、地域が抱える課題を地域みずから解決するために、地区への補助制度を創設するとともに、大阪府で初めて地域おこし協力隊を導入し、集落の維持、地域の活性化のための地域協力に従事していただき、定住定着により地域力の維持強化を図ってまいります。また、情報公開を進めパブリックコメント制度を活用するほか、住民意識調査を積極的に活用するなど、住民の皆さんの声に耳を傾けるとともに、できる限り多くの村民の皆さんが行政に参画できる機会づくりに努めます。

また、平日に役場窓口に来ることができない場合に、電話予約により住民票等の証明書を土曜、日曜に交付するとともに、期日前投票時に各地区を巡回する移動投票所を実施するなど、さらなる住民サービスの向上を図ります。

行財政運営では、自主財源の確保として滞納整理の強化により村税の徴収率の向上に努めるとともに、引き続き村税、国民健康保険料等のコンビニ収納を実施し、利便性の向上を図ります。

行財政改革の推進では、今年度から新たに作成した村づくり経営計画、後期計画に基づき、より効率的、効果的な行政経営に取り組みます。

人事管理では、人事評価制度を再構築することで人材育成を強化し、少数精鋭による職員定数の管理に努め、効率的な組織運営を行います。

行政の広域化の推進では、これまでに成果の検証を行いつつ、3市2町1村によるより効果的な広域共同処理を進めてまいります。

以上が今議会に提案しております平成29年度当初予算と施策の概要でございます。

村政運営においては、今後も限られた財源の中で効果的、効率的な行政運営に努められるとともに、職員一人一人が先例、慣例にとらわれることなく能動的に問題を改善、解決する能力を高め、職員全体が住民サービスに資する有能な職員集団となり魅力ある村づくりに豊かで柔軟な発想力やスピード感を持って具体的成果を上げられるよう取り組んでまいります。議員各位並びに村民の皆さんには、村政運営により一層力強い御支援、御協力をお願い申し上げ、私の所信の一端といたします。

○井上議長 続きまして、各会計ごとに概略説明がございます。

まず、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算について、菊井人事財政課長。

○菊井人事財政課長 それでは、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算の概略説明を申し上げます。

まず、予算書の1ページをお開きください。

予算書の1ページでございますが、まず第1条歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ31億3,515万5,000円と定めるものでございます。

同条第2項の第1表歳入歳出予算につきましては、後ほど予算附属説明資料により御説明申し上げます。

第2条の第2表債務負担行為と第3条の第3表地方債につきましては、6ページをお開きください。

6ページの第2表の債務負担行為は、平成29年度から3年間の地域おこし協力隊の活

動拠点となります土地建物借り上げ料の平成30年度、31年度の限度額311万2,000万円でございます。

次に、第3条の地方債は、起債の目的、限度額などについて定めており、浄化槽設置補助事業限度額600万円から、次のページの給食調理配送業務委託料事業限度額2,870万円までの18事業、総額2億1,820万円が過疎対策事業債で、償還期限は12年、据置期間が3年でございます。

次に、水道事業一般会計出資債は、大阪広域水道企業団との水道事業の統合によるもので、限度額は2,280万円、償還期限は30年、据置期間が5年でございます。

臨時財政対策債は、地方交付税の財源不足を補うもので、限度額1億1,700万円、償還期限は20年で、据置期間が3年でございます。

続きまして、1ページへお戻り願います。

1ページ、第4条でございますが、一時借入金の最高限度額を5億円と定めるものでございます。

第5条は、歳出予算の流用について定めております。

また、当初予算書の説明資料としまして、114ページから125ページに給与費明細書、債務負担行為に関する調書及び地方債に関する調書を添付しておりますので、後ほどごらんいただきますようお願い申し上げます。

なお、まことに申しわけございませんが、給与明細書につきまして教育職の項目などで誤りがございました。後日差しかえをさせていただき対応させていただきます。当初予算額には影響ございませんが、課内のチェック体制などによるミスでございまして、まことに申しわけございませんでした。

続きまして、歳入歳出予算について御説明申し上げます。

予算附属説明資料をごらんください。

予算附属説明資料の1ページでございますが、平成29年度一般会計予算の主な施策の一覧表で、第4次総合計画における6つの基本柱ごとに事業名、事業費、事業内容、担当課、予算書のページを掲載しておりますので、各常任委員会での各担当課からの予算の朗読説明の参考資料としていただきますようお願い申し上げます。

続きまして、予算附属説明資料の3ページをごらんください。

平成29年度の会計別予算比較表でございます。一般会計につきましては、前年度と比べまして2億3,160万7,000円、8%の増でございます。

次に、4ページをごらんください。

一般会計予算の款別内訳の歳入でございます。

主なものを御説明させていただきます。

2 款地方譲与税から 1 1 款交通安全対策特別交付金までは、地方財政計画や過去の実績を勘案しまして計上しております。

1 2 款分担金及び負担金の減は、保育所の保育料の軽減が要因でございます。

1 3 款使用料及び手数料の減は、幼稚園の保育料の軽減が要因でございます。

1 4 款国庫支出金は、臨時福祉給付金給付事業の減などが主な要因でございます。

1 5 款府支出金の減は、参議院議員通常選挙委託金の減などが主な要因でございます。

1 7 款寄附金の増は、ふるさと応援寄附金の増が要因でございます。

次に、5 ページをごらんください。

目的別の歳出予算でございます。主なものを御説明させていただきます。

2 款総務費の増は、ふるさと応援寄附金事業業務委託料の増が主な要因でございます。

4 款衛生費の増は、国民健康保険診療所の指定管理委託料と助成金に伴う国民健康保険特別会計施設勘定への繰出金や、大阪広域水道企業団負担金の増が要因でございます。

6 款商工費の増は、金剛山ロープウェイ専用水道改修工事に伴う金剛山観光事業特別会計への繰出金や、景観向上整備事業、文化遺産観光トイレリフレッシュ事業の増が主な要因でございます。

9 款教育費の減は、昨年度実施予定であったこごせっ子教育応援事業補助金の見直しや退職手当の減が主な要因でございます。

次に6 ページをごらんください。

歳入の自主財源と依存財源の内訳でございます。

款ごとの増減の要因は先ほどの御説明と同様でございますので、省略させていただきます。

右のページの棒グラフの平成20年度からの推移となっております。

平成27年度決算までは、村税の減により自主財源が減少してきましたが、平成29年度ではふるさと応援寄附金の増により自主財源が増加しております。

次に、8 ページをごらんください。

一般会計予算の性質別内訳でございます。

まず、義務的経費であります人件費、扶助費、公債費については平成29年度予算の42.9%を占めておりますが、平成28年度に比べ定年退職者の影響で減少しております。個々の項目ごとの説明は、省略させていただきます。

次に、10 ページをごらんください。

10 ページ、村税の状況でございます。

村民税の個人は、人口減少により420万円の減、法人は平成28年度決算見込みにより300万円の増、固定資産税は土地の評価額の時点修正により150万円の減で予算計上しております。

下段の棒グラフは村税の推移で、平成20年度から約1億5,000万円の減少となっております。

次に、11ページをごらんください。

11ページは地方交付税等の状況でございます。

普通交付税、特別交付税及び地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債は、同額で計上しております。

下段の棒グラフは、地方交付税等の推移でございます。その中で、普通交付税につきましては国勢調査の人口の減少により減少していますが、国の人口減少等特別対策事業費などにより若干増加傾向であります。

次に、12ページをごらんください。

地方債の状況でございます。

本年度予算額4億1,655万円のうち、過疎対策事業債が2億1,820万円、大阪広域水道企業団との水道事業の統合による水道事業一般会計出資債が2,280万円、地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債が1億1,700万円、平成19年度の臨時財政対策債の借換債が5,855万円でございます。

下段の棒グラフは、地方債の残高の推移でございます。平成26年度から地方交付税の算入があります過疎対策事業債によりまして増加しておりますが、過疎対策事業債以外の地方債につきましては減少傾向でございます。

次に、13ページをごらんください。

基金繰入金の状況でございます。

本年度は、財源不足を財政調整基金から2億200万円を繰り入れるものでございます。ふるさと応援基金繰入金は、平成28年9月末の実績額で、返礼品や手数料などを除いた約37%の2,800万円を繰り入れるものでございます。

下段の棒グラフは、財政調整基金と減債基金の残高の推移でございます。平成28年度は、特別交付税がまだ決定しておりませんので、特別交付税が例年並みに交付されれば基金がさらに積める見込みとなっております。

次に、14ページをごらんください。

平成26年4月1日より、消費税が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分につきましては、その用途を明確化し社会保障施策に要する経費に充

てられるものとされております。平成29年度一般会計当初予算では、地方消費税交付金を1億円で計上しておりますので、1億円の17分の7に相当する4,117万6,000円が社会保障施策経費に充当する財源でございます。国から示されております例示をもとに、記載のとおり社会福祉関係経費、社会保険関係経費、保健衛生関係経費にそれぞれ充当のほうをしております。

次の15ページ、16ページにつきましては、一般会計の予算額から見た主な指標などを記載しておりますので、ごらんいただきますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが概略説明とさせていただきます。よろしくようお願い申し上げます。

○井上議長 続きまして、議案第28号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算の事業勘定について、池西住民課長。

○池西住民課長 それでは、議案第28号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算事業勘定の概略説明を申し上げます。

まず、予算書の127ページをお願いいたします。

第1条は、事業勘定の歳入歳出予算総額を11億2,579万9,000円、直営診療施設勘定の予算総額を3,913万9,000円と定めたものでございます。

第2条は、一時借入金の最高額を、事業勘定3,000万円、直営診療施設勘定500万円と定めたものでございます。

第3条は、歳出予算の流用についての記載でございます。

それでは、歳入歳出予算につきまして御説明申し上げます。

予算附属説明資料17ページをお願いいたします。

主なものについて歳入から御説明申し上げます。

1、国民健康保険料1億2,899万3,000円、医療分、支援金分、介護分保険料でございます。

4、国庫支出金1億8,605万円、療養給付費負担金などがございます。

5、療養給付費等交付金1,161万円、退職者療養給付費交付金でございます。

6、前期高齢者交付金4億1,804万6,000円、前期高齢者医療に係る交付金でございます。

7、府支出金5,134万円、府財政調整交付金等がございます。

8、共同事業交付金1億8,688万6,000円、高額財政共同安定化事業交付金でございます。

10、繰入金1億4,263万5,000円、一般会計繰入金や財政調整基金繰入金で

ございます。

次に、歳出でございます。

1、総務費1,768万6,000円、国民健康保険事業に係る事務費でございます。

2、保険給付費7億2,194万5,000円、療養給付費、療養費、高額療養費など医療給付費でございます。

3、後期高齢者支援金1億54万4,000円、後期高齢者医療制度に対する支援金でございます。

6、介護納付金3,124万8,000円、介護保険制度に対する納付金でございます。

7、共同事業拠出金2億3,304万2,000円、高額財政安定化事業拠出金等でございます。

8、保険事業費1,260万9,000円、特定健康診査等事業費でございます。

10、諸支出金226万1,000円、施設勘定への繰出金でございます。

以上、簡単でございますが概略説明とさせていただきます。

○井上議長 続きまして、議案第28号の直営診療所施設勘定について、和田健康福祉課長。

○和田健康福祉課長 続きまして、国民健康保険特別会計直営診療施設勘定の概略説明を申し上げます。

予算附属説明資料の18ページをお開き願います。

主なもののみ御説明申し上げます。

本年度の予算でございますが、歳入歳出それぞれ3,913万9,000円でございます。

まず、歳入でございます。

4、繰入金3,865万7,000円で、一般会計及び国民健康保険特別会計事業勘定からの繰り入れでございます。

次に、歳出でございます。

1、総務費3,274万3,000円で、診療所指定管理委託料などがございます。

以上、簡単でございますが概略説明とさせていただきます。

○井上議長 続きまして、議案第29号平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計予算について、和田健康福祉課長。

○和田健康福祉課長 それでは、議案第29号平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計予算の概略説明を申し上げます。

まず、千早赤阪村予算書の169ページをお開き願います。

第1条歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ8億3,705万円と定めるものでございます。

同条第2項の第1表歳入歳出予算につきましては、後ほど予算書附属説明資料により御説明申し上げます。

第2条は、一時借入金の最高限度額を5,000万円と定めるものでございます。

第3条は、歳出予算の流用について定めております。

次に、歳入歳出予算につきまして御説明申し上げます。

予算書附属説明資料をごらんください。

19ページでございます。

平成27年度から平成29年度の介護保険事業計画第6期に基づき計上しております。主なもののみ御説明申し上げます。

まず、歳入でございます。

1、保険料1億9,109万1,000円、保険給付費でございます。

4、国庫支出金1億7,377万4,000円、介護給付費負担金でございます。

5、支払基金交付金2億2,506万2,000円、介護給付費交付金でございます。

6、府支出金1億2,099万8,000円、介護給付費負担金でございます。

8、繰入金1億1,757万6,000円、介護給付費でございます。

次に、歳出でございます。

1、総務費2,161万円、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委託料でございます。

2、保険給付費7億9,216万円、介護サービス費等諸費でございます。

4、地域支援事業費2,317万5,000円、介護予防生活支援サービス事業費などでございます。

以上、簡単でございますが概略説明とさせていただきます。

○井上議長 続きまして、議案第30号平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算について、池西住民課長。

○池西住民課長 それでは、議案第30号平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算概略説明を申し上げます。

予算書の199ページをお願いします。

第1条は、歳入歳出の予算総額を1億444万5,000円と定めたものでございます。

続きまして、歳入歳出予算について御説明申し上げます。

附属説明資料20ページをお願いいたします。

主なものについて、歳入から御説明申し上げます。

1、後期高齢者医療保険料8,087万4,000円、広域連合より示された保険料でございます。

3、繰入金2,294万7,000円、保険基盤安定繰入金でございます。

4、繰越金61万5,000円、前年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出でございます。

1、総務費140万7,000円、後期高齢者医療事務費関係でございます。

2、後期高齢者医療広域連合納付金1億263万7,000円、広域連合への保険料及び保険基盤安定納付金でございます。

以上、簡単でございますが概略説明とさせていただきます。

○井上議長 続きまして、議案第31号平成29年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算について、赤阪施設整備課長。

○赤阪施設整備課長 それでは、議案第31号平成29年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算の概略を説明申し上げます。

予算書の211ページをお開きください。

第1条、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億4,235万1,000円と定めるものがございます。

同条第2項の歳入歳出予算につきましては、後ほど予算書附属説明資料で御説明申し上げます。

第2条の地方債につきましては、214ページに各事業ごとに起債の目的などにつきまして記載いたしております。

第3条の一時借入金につきましては、一時借入金の最高額は3,000万円と定めるものがございます。

第4条、歳出予算の流用に関する規定でございます。230ページ以降に給与明細書、238ページ以降に地方債に関する調書を掲載しております。

続きまして、第1条第2項の歳入歳出予算につきまして、予算書附属説明資料で御説明申し上げます。

附属説明資料21ページをお開きください。

まず、歳入でございます。

1、分担金及び負担金230万3,000円、本年度に供用開始を予定しております対

象地域は、桐山地区、二河原辺地区の一部でございます。

2、使用料及び手数料4,820万1,000円でございます。

3、国庫支出金980万円、二河原辺地区の保水管渠布設工事及び本年度最終年となります小吹台地区のマンホールぶた長寿命化事業に対します補助金でございます。

4、繰入金1億2,154万5,000円、一般会計繰入金でございます。

5、諸収入2,000円、前年度と同額でございます。

6、村債が6,050万円でございます。

次に、歳出でございます。

1、下水道費、本年度予算額1億3,959万4,000円、なお下水道費の内訳でございますが、恐れ入りますが、予算書の224ページをごらんいただきたいと思います。

下水道総務費では、243万3,000円の増、下水道使用料徴収経費の増などによるものでございます。

次に、下水道建設費では379万7,000円の増で汚水管渠布設工事の増によるものでございます。

下水道管理費では、維持管理工事費など88万円の減でございます。

2、公債費、本年度予算額1億265万7,000円、前年度より2,191万7,000円の減となっております。

3、予備費10万円、前年度と同額でございます。

以上、簡単でございますが概略説明とさせていただきます。

○井上議長 続きまして、議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算について、森田観光・産業振興課長。

○森田観光・産業振興課長 それでは、予算書241ページをお願いいたします。

議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算の概略説明を申し上げます。

第1条歳入歳出予算は、それぞれ1億4,703万8,000円と定めるものでございます。

第2項の区分ごとにつきましては後ほど御説明をいたします。

第2条地方債につきましては、244ページをお願いします。起債の目的などを記載しておりまして、ロープウェイ工事実施に伴い、1,990万円を限度として借り入れるものでございます。

241ページに戻っていただきますようお願いいたします。

第3条一時借入金の借り入れの最高額は1,000万円と定めるものでございます。

次に、歳入歳出予算の内訳でございますが、附属説明資料の最後 22 ページをごらんください。

歳入歳出とも 1 億 4,703 万 8,000 円で、前年度に比較して 6,060 万 6,000 円、70.1% の増でございます。

歳入歳出の主なものについて御説明いたします。

まず、歳入の 1、索道事業収入でございますが、本年度予算額 6,500 万円、前年度と比較いたしまして 1,080 万円、14.2% の減でございます。前年度予算につきましては、新たな指定管理者との協定基本額をベースに計上いたしておりましたが、平成 29 年度は実績見込み額等を勘案して計上いたしたものでございます。

5、繰入金 5,300 万円は、ロープウェイ専用水道施設改修工事に伴う一般会計繰入金等でございます。

6、村債 1,990 万円は、ロープウェイ曳索、平衡索交換に伴う起債でございます。

続きまして、歳出でございます。

2、観光事業費 1 億 3,790 万 2,000 円は専用水道施設工事及び曳索、平衡索交換工事により、前年度と比較して 82% の増でございます。

以上、概略説明とさせていただきます。

○井上議長 ここで休憩を行います。

午後 1 時から再開いたします。

午後 0 時 04 分 休憩

午後 1 時 00 分 再開

○井上議長 午前中に引き続き再開いたします。

これより総括質疑に入りますが、平成 29 年度予算 6 議案につきましては、議会運営委員会において、それぞれ所管の常任委員会に付託する旨決定しておりますので、詳細な質疑は常任委員会をお願いいたします。

それでは、6 議案に対する総括質疑に入ります。

関口議員。

○関口議員 日本共産党、関口ほづみです。私は、日本共産党議員団を代表して平成 29 年度村政運営方針並びに平成 29 年度予算に対して総括質問をいたします。

初めに、人口増加策についてであります。国は全国的な少子・高齢化、人口減少への対策として、2015 年度からまち・ひと・しごと創生事業を実施し、各自治体は人口減少対策に取り組んでおります。本村でも、本年度 29 年度の予算には、そうした意味で予算が編成されておりますが、具体的にはなかなか私たちが思うものとはなっていない部分

もあります。例えば、学校給食費の無償化は全国55市町村で実施されております。近畿では兵庫県の相生市、奈良県黒滝村、北山村、和歌山県の高野町、北山村、古座川町、京都府伊根町の7市町村で実施されており、昨日の報道では新年度から学校給食費の無償化は62自治体に広がりました。学校給食費の無償化や補助は、全国的な流れになっております。

村では、ことし1月から給食費への補助を実施していただき、大阪府下では一番安い給食費となりました。そこで、平成29年度村政運営方針は子育て世代の定住を図ることで生産年齢人口、将来を担う年少人口を増加させ、選ばれるまちを目指すための責めの予算を編成したとしておりますけれども、近隣市町と比べても思い切った責めの事業とは思えません。選ばれるまちを目指すための責めの予算というのであれば、大阪府下では実施していない給食費の無償化を早く行うべきではないでしょうか。

また、子ども医療費助成について、村では小学校卒業までの無料化、中学校卒業までの無料化においては、府下でも先進を切って実施してきました。しかし、今ではほとんどの自治体が中学校卒業まで医療費助成を実施しており、村が特に子育て施策が進んでいるとは思えません。大阪の摂津市では、新年度から22歳までの医療費を助成するということが全国ネットで報道され、注目されました。子育て世代の定住を図るために、子ども医療費助成を高校卒業まで実施すること、学校給食費の無償化に踏み切ることを求めます。

次に、高齢者施策について伺います。

国保料や介護保険料が高いという声は多くあります。幸い、国保料については2015年、平成27年4月から21.3%、1人平均2万円の引き下げが実施され、これも府下最低の保険料となり大変喜ばれております。高齢者の負担を少しでも軽減するため、介護保険料の引き下げを求めます。

また、高齢者福祉については、村政運営方針の中で地域包括支援センターを中心に介護予防事業の強化と医療、介護の連携推進と上げられておりますが、具体的な施策がありません。どういう取り組みをするのか伺います。

最後に、住環境を守るために伺います。

小吹台入り口の自動車解体業者進出工事を発端に、改めて村周辺の環境保護施策が急務となっております。今議会には業者進出反対と村環境保全条例の制定を求める請願が2,705名の署名を添えて提出されております。また、千早地区では河内長野市にある肥料製造工場から発する悪臭が漂い、千早地区住民の悩みの種となっております。金剛登山に来られる人にとっても、登山口におり立った途端に悪臭が漂い、せつかく空気のよいところに訪れたにもかかわらず、嫌な思いをする人も多いのではないのでしょうか。住環境を守

るために、こうした問題の解決のために、村としてあらゆる努力をしていただきたいと思います。

以上、総括質問といたします。

○井上議長 答弁者。

○松本村長 それでは、答弁いたします。

まず、人口増加策についてでございますが、昨年1月に人口減少と地域経済縮小を克服するため、目標や施策の基本的方法をまとめた千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口の維持、地域の活性化に向けさまざまな施策を展開しているところでございます。

御質問の学校給食費につきましては、適正な受益者負担の観点から無償化は考えておりません。しかし、本村の学校給食は食数が少なく、1食当たりの費用が割高であることから、保護者の負担を軽減するため、本年1月から府内他市町の学校給食費の最低額並みになるよう補助を始めたところでございます。

また、村の子ども医療制度につきましては、入通院とも所得制限を行わず、義務教育終了までの子どもを対象に実施しております。国の指導も踏まえ、対象者の拡大は考えておりません。ただ、本制度については国の制度として創設するよう、町村長会を通じ、大阪府や国に働きかけているところでございます。

次に、高齢者対策でございますが、介護保険料につきましては今後ますます高齢化が見込まれ、平成32年度の高齢化率は46%になると推計される中、受給者の介護給付費を賄うため、引き下げことは困難です。介護予防につきましては、既に65歳以上の高齢者で介護を受けていない人を対象に、運動、認知症、閉じこもり予防、栄養改善、口腔機能向上のための介護予防教室を実施しています。また、それらの教室を修了した後、自分たちで介護予防や閉じこもり防止のためのグループを立ち上げて活動されている人たちの集まりに出向き、運動、栄養指導や口腔機能に関する講義を行い、より一層介護予防に励んでもらえるよう支援を行っております。

また、医療と介護の連携としましては、平成29年4月に太子、河南、千早赤阪の3町村で設置する地域包括支援ネットワーク推進協議会の準備を現在進めております。今後は、富田林医師会、歯科医師会、薬剤師会に個別ケースの相談に対する専門的見地からの助言や指導をいただき、連携強化を通じ、多職種協働による地域包括ネットワークの構築を進めています。また、高齢者自身の健康状態、医療、介護サービスの利用状況や連絡先を記録できる手帳、笑顔れんらく帳を3町村共同で作成し高齢者に配布するとともに、医療、介護関係者、高齢者とその家族との連携、連絡をスムーズに行えるツールの活用を図

っております。

次に、住環境を守るためについてでございますが、まず小吹台入り口沿いの自動車解体業者設置工事につきましては、自治会、小吹台住民の皆さんの声を十分に聞きながら迅速に対応するよう、関係職員に指示をしてきたところでございます。本件については、各種法令に抵触しておらず、小吹台住民の皆さんの御期待に沿えないところもございますが、大阪府を初めとする関係機関と連携し事業者への指導を行うとともに、情報収集に努めてまいりますので、小吹台住民の皆様様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

次に、環境条例等の制定については、来年度予算で検討費用を計上しておりますので、住民の皆様にも参画いただきながら条例制定に向け取り組んでまいります。

千早地区の悪臭についてでございますが、悪臭の発生元である貴島産業には、昨年10月27日に河内長野市長と私との連名で悪臭対策についての申し入れ書を作成し、河内長野市長と私みずから同席の上、抜本的な悪臭対策を早期に実施されるよう強く申し入れを行うとともに、同日千早地区長からも悪臭の発生原因の究明と対策の実施、計画書の作成並びに対策終了後の報告書の提出を要望いたしました。今後とも、両案件については市町村境界付近に事業所が立地することから、大阪府を初め富田林市や河内長野市と協働し対応してまいります。

以上、総括質疑の答弁といたします。

○井上議長 続きます、浅野議員。

○浅野議員 公明党、浅野利夫でございます。村長の運営方針に対しまして総括質問を3点させていただきます。

1番目が買い物弱者への具体的施策についてお伺いをしたいと思います。

村は、過去2回公共交通の実証実験を実施いたしました。買い物弱者に対する意識調査のアンケートも行っております。運営方針では、引き続き地域公共交通の課題検証を行い、買い物弱者への支援や村内間移動の利便性の向上が図れるシステムの構築に向け検討するとありますが、具体的にどのようにしていくのか村民にはわかりません。地域を回りますと、住民のほうから、いつになったら循環バス走らせてくれるのかとよく聞かれます。高齢化率の高い本村においては、本当に実質的に痛みをわかっておられる村民の方であります。本年度は具体的にどのようにするのか、まずお聞きしたいと思います。

2つ目が、子育て世代への対応についてであります。

運営方針の中で、人口面では産後ケアの充実、子育て世代への家賃補助など、若年層や子育て世代の定住を図ることで、人口の増加を目指すとあります。また、今年度から産婦の心身の不調や産後鬱病等を防ぐために、母子の心身のケアや育児サポートを行う産後ケ

ア事業を実施するとともに、子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため保育料の助成を拡大するなど、地域における切れ目のない妊娠、出産、子育て支援の実現や子育てに優しい村に向けて取り組んでまいりますと村長が述べられております。

今、太子町で実施している子育て支援センターのように、妊娠、出産から産後のケアまで一貫した対応ができる部署、または専任の担当者を置くなど、もっときめ細かな対応が求められていると私は考えております。この点についての考え方を伺います。

3つ目、美化環境条例、仮称ではありますが、環境条例の制定に向けた取り組みをお聞きします。

運営方針の中には、村民の皆さんが心豊かに心地よく暮らせるよう、またこの自然豊かな美しい風景や環境を代々子孫に残せるよう検討会を設立し、美化や環境に関する条例の制定に向けた検討会を行うとあります。2月19日には地域住民の方からの請願署名が議会議長宛てに提出されております。この請願書の取り扱いは最終の議会で議決するということになっておりますが、本年度29年度は検討ではなく、もう一步進めて早期に条例の制定までできないのか、これをお伺いしたいと思います。

以上3点、よろしく申し上げます。

○井上議長 答弁者、松本村長。

○松本村長 まず、買い物弱者への具体的施策についてでございますが、経済産業省が示す買い物弱者を応援する方法としては、身近な場所に店をつくること、家まで商品を届けること、家から人々が出かけやすくすることの3つの取り組みが必要とされております。このうち、1つ目の身近な場所に店をつくることについては、平成28年度より小売店舗等開業支援事業制度や、平成29年度より新たに企業誘致等補助制度を設け、誘致への取り組みを進めているところです。

2つ目の、家まで商品を届けることにつきましては、大手スーパーで提供されている宅配サービスに加え、村においてははいずみ市民生活協同組合と平成24年度に買い物困難者支援の取り組みに関する協定を締結し、要請のあった小吹台ほか4地区において移動販売車による買い物支援の取り組みを実施しております。

そして、3つ目の、家から人々が出かけやすくすることについては、議員御指摘の地域公共交通の取り組みを平成27年度より実施しております。地域公共交通の平成29年度の具体的な取り組みとしましては、買い物弱者を初め公共交通空白地を含む村民の誰もがわかりやすく使いやすい、みんなが支える公共交通を目指し、平成28年度に実施いたしました実証運行で得られた課題やデータ並びに住民アンケート調査結果を踏まえ、特に公共交通空白地での予約型デマンド方式の利用者が少なかったことから、村地域公共交通協

議会において、真に支援すべき対象者を見きわめながら、地域公共交通のあり方、運行方式、運行ルート、運行時間、運行業者、利用料等について検討していく予定といたしております。

次に、子育て世代への対応についてでございますが、子育て世代包括支援センターは母子保健法で法定化され、平成29年4月1日施行されます。子育て世代包括支援センターとは、市町村にコーディネーターとなる保健師、ソーシャルワーカー等を配置し、妊娠、出産、育児に関する各種相談、必要に応じて支援プランの作成や関係機関との関連調整を行い、母子保健と子育て支援策との一体的な提供を通じて包括的な支援を行い、妊娠、出産、子育てまで切れ目ない支援を提供するものでございます。国は、平成23年度末までに全国展開を目指しています。

村では、現在保健師が妊娠届け出時に全数面接、その後の定期連絡、新生児、産婦の全数訪問、支援が必要な家庭には養育支援相談や訪問などを行うなど、妊娠、出産、育児へのサポートを行っています。また、必要に応じて医療機関、子ども家庭センター、子育て支援機関、療育機関、教育施設等と連携を行い支援を行っています。平成29年度から、出産直後の母子への心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるよう産後ケア事業を実施する予定にしております。

子育て世代包括支援センターは、妊婦や親子が孤立しないように、利用しやすく集いやすい場所の確保とコーディネーターを行うマンパワーが必要であり、今後効果的に実施できるよう他の市町村の取り組みを参考に平成29年度は検討を進めます。

次に、美化環境条例に向けた取り組みについてでございますが、御質問の条例制定につきましては、美化や環境に関する幅広い条例制定に向けた検討費を来年度予算に計上しており、今後法的な課題や規制する内容について法律や環境の専門家の方々に御意見をいただきながら、住民の皆様にも参画いただき、より千早赤阪村になじむ条例を制定したいと考えております。議会の御支援、住民の皆さんの御協力をお願い申し上げます。

以上、総括質疑の答弁といたします。

○井上議長 続きます、清井議員。

○清井議員 平政会、清井です。3点お聞きします。

まず、中期的財政見直しをお聞きします。

平成29年度一般会計当初予算額は31億3,000万円として、これまでにない大型予算が提案されました。平成29年度から直営診療所の指定管理者を地域医療振興協会に指定され、その委託料として年間1,700万円、今後契約機関である5年間支払われることになっております。また、水道事業につきましては、大阪府広域水道企業団との統合

により、その経費負担として10年間にわたり8,800万円の繰り出しを行うものとされています。

これらの経費は、契約期間内においては義務的経費であります。また、新庁舎についてはその方向性がおおむね定まり、今年度中には庁舎建設費用も明らかになると思います。そこで、今後の中期的財政見通しをお聞きしたいと思います。

2点目は、国保会計の編成予算方針をお聞きします。

26年度末の内部留保金が2億5,300万円あることから、平成27年度から保険料の値下げを行ってまいりました。この保険料の値下げにつきましては、我々も賛成しましたが、安定的な国保会計を維持できる範囲での値下げを望んだものであります。そして、29年度も保険料は据え置きとされました。一方、保険給付は平成26年度で1人当たり38万9,000円であったものが年々増加し、29年度予算では47万9,900円と見込まれております。その結果、29年度末の基金残高は1,700万円になると見込まれており、留保金がこの3年間で2億3,600万円減少したことになります。

12月議会で保険料の見直しを提案したときに、厳しい判断をしていくという答弁でありました。また、国保運営協議会でも保険者一元化を控えて適正な保険料率を設定することと指摘されております。が、しかし、値下げを据え置きとされた予算編成の方針をお聞きします。

3点目は、金剛山環境事業会計の水道改修工事への繰り出しについてお聞きします。

ロープウェイ専用水道施設の改修費用として、一般会計から5,300万円が繰り入れられています。水道施設の改修は、金剛山環境事業の一環であり、観光事業会計で資金調達すべきものと考えております。一般住民は受益者ではないという立場からであります。一般会計から繰り入れを行うとしたその根拠をお聞きします。

以上、3点お聞きします。

○井上議長 松本村長。

○松本村長 まず、中期的財政見通しについてでございますが、2月に行いました新庁舎建設の住民説明会におきましてもお示しさせていただいたとおり、新庁舎建設費用など大規模な投資的経費を加味した場合でも、平成37年度にかけて安定した財政が行えると思込んでおります。財政収支見通しの推計においては、今後の懸案事項などを踏まえ、歳入見込みと歳入見込みの算定が必要となりますが、本村においては歳入の7割が地方交付税や国府補助金などの依存財源で賄われている状況であり、楽観視できません。

しかしながら、平成29年度から庁舎建設に関する費用の3割を地方交付税として算入される制度が新設されるなど、これらの制度なども活用してまいりたいと思います。また

今後、施設や備品等の老朽化に伴う改修や更新などの費用の増加も予想されますが、ことしの予算査定で費用対効果について厳しく精査するなど、収入に見合う事業展開を基本とした財政運営を心がけてまいります。

次に、国保会計予算の編成についてでございますが、平成27年度の保険料引き下げに当たっては、保険財政共同安定化事業の改正内容が明らかになり、国民健康保険財政への影響が少なからずあるものの、基金残高と繰越金を合わせ、約2億5,000万円の剰余金があったことや、また保険給付費の増加見込みなどを勘案した上で保険料の引き下げを決断いたしました。しかしながら、保険給付費は予想以上に増加しており、平成27年度給付費の伸び率は前年対比13.03%で約8,300万円増加し、以後平成28年度も増加を続け、平成29年度末には約1,700万円の基金残高となります。保険給付費の増加が基金残高の急激な減少の要因となっております。

このような中、平成30年度に国民健康保険府下一元化が控えており、この制度改正は今後の村国民健康保険の運営に大きな影響を与えることから、平成29年度予算編成に当たっては間違いのないよう各所にわたり慎重に積算を行い、去る2月9日に開催いたしました村国民健康保険運営協議会においても御審議をいただき、本議会に上程させていただいたところでございます。

議員御指摘のとおり、国民健康保険運営協議会の答申においても強い懸念を示されており、国民健康保険運営協議会開催後に大阪府より示された平成30年度の標準保険料額は、現在の村の国民保険賦課額と大きな隔たりがあることから、今後の保険料について改めて国民健康保険運営協議会を開催し諮問する予定でございます。

次に、金剛山観光事業会計への繰出金についてでございますが、議員御指摘のように、本来金剛山ロープウェイの収入により財政を行うのが基本でございます。今回の工事につきましては、府の水質検査の結果、クリプトスポリジウム、指標菌が検出され、可及的速やかに改善する必要性がありました。しかしながら、金剛山観光事業の財政調整基金の残高では賄えず、また給水する施設がロープウェイや香楠荘だけでなく、府民の森千早園地など特別会計事業以外の場所にも給水することから、今回に限り一般会計から繰り出しを行うこととしたものでございます。

金剛山観光事業会計に関しては、中・長期的にはロープウェイ駅舎の耐震工事や建てかえ、客車の入れかえ工事など大規模事業が控えていますが、先ほど申し上げたように、特別会計でこれらに備えて積み立てができていない状況であります。また、香楠荘についても府においては耐震診断すら行われておらず、現時点においては今後の改修のめどが立てられない状況にあります。加えて、全国の町村でロープウェイの運営をしているのは本村

のみであり、将来村への財政の影響が確実に見込まれることを考慮すれば、今後金剛山開発への影響も視野に入れつつ、民間への譲渡などを含め、ロープウェイのあり方について幅広い視点からの検討が必要であると認識しております。

以上、総括質問の答弁といたします。

○井上議長 これにて6議案に対する総括質疑を終結いたします。

議案第27号から議案第32号につきましては、会議規則第38条第1項の規定によりそれぞれの所管の総務民生常任委員会並びに文教建設常任委員会に付託いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これで本日の会議を閉じ、散会いたします。

どうも皆さん長時間御苦労さんでした。

午後1時30分 散会

平成29年第1回千早赤阪村議会定例会会議録（第2号）

1. 招集年月日

平成29年3月15日

2. 招集の場所

千早赤阪村役場 二階議事堂

3. 出席議員

1番 井上昭司

2番 関口ほづみ

3番 徳丸幸夫

4番 浅野利夫

5番 清井浩

6番 田中博治

7番 山形研介

4. 欠席議員

なし

5. 職務のため議場に出席した者の職氏名

局長 松村典英 主査 井ノ本純一

6. 地方自治法第121条により、説明のため出席した者の職氏名

村長 松本昌親 副村長 清水秀都

教育長 矢倉龍男 人事財政課長 菊井佳宏

理事兼地域戦略室長 高橋昭二 会計管理者兼
総務課長 中野光二

住民課長 池西昌夫 健康福祉課長 和田博幸

健康福祉課参事 西口美和 観光・産業振興課長 森田洋文

施設整備課長 赤阪秀樹 理事 西川浩和

理事 松本賢一 教育課長 北浦秀明

教育課参事 近藤和浩

7. 議事日程

日程第 1 議案第7号 千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定について（委員長報告）

日程第 2 議案第8号 千早赤阪村情報公開条例等の改正について（委員長報告）

日程第 3 議案第9号 千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について

(委員長報告)

- 日程第 4 議案第 1 0 号 千早赤阪村税条例等の改正について (委員長報告)
- 日程第 5 議案第 1 1 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について
(委員長報告)
- 日程第 6 議案第 1 2 号 職員の育児休業等に関する条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 7 議案第 1 3 号 一般職の職員の給与に関する条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 8 議案第 1 4 号 千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 9 議案第 1 5 号 千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 1 0 議案第 1 6 号 千早赤阪村国民健康保険条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 1 1 議案第 1 7 号 千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 1 2 議案第 1 8 号 千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正について (委員長報告)
- 日程第 1 3 議案第 1 9 号 平成 2 8 年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分について (委員長報告)
- 日程第 1 4 議案第 2 0 号 権利の放棄について (委員長報告)
- 日程第 1 5 議案第 2 1 号 平成 2 8 年度千早赤阪村一般会計補正予算 (第 1 1 号) について (委員長報告)
- 日程第 1 6 議案第 2 2 号 平成 2 8 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号) について (委員長報告)
- 日程第 1 7 議案第 2 3 号 平成 2 8 年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算 (第 3 号) について (委員長報告)
- 日程第 1 8 議案第 2 4 号 平成 2 8 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) について (委員長報告)
- 日程第 1 9 議案第 2 5 号 平成 2 8 年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号) について (委員長報告)
- 日程第 2 0 議案第 2 6 号 平成 2 8 年度千早赤阪村水道事業会計補正予算 (第 3

号) について (委員長報告)

- 日程第 2 1 議案第 2 7 号 平成 2 9 年度千早赤阪村一般会計予算について (委員長報告)
- 日程第 2 2 議案第 2 8 号 平成 2 9 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算について (委員長報告)
- 日程第 2 3 議案第 2 9 号 平成 2 9 年度千早赤阪村介護保険特別会計予算について (委員長報告)
- 日程第 2 4 議案第 3 0 号 平成 2 9 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算について (委員長報告)
- 日程第 2 5 議案第 3 1 号 平成 2 9 年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算について (委員長報告)
- 日程第 2 6 議案第 3 2 号 平成 2 9 年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算について (委員長報告)
- 日程第 2 7 議案第 3 3 号 平成 2 8 年度千早赤阪村一般会計補正予算 (第 1 2 号) について
- 日程第 2 8 議案第 3 4 号 平成 2 9 年度千早赤阪村一般会計補正予算 (第 1 号) について
- 日程第 2 9 議案第 3 5 号 平成 2 9 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) について
- 日程第 3 0 請願第 1 号 小吹台入口における自動車解体業者進出反対と千早赤阪村の環境保全条例 (仮称) の制定を求める請願について
- 日程第 3 1 次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について
- 日程第 3 2 過疎地域自立促進特別委員会の閉会中の所管事務調査について
- 日程第 3 3 庁舎建設特別委員会の閉会中の所管事務調査について
- 日程第 3 4 一般質問

午前10時01分 開議

○井上議長 皆さんおはようございます。

ただいまの出席議員は7名でございます。定足数に達しておりますので、平成29年第1回千早赤阪村議会定例会を再開いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

~~~~~

○井上議長 議事日程第1、議案第7号から日程第20、議案第26号までの20議案につきましては、2月27日の本会議において総務民生、文教建設所管の常任委員会に付託しております。

まず、議案第7号から議案第26号までの20議案について委員長報告をいただきます。総務民生常任委員長より委員会の審査の経過及び結果について順次報告をいただき、委員長報告に対する質疑を行います。引き続き、文教建設常任委員長より委員会の審査の経過及び結果について順次報告をいただき、委員長報告に対する質疑を行い、1議案ごとに討論、採決を行います。

次に、議案第27号から議案第32号の6議案について、委員長報告をいただきます。総務民生常任委員長より委員会の審査の経過及び結果について順次報告をいただき、委員長報告に対する質疑を行います。引き続き、文教建設常任委員長より委員会の審査の経過及び結果について順次報告をいただき、委員長報告に対する質疑を行い、1議案ごとに討論、採決を行います。

それでは、日程第1、議案第7号千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定についてから日程第20、議案第26号平成28年度千早赤阪村水道事業会計補正予算（第3号）についての20議案を一括議題といたします。

まず、議案第7号千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定について、議案第8号千早赤阪村情報公開条例等の改正について、議案第9号千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について、議案第10号千早赤阪村税条例等の改正について、議案第11号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について、議案第12号職員の育児休業等に関する条例の改正について、議案第13号一般職の職員の給与に関する条例の改正について、議案第14号千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正について、議案第15号千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正について、議案第16号千早赤阪村国民健康保険条例の改正について、議案第21号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号）の総務民生所管分について、議案第2

2号平成28年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について、議案第23号平成28年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第3号）について、議案第24号平成28年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についての14議案について、総務民生常任委員長の報告を求めます。

関口委員長。

○関口総務民生常任委員長 それでは、総務民生常任委員会の報告をいたします。

去る2月27日の本会議において付託を受けました議案14件の審査を行うため、3月1日午前10時から、松本村長ほか関係職員の出席を求め、委員5名全員出席のもとに開催いたしました。

初めに、議案第7号千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、森屋のオレンジヒル南側の埋め立てはこの条例の対象になるのかとの問いに、現在工事はとまっており、以前の村の要綱により対応し許可したが、今は開発業者とも連絡がとれない状況で、この条例の対象になるかどうかは難しいところである。また、面積3000平米以上で大阪府の条例の範囲となるが、今後は指導等大阪府と協議しながら行うとのことでした。この条例施行に対して、村の組織、機構とかの変更は考えているのかの問いに対して、今回技術的なことに対応するため、1月に技師を配置したとのことでありました。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第7号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第8号千早赤阪村情報公開条例等の改正について、審議の結果を報告いたします。

審議において、ここ数年の情報公開請求は何件あったのかとの問いに、年間2件から3件の請求があるとのことでした。

以上の審査の結果、全員異議なく、議案第8号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第9号千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について、審査の結果を報告いたします。

審議において、マイナンバー制度が施行されてから何らかのトラブルはあったのかとの問いに、総務課としては特に苦情とかは聞いていない。また、マイナンバーカードは44名に交付しているということでした。

以上の審議の結果、全員異議なく、議案第9号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第10号千早赤阪村税条例等の改正について、審査の結果を報告します。

審議においては、昨年の12月に軽自動車税の種別別に改正したが、今回も12条で改正されているが、違いはとの問いに、平成29年4月1日施行を平成32年以降に変更したとのことです。村は、この改正による特段の影響はないということでした。

以上の結果、全員異議なく、議案第10号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第11号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正についてと議案第12号職員の育児休業等に関する条例の改正についての2議案を一括議題として審査を行いましたので、結果を報告いたします。

審議において、職員が育児休暇等をとるための体制はできているのかとの問いに、職員定数上、新規採用は多くできないが、再任用職員や非常勤嘱託員、アルバイトを採用しながら休暇等を取りやすい環境づくりに努めるとのことです。村での最近の育児休業の取得状況は、平成25年度以降取得はないが、配偶者の出産に伴う休暇は27年度に2名の2日間の実績があったとのことでありました。

以上の慎重審議の結果、全員異議なく、議案第11号及び議案第12号の2議案は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第13号一般職の職員の給与に関する条例の改正について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、今回の改正に該当する再任用職員はいるのかとの問いに、今後退職する職員に一定の実務経験のある職員はいるとのことでした。安全総括管理者の選任基準は、3年間ロープウェイ等の経験や現在のロープウェイ指定管理担当課の観光、産業振興課でロープウェイに関することを3年以上経験している者がなり得るとのことでした。また、必要に応じ安全総括管理者として議会へも出席するとのことでありました。こういう重要なところは、3年前からわかっているもので、再任用ではなく村の職員であるべきではないかとの問いに、本来常勤職員で育成をしていくべきではありますが、少ない人数の中、再任用職員の活用は避けて通れないし、いろんな経験の中では現職の職員よりすぐれている者もあるのではないかと、金額は安全総括管理者が現在の観光産業振興課の課長代理であり、その管理職手当と同額としたとのことでありました。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第13号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第14号千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正について、審査の結果を報告いたします。

審議において、今回の金額は南河内法規担当者勉強会と大阪府弁護士会との協議の中で一定の金額が示されており、それに基づき日額2万5,000円を計上したとのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第14号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第15号千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正について、全員異議なく、本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第16号千早赤阪村国民健康保険条例の改正について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、今回の改正に該当する世帯数は何件いるのかとの問いに、5割軽減世帯は医療分で4世帯、2割軽減世帯は6世帯、限度賦課額の改正は1世帯が限度超過にならずに計算する。また、支援金で7世帯が減少する。保険料の総額は相殺し余り変わらない。今回の限度額の改正は、平成30年に府下一元化が予定されており、村も国基準に合わせるための改正とのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第16号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第21号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号）について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、債務負担行為の補正は自治体クラウドの関係で、河南町、豊能町と一体になる。それを見込んでの変更かとの問いに、この補正では先日3町村でのクラウドのベンダーが決定した。村は、平成31年から切りかえになり、最終年を合わすため、今回6年間の負担行為を上げた。契約については、それ以降村の切りかえにあわせて行うとのことでした。来年度のふるさと納税の予想額は、今年度の納税者に案内のパンフレット等を送付してお願いしている。同程度の額を考えているとのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第21号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第22号平成28年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について、審査の結果を報告いたします。

今回の補正は、実績見込みに伴うものであるということです。

以上の結果、全員異議なく、議案第22号は本会議において原案どおり可決すべきもの

と決しました。

次に、議案第23号平成28年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第3号）について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、基金は介護給付費が保険料より増大したときに取り崩して対応することでした。

以上、審議の結果、全員異議なく、議案第23号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第24号平成28年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について、審査の結果を報告いたします。

審査の結果、全員異議なく、議案第24号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、委員会審査における詳細な内容につきましては、委員会記録をごらんいただきたいと思ます。

以上で委員長報告を終わります。

○井上議長 これより委員長報告に対する質疑に入ります。

（「質疑なし」との声あり）

○井上議長 これにて質疑を終結いたします。

続きまして、議案第17号千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正について、議案第18号千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正について、議案第19号平成28年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分について、議案第20号権利の放棄について、議案第21号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号）の文教建設所管分について、議案第25号平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第4号）について、議案第26号平成28年度千早赤阪村水道事業会計補正予算（第3号）についての7議案について、文教建設常任委員長の報告を求めます。

浅野委員長。

○浅野文教建設常任委員長 それでは、文教建設常任委員会報告をいたします。

去る2月27日の本会議において付託を受けました議案7件の審査を行うため、3月2日午前10時から、松本村長ほか関係職員の出席を求め、委員5名全員出席のもとに開催をいたしました。

初めに、議案第17号千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、ごごせの里観光事業は全体としてどのような事業内容かとの問いに、

国の地方創生加速化交付金を活用したPRの強化や、外国人受け入れの環境整備、香楠荘の改修などで、今年度は交流人口の増加、受け入れ態勢の整備の年とのことでありました。また、効果額はこれから算出していくとのことでありました。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第17号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第18号千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、村民乗車券、村民への割引乗車券の周知方法はどのように行っているのかとの問いに、ロープウェイの改札で表示を行っているので窓口で申し出ていただき、確認し割引を行っている。今後は、村民にわかるように周知、PR方法を検討するとのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第18号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第19号平成28年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分について、審査の結果を報告いたします。

慎重審議の結果、全員異議なく、議案第19号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第20号権利の放棄について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、時効にかかるまで請求はしてなかったのかとの問いに、基本的には口座振替の未納通知は送っていたが、その後の督促などは行っていなかったが、年度の途中でまとめて請求していた。徴収には数回訪問していたが、定例的には行っていなかった。個人名が出てプライバシーにかかわるが、どのように処理するのかとの問いに、今回の案件は地方自治法に基づく権利の放棄ということで、非常に重要な案件であるので、債務者の氏名、金額等については、あくまで議会に明示した上、説明する必要があるため議案に上げたが、今後審議内容は個人情報の保護等とかあるので、条例等を確認の上、適切な処理をするとのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第20号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第21号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号）について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、教育費の施設型給付負担金とはどういう事業かとの問いに、平成28年度から子ども・子育て支援法が施行され、幼稚園や保育園に就園している方に対して国

からの給付と府、村からの追加した村内在住で他の私立幼稚園に在園する方に、村から施設に給付する事業で、今年度予算を計上していたが、対象者がいなかったことにより減額するとのことでした。今回、1億2,000万円余りの大幅な減額だが、当初予算、補正予算で見込み違いがあったのではとの問いに、事業が確定したものが重なったり、従来の6月専決処分を行わずに、3月でできる限り不用額の減額を行ったことなどによるもので、今後は適切な財政運営に努めるとのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第21号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第25号平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第4号）について、審査の結果を報告いたします。

審議においては、平準化債が減額されているが、当初から決まっているのになぜ今回減額されているのかとの問いに、今年度の平準化債の借入れ債、予算積算時点と平準化債借入れの制度が変わり、修正による減額とのことでした。

以上、慎重審議の結果、全員異議なく、議案第25号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第26号平成28年度千早赤阪村水道事業会計補正予算（第3号）について、審査の結果を報告いたします。

慎重審議の結果、全員異議なく、議案第26号は本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、委員会審査における詳細な内容につきましては、後日委員会記録をごらんいただきたいと思っております。

以上で委員長報告を終わります。

○井上議長 これより委員長報告に対する質疑に入ります。

（「質疑なし」との声あり）

○井上議長 これにて質疑を終結いたします。

これより議案第7号千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例の制定についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

（「討論なし」との声あり）

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第7号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第8号千早赤阪村情報公開条例等の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第8号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第9号千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第9号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第10号千早赤阪村税条例等の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第10号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第11号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第11号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第12号職員の育児休業等に関する条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第12号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第13号一般職の職員の給与に関する条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第13号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第14号千早赤阪村非常勤嘱託員の報酬等に関する条例の改正についてに

対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第14号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第15号千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第15号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第16号千早赤阪村国民健康保険条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第16号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第17号千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第17号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第18号千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例の改正についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第18号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第19号平成28年度千早赤阪村水道事業会計積立金の処分についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第19号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第20号権利の放棄に対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第20号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第21号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算(第11号)について
に対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第21号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第22号平成28年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第22号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第23号平成28年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算(第3号)に
ついてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第23号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第24号平成28年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第24号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第25号平成28年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算(第4号)についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第25号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第26号平成28年度千早赤阪村水道事業会計補正予算(第3号)についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第26号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○井上議長 続きまして、日程第21、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算についてから日程第26、議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算についての6議案を一括議題といたします。

まず、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算の総務民生所管分について、議案第28号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算について、議案第29号平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計予算について、議案第30号平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算についての4議案について、総務民生常任委員長の報告を求めます。

関口委員長。

○関口総務民生常任委員長 それでは、総務民生常任委員会報告を行います。

去る2月27日の本会議において付託を受けました平成29年度予算4議案の審査を行うため、3月6日午前10時から、松本村長ほか関係職員の出席を求め、委員5名全員出席のもとに開催いたしました。

初めに、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算について、審査の結果を報告いたします。

総務民生常任委員会所管の議会費及び総務課、人事財政課、住民課、健康福祉課の歳入歳出について、それぞれ詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り、慎重に審査を行いました。このような経過を経て、議案第27号総務民生所管分についての質疑を終結した後、採決を行いました。

採決の結果、全員賛成となり、議案第27号の総務民生所管分については、本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第28号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算について、審査の結果を報告いたします。

事業勘定、直営診療所、施設勘定の歳入歳出について、それぞれ詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り慎重に審査を行いました。このような経過を経て、議案第28号の質疑を終結した後、採決を行いました。

採決の結果、全員賛成となり、議案第28号については本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第29号平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計予算について、審査の結果を報告いたします。

歳入歳出について、それぞれ詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り、慎重に審査を行

いました。このような経過を経て、議案第29号の質疑を終結した後、採決を行いました。採決の結果、全員賛成となり、議案第29号については本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第30号議案平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算について審査の結果を報告いたします。

歳入歳出について詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り、慎重に審査を行いました。このような経過を経て、議案第30号の質疑を終結した後、採決を行いました。採決の結果、全員賛成となり、議案第30号については本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、委員会審査における詳細な内容につきましては、委員会記録をごらんいただきたいと思ます。

以上で委員長報告を終わります。ありがとうございました。

○井上議長 これより委員長報告に対する質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて質疑を終結いたします。

続きまして、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算の文教建設所管分について、議案第31号平成29年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算について、議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算についての3議案について、文教建設常任委員長の報告を求めます。

浅野委員長。

○浅野文教建設常任委員長 それでは、文教建設常任委員会報告をいたします。

去る2月27日の本会議において付託を受けました平成29年度予算3議案の審査を行うため、3月7日午前10時から、松本村長ほか関係職員の出席を求め、委員5名全員出席のもとに開催をいたしました。

初めに、議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算について審査の結果を報告いたします。

文教建設常任委員会所管の教育委員会教育課、観光産業振興課、施設整備課の歳入歳出についてそれぞれ詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り、慎重に審査を行いました。このような経過を経て、議案第27号の文教建設所管分についての質疑を終結した後、採決を行いました。採決の結果、賛成2人、反対2人となり、可否同数でありましたので、委員長において採決することとなり、委員長は議案第27号の文教建設所管分については本会議において原案どおり可決すべきものと採決いたしました。

次に、議案第31号平成29年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算について審査の結果を報告いたします。

歳入歳出について詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り、慎重に審査を行いました。このような経過を経て、議案第31号の質疑を終結した後、採決をいたしました。採決の結果、全員賛成となり、議案第31号については本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算について審査の結果を報告いたします。

歳入歳出について詳細に朗読説明を受けた後、質疑に入り、慎重に審査を行いました。このような経過を経て、議案第32号の質疑を終結した後、採決を行いました。採決の結果、全員賛成となり、議案第32号については本会議において原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、委員会審査における詳細な内容につきましては、後日委員会記録をごらんいただきたいと思っております。

以上で委員長報告を終わります。

○井上議長 これより委員長報告に対する質疑に入ります。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて質疑を終結いたします。

これより議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算についてに対する討論に入ります。

討論される方ありませんか。

討論がございますので、まず原案に反対の討論から賜ります。

関口議員。

○関口議員 私は、第27号議案平成29年度千早赤阪村一般会計予算について、日本共産党議員団を代表して、反対の立場で討論いたします。

政府の2017年度予算は、アベノミクスと消費税頼みの路線の行き詰まりが明確になった予算となっています。16年度の補正予算では、税収が当初見込みより1兆7,400億円も落ち込み、その穴埋めに1兆8,526億円の国債を追加発行することとなりました。こうした苦しい財政状況の中でも、大軍拡が進められ、軍事費は5年連続増加で5兆1,251億円となっています。ことしの4月に予定していた消費税率10%への引き上げを2019年10月まで延期せざるを得なくなり、前回の1年半の延期と合わせると4年の延期となります。国民に負担を押しつける消費税増税、消費税頼みの路線がほころ

び始めたのではないのでしょうか。

こうした政府予算の中で、村の一般会計予算は対前年度比8%の伸びで31億3,500万円となっています。日本共産党がこれまで提案してきた観光地のトイレを整備する予算や空き家改修補助、定住促進家賃補助、子育て世帯引っ越し補助などが継続され、評価できるものもあります。

ことしから、移動期日前投票が実施されます。マイクロワゴン車を短時間設置し投票するというものですが、投票の秘密が守られるのか、投票用紙の管理は大丈夫かといった心配もあります。それらが厳重に管理されるよう求めます。

村政運営方針では、第4次総合計画、過疎自立促進計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、人口維持、地域の活性化に向けた取り組みを行うためとして、若年層や子育て世代の定住を図ることで生産年齢人口を増加させ、村民力が集結された、選ばれるまちを目指すための攻めの予算を編成したとしておりますが、果たして選ばれる攻めの予算となっているか疑問であります。

子育て予算については、府下市町と比べて飛び抜けてすぐれた施策ではありません。全国の自治体では、人口減少や人口流出にストップをかけるため、子育て施策や公共料金の引き下げで暮らしやすいまちに取り組んでおります。堺市では、人口流出にストップをかけるための施策として、水道料金、わずか50円ではありますが、引き下げを行い、住民負担の軽減に努めております。日本共産党がかねてより要望していました子ども医療費助成の拡充について、摂津市では4月から22歳までに拡充されます。18歳まで助成している自治体は、寝屋川市、田尻町、豊能町で、この4月からは能勢町、箕面市でも実施されます。富田林市では、18歳まで拡充してほしいという請願が採択されました。今や、子ども医療費助成は18歳までが当たり前となっております。また、学校給食の無償化についてもかねてより要望していたところがございます。そして、給食費の無償化は府下で実施しているところはありません。今年度の予算に新規事業の中に、企業誘致補助金3,000万円が計上されておりますが、村の企業誘致は一向に進展していません。今人口減少を食いとめる施策、活性化施策として、企業誘致が果たして得策かどうか疑問があります。それよりも、暮らしやすい、子育てしやすい村が望まれております。そういう意味での思い切った施策、府下ではどこも実施していない学校給食費の無償化に踏み切り、村をアピールすることが先決ではないのでしょうか。

予算質疑で、子ども医療費助成の拡充は150万円、給食費無料化は1,600万円あれば実施できることがわかりました。企業誘致の一部を使えば実施できます。選ばれるまち、攻めの予算とは、こういった思い切った事業を実施するべきではないかと思えます。

以上を述べ、反対討論といたします。（拍手）

○井上議長 次に、原案に賛成の討論を賜ります。

浅野議員。

○浅野議員 議案第27号平成29年度千早赤阪村一般会計予算について、賛成の立場から討論いたします。

平成29年度千早赤阪村一般会計予算の内容につきましては、村長の所信表明及び各担当課からの詳細な説明を得たところであります。本村は、平成26年過疎地域として公示され、自立促進のために過疎地域自立促進計画を策定し、その他各種施策を進め、第4次総合計画の実現を目指しております。一方、国においては人口減少と将来展望を踏まえた上で、地域の実情に合った地方創生のための総合戦略の取り組みを強力に推進しております。

このような現状と社会情勢の中、本村予算につきましては、第4次総合計画を基本に村の自立促進と地方創生を目指し、安全・安心で元気な村づくりに重点を置いた各種福祉、保健施策の充実や防災対策、生活環境の整備、教育環境の充実、整備、また農林業の振興や観光施策等について、国の財政支援などを活用しながら、計画的かつ効率的に事業を行い、最少の経費で最大の効果を上げるべく予算計上されており、一定の評価をいたすものであります。私といたしましても、今後も引き続き住民ニーズを的確に把握し、住民目線で事業を行うのはもちろんのこと、今後予定しております役場、新庁舎の建設には多額の経費を要することから、財政健全化に配慮し、安定した行財政運営に努められることをお願いし、賛成の討論といたします。

以上。

○井上議長 ほかに討論はございませんか。

（「討論なし」との声あり）

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

賛否両論が出ておりますので、起立によって採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の方は起立願います。

（賛成4名 反対2名）

○井上議長 起立多数です。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第28号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算についてに対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

（「討論なし」との声あり）

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第28号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第29号平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計予算についてに対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

討論がございますので、まず原案に反対者の討論から賜ります。

徳丸議員。

○徳丸議員 第29号議案平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計に日本共産党を代表して反対の立場で討論いたします。

平成29年度は、平成25年度から始まった第6期の最終年度となります。1号被保険者の保険料は、全国平均で月額5,514円ですが、村は6,232円と全国平均より13%高い保険料です。住民の中に、介護保険料が高いという声を聞きますが、その実態があらわれております。平成29年度から制度の改悪が始まります。ことし8月から高額介護サービスの上限額が3万7,200円から4万4,000円に引き上げられます。これにより、国費が10億円削減されるということです。村での対象者は122人であるということが、予算審議の中でわかりました。さらに、平成30年3月から3割負担を導入することも計画されており、予算審議では村で13人がその対象になることがわかりました。ただでさえ、介護保険料の負担が重い上に、介護を必要としたときの利用料の負担ものしかかります。安心して介護を受けられるどころか、利用料負担が気になり、必要なサービスも制限する事態も生まれております。介護保険積立金は、平成23年度以降3,000万円前後の推移で、26年には726万円まで落ち込みましたが、平成28年度決算見込みで約4,990万円となります。負担を軽減するために保険料の引き下げを求め、反対討論といたします。(拍手)

○井上議長 次に、原案に賛成の討論を賜ります。

山形議員。

○山形議員 議案第29号平成29年度千早赤阪村介護保険特別会計予算について賛成の立場から討論いたします。

本議案は、高齢者の心身健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上と増進のた

めに必要な援助、支援を包括的に担う地域包括支援センターを中心に、高齢者が継続的に生きがい、役割を持って生活できるよう介護予防事業の機能強化とともに、地域の支え合い、体制の整備、医療、介護の連携の推進に努め、認知症高齢者支援に取り組まれており、また介護サービスについては、第6期計画に基づき編成されるなど、介護保険の適正運営に努められるものと考えます。よって、私は本予算案に賛成するものであります。

○井上議長 ほかに討論ございませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

賛否両論が出ておりますので、起立によって採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の方は起立願います。

(賛成4名 反対2名)

○井上議長 起立多数です。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第30号平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算についてに
対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

討論がございますので、まず原案に反対者の討論から賜ります。

関口議員。

○関口議員 議案第30号平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算について、
反対の立場で討論を行います。

後期高齢者医療は、4月から低所得者に対する保険料の軽減措置を縮小します。所得に応じて支払う所得割は、5割軽減から2割軽減に縮小されます。家族の扶養となっていた人が後期高齢者医療に移された人の保険料は、定額部分も9割軽減であったものを7割軽減に減らされるなど、高齢者の負担増が軒並みです。年金がどんどん切り下げられ、物価が上がり、社会福祉が削減される中で、生活が苦しい高齢者の軽減措置を廃止し、保険料を引き上げるという改悪は中止すべきです。保険料の滞納者は24万人、正規の保険証をもらえない人も2万5,000人に達している中で、高齢者の負担がふえれば格差と貧困をさらに広げ、無保険高齢者をふやしかねません。75歳以上の高齢者を別枠にする後期高齢者医療制度そのものに反対です。その制度がさらに改悪する内容は認められず、反対といたします。

○井上議長 次に、原案に賛成者の討論を賜ります。

田中議員。

○田中議員 議案第30号賛成討論。

私は、議案第30号平成29年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算について、賛成の立場から討論をいたします。

日本が世界に誇れる国民皆保険制度を維持していく上で、後期高齢者医療制度は制度設立以降、重要な役割を担っていると考えます。また、当制度は平成29年度で制度創設から10年目を迎えますが、高齢者人口の急激な増加により、現役世代との負担格差が生じるなど、創設当時の情勢とは大きく変化しており、その課題への対応が求められているところがございます。次年度以降は、この課題に対して低所得者への負担を配慮しつつ、高額療養費限度額や保険料軽減特別措置を見直すなどして、より安定した保険事業運営を目指すところとなっております。

本議案は、後期高齢者医療制度の保険料の徴収業務や被保険者証の引き渡し、各種届け出の受け付けなど法律に基づく制度の運用に必要な事務経費及び被保険者の皆さんが納められる保険料等について計上しているものであります。

今後も後期高齢者の被保険者の皆さんが安心して医療を受け続けられるよう、広域連合との連携を密にさせていただき、安定した制度運営がなされることを要望いたしまして、賛成討論といたします。

○井上議長 ほかに討論はございませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

賛否両論が出ておりますので、起立によって採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の方は起立願います。

(賛成4名 反対2名)

○井上議長 起立多数です。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第31号平成29年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算についてに対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第31号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第32号平成29年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算についてに
対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第32号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第27、議案第33号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算
(第12号)についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第33号は、平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算(第12号)に
ついてでございます。

本議案は、歳入歳出それぞれ6,157万7,000円を追加いたしまして、予算総額
を32億4,139万4,000円とするものでございます。

主な内容でございますが、歳入はふるさと応援寄附金の増額、市町村振興補助金交付額
確定に伴う増額補正でございます。一方、歳出はふるさと応援寄附金の増額に伴う返礼品
等の委託料の増額や職員退職手当を計上したほか、特定財源の確定等による財源更正及び
不用によります減額補正などを行わせていただきました。なお、不用等によります余剰金
につきましては、村債管理基金及び財政調整基金積立金で調整しております。

内容につきましては担当より説明いたしますので、よろしく御審議の上、御議決賜りま
すようお願い申し上げます、提案の理由といたします。

○井上議長 詳細説明を菊井人事財政課長。

○菊井人事財政課長 それでは、議案第33号平成28年度千早赤阪村一般会計補正予算
(第12号)につきまして御説明申し上げます。

10ページをお開きください。

歳入歳出補正予算事項別明細書の3、歳出から御説明申し上げます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費4,520万9,000円の増、財源内

訳はその他財源 2,963万6,000円、一般財源 1,557万3,000円で、ふるさと応援寄附金の増加に伴います返礼品などの事業業務委託料 2,918万1,000円、早期退職者 1名の退職手当 1,557万3,000円などがございます。続きまして、4目財産管理費 6,327万2,000円の減、全額一般財源で新庁舎の建設見直しに伴います減額補正でございます。5目財政管理費 8,624万円の増、財源内訳はその他財源 1,799万1,000円と一般財源 6,824万9,000円で、財政調整基金積立金 3,824万9,000円、村債管理基金積立金 3,000万円、ふるさと応援基金積立金 1,799万1,000円でございます。3項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費から4款衛生費、2款清掃費、1目清掃総務費は、財源更正でございます。

次のページをお開きください。

6款商工費、1項商工費、2目商業振興費 660万円の減、全額一般財源で、企業操業店舗開業支援事業補助金 400万円など、不用による減額補正となっております。

次の7款土木費からの各項目は、全て財源更正でございますので、説明を省略させていただきます。

続きまして、8ページをお開きください。

2、歳入でございます。

15款府支出金、2項府補助金、1目総務費府補助金 1,395万円の増、市町村振興補助金でございます。

17款寄附金、1項寄附金、1目寄附金 4,762万7,000円の増、ふるさと応援寄附金でございます。

以上、御説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○井上議長 これより本案に対する質疑に入ります。

浅野議員。

○浅野議員 8ページの歳入でお聞きしたいと思います。

寄附金なんですけれども、ふるさと応援寄附金、今回の補正が 4,760万円、かなり寄附金が多くなって、トータルとしても合計が 2億 2,800万円、もう本当に本村の一般会計の予算が約 31億円ということで、大きなウェートを占めてるかと思います。これは、それぞれ行政の力、また観光協会がそれぞれ努力されていると思いますけれども、観光協会のこの返礼品、開発いろいろされておりますけれども、今後どのような、現在されている観光協会以上の返礼品ですね、どんなことを考えておられるのか、わかれば教えてくださいと思いますが。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 返礼品につきましては、村内事業者のみではなかなか数がないということで、いろんな事業者を募集いたしております。ただやはり、村内事業者については今のところ新たな応募といたしますか、ございますので、今後また業者等も相談しながら、なるべく村内事業者のほうに参加いただくようにやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 これだけふるさと応援基金が集まるということは、この村に対するやはり期待度のあらわれではないかと思えます。各行政でもホームページを見てみますと、いろいろとかなり返礼品が立派だということで、自分が住んでなくたって、応援していこうという雰囲気があります。だから、この村の発展のためにも観光協会とかいろいろな方に力を入れていただいて、少しでも多くの寄附金がいただければと考えております。

以上です、回答は結構です。

○井上議長 ほかに。

徳丸議員。

○徳丸議員 いただいた資料には、様式1、6、157万7,000円減額になってますが、補正額は減額とちやいますよね。それ確認しときたいんですけど。様式1の補正予算ということで。

○関口議員 説明資料の……。

○井上議長 菊井課長。

○菊井人事財政課長 濟いません。こちらの提案議案の資料でございますね。御指摘どおり増額となっております。

以上でございます。

○井上議長 徳丸議員。

○徳丸議員 減額ではなしに増額ということでよろしいんですね。

○菊井人事財政課長 はい。

○徳丸議員 わかりました。

それと、もう一つお聞きしたいのは庁舎建設の経費が大幅に減額補正されてるんですけど、新年度で具体的にはいつごろから予算化して基本設計に入るのかどうか、そのことをちょっとお聞かせ願いたいと。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 まず、さきの3月10日の庁舎建設特別委員会におきまし

て、この場所において現地に建てかえが決まったことを受けまして、次の議案におきまして、まずはすぐに取りかかることのできる測量経費から入っていきまして、その間、いただきました、それ以外の経費として当面想定できますのは、基本設計費用だったり、文化財の試掘費経費だったり、急傾斜地の補強工事であったり、関連のくすのきホール改修経費等々想定しておりますが、住民説明会や住民アンケートでいただきました住民様の御意見を真摯に受けとめ、発注していく仕様書を早期に整備し、積算し定めていきたいと思っておりますので、ちょっと今回当面の間、三、四カ月はちょっとそういう調整を行いながら、次の議会においては予算を計上し、具体的にはスタートしていきたいと考えております。

○井上議長 ほかにございませんか。

関口議員。

○関口議員 先ほどのふるさと応援基金に関連しまして、今年度応援基金は2億2,800万円がふるさと応援基金として寄附をいただきました。それで、返礼品とかいろいろ委託する業者などへの差し引きをいたしまして、村としてどれぐらいの残高が残るのか、その辺お尋ねします。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 まず返礼品ですが、一応50%の返礼品をさせていただいております。それと、業者委託としまして12%、あとクレジット決済等の手数料で1%ですので、合計で63%分は出ていくという形で、残りが37%ですので、仮に2億円の寄附としますと約7,400万円が村に残るということになります。

以上です。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 全国からたくさんの方が寄附をいただいて、村に約7,500万円の財源を生み出したということになりますが、この応援していただいている方は全国各地からいただいているのか、その辺もしわかったら教えていただきたいことと、まずそれをお願いします。

○井上議長 中野課長。

○中野会計管理者兼総務課長 寄附の方につきましては、きのう現在でいきますと2,949件いただいております。寄附の方は全国各地で、やはり関東方面のほうが多いかなというふうに思います。

以上です。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 関東あたりから寄附をいただいている中で、できれば村の特産を返礼できればと思います。これまでも、村の棚田米とかそういうものもやったらどうかという提案もしておりましたけれども、引き続いて村の特産なりが返礼できるようにお願いしたいと思います。

それから、積立基金ですけれども、財政調整基金、村債管理基金、ふるさと応援基金の28年度の決算見込みですが、それぞれ教えていただきたいと思います。

○井上議長 菊井課長。

○菊井人事財政課長 財政調整基金につきましては、約17億8,000万円でございます。そして、減債基金につきましては1億4,000万円程度を決算見込みとして考えております。また、現在まだ特別交付税の額がまだ28年度決まっておられませんので、その額によりましてまた積み立てがふえるかなというような現在の見込みでございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 村債管理基金だとかふるさと応援基金の積立金については、目的が一定決められておりますけれども、財政調整基金の積立金が17億8,000万円、これも今後庁舎の建設などにも影響してくるかと思っておりますけれども、今後どういうものに主に計画しているのか、わかっている範囲で教えていただきたいと思っております。

○井上議長 菊井課長。

○菊井人事財政課長 現在17億円ということで、平成22年度ぐらいから結構積み立てられてるような状況でございます。本村の場合、先生も御存じのように自主財源が非常に乏しいなか、財政担当としてはできるだけこつこつこつこつと積み上げていきたいと考えております。そして、今後につきましては、先生にも御質問いただきましたように、新庁舎等のこともございますし、そういったものについてもできるだけ、財源のほうにつきましても、また過疎対策とか有利なものを使いながら、また必要に応じて財政調整基金のほうを取り崩してまいりたいと考えております。そしてまた、今後庁舎だけではなく、社会保障関係経費も増額することがございますので、その辺につきましては適正な財政管理計画を今後もやってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 庁舎の建てかえについては、この現庁舎の跡に建てかえるということが決まりましたけれども、できるだけ村民に負担のかからないようにという声もある中で、ことしから国のほうが庁舎の建てかえなどについては大きく前進いたしまして、市町村の負担

がそうかからないでも済むという方向が一定出されておりますので、ぜひ庁舎についてはそうしたものを活用して、財政調整基金から出すということのないようお願いして終わります。

○井上議長 ほかにございませんか。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 ほかにないようでございますので、これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第33号につきましては、会議規則第38条第3項の規定により本会議で議決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、議案第33号につきましては本会議で議決することに決しました。

これより議案第33号に対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これより議案第33号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第28、議案第34号平成29年度千早赤阪村一般会計補正予算(第1号)についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第34号は、平成29年度一般会計補正予算(第1号)についてでございます。

本議案は、歳入歳出それぞれ692万6,000円を追加いたしまして、予算総額を31億4,208万1,000円とするものでございます。

主な内容でございますが、新庁舎建設測量業務委託料及び国民健康保険特別会計、事業勘定への繰出金の経費でございます。

内容につきましては担当より説明いたしますので、よろしく御審議の上、御議決賜りま

すようお願い申し上げます、提案の理由といたします。

○井上議長 詳細説明を菊井人事財政課長。

○菊井人事財政課長 それでは、議案第34号平成29年度千早赤阪村一般会計補正予算(第1号)につきまして御説明申し上げます。

10ページをお開きください。

歳入歳出補正予算事項別明細書の3、歳出でございます。

2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費690万6,000円の増、全額一般財源で、新庁舎建設候補地が決定しましたことによる新庁舎建設測量業務委託料でございます。

3款民生費、1項社会福祉費、7目国民健康保険費2万円の増、国民健康保険特別会計事業、事業勘定繰出金でございます。

続きまして、8ページをお開きください。

2、歳入でございます。

18款繰入金、2項基金繰入金、3目財政調整基金繰入金692万6,000円の増、財政調整基金繰入金でございます。

以上、御説明とさせていただきます。よろしく御審議のほう賜りますようお願い申し上げます。

○井上議長 これより本案に対する質疑に入ります。

清井議員。

○清井議員 先ほど説明がありましたけども、庁舎建設に伴う測量業務委託料というのが、まことに唐突にこれだけが今回の、それも29年度の一般会計補正予算ということで出てきておりますが、午後の一般質問でも新庁舎にかかわる財政計画について私質問する予定をしております。その業務内容の整理とかやった上で、手順とかそういう計画ができた上で、おのおのの経費について積算して、ばくっと10億9,000万円という数字は聞いておりますが、そういった話の整理があった上でこういうものが出てくるのかなと思ってたんですけども、特に測量業務に関して、今回これだけが先行して出てきたというのはどういう理由かお聞きしたいと思います。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 先ほど答弁させていただきましたのとちょっと重複しますが、早期の庁舎建設に向け、直ちに業務に当たりたいところなんですけれども、今現在発注できますのは、敷地の確定させるための測量業務を発注できるということで、直ちに計上させていただきました。それ以外当面、先ほど言いました基本設計等々ございます。

けれども、これにつきましてはさまざまな意見がございましたので、どういう仕様にしていくか、具体化を図った上でかかる経費を積算しなければなりませんので、ここには逆に計上できなかったという状態になっております。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 執行予定の立たないものは計上してない、当たり前のことですけれども、ということ、この690万6,000円、これで史跡調査とか測量業務とか筆界確認とか、もう即執行されるわけですか。いつごろ執行される予定ですか。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 本予算に伴います業務につきましては、今明示業務を含めまして、測量業務でありまして、4月にはもう手続に入りまして、今のところ3カ月間を想定しております。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 じゃあ、その関連の契約等はもうされたんですか。契約予定というのかな、予算がついたら執行しますよというような形の、そういう業者との協議はできておりますか。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 現在まだそこまで至っておりません。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 何遍も言いますように、計画的に物事を計画して、予算計上して執行していただく、それをお願いしたいと思います。

○井上議長 ほかにございませんか。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 ほかにないようですので、これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第34号につきましては、会議規則第38条第3項の規定により本会議で議決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、議案第34号につきましては本会議で議決することに決しました。

これより議案第34号に対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第34号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は本会議において原案のとおり可決されました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第29、議案第35号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

松本村長。

○松本村長 議案第35号は、平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についてでございます。

事業勘定の補正でございますが、歳入歳出それぞれ2万円を追加いたしまして、予算総額を11億2,581万9,000円とするものでございます。

歳出につきましては、国民健康保険運営協議会委員増による報酬等の増額を補正するものでございます。財源につきましては、一般財源を充てるものでございます。

歳入につきましては、国民健康保険制度広域化に向け、国民健康保険料引き上げに伴う各科目を補正するもの等でございます。

内容につきましては担当より説明いたしますので、よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、提案の理由といたします。

○井上議長 詳細説明を池西住民課長。

○池西住民課長 それでは、議案第35号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について御説明申し上げます。

歳入歳出補正予算事項別明細書により御説明申し上げます。

10ページをお願いいたします。

歳出でございます。

1款総務費、2項運営協議会費、1目運営協議会費、今回補正額2万円の増で、財源内訳は一般財源2万円でございます。1節報酬1万5,000円は、新たに国保運営協議会委員に村国民健康保険診療所の川妻委員を委嘱するもので、委員報酬の増でございます。

1.1節需用費5,000円、運営協議会委員増に伴う国保新聞の購入による増でございます。

す。

2 款保険給付費、1 項療養諸費、1 目退職被保険者等療養給付費と 4 目退職被保険者等療養費は、保険料増による財源更正でございます。2 項高額療養費、1 目退職被保険者等高額療養費と 4 目退職被保険者等高額介護合算療養費につきましても、保険料増額による財源更正でございます。

続きまして、8 ページをよろしく申し上げます。

歳入です。

1 款国民健康保険料、1 項国民健康保険料、1 目一般被保険者国民健康保険料、補正額 3, 5 6 0 万円の増で、一般被保険者国民健康保険料 1 人当たり 2 万円の引き上げに伴う増額補正でございます。2 目退職被保険者等国民健康保険料、補正額 7 4 万円の増で、一般被保険者同様、国民健康保険料引き上げによる増でございます。

5 款療養給付費等交付金、1 項療養給付費等交付金、1 目療養給付費等交付金、補正額 7 4 万円の減で、退職被保険者等保険料増に伴う退職療養給付費交付金の減額見込みによるものでございます。

1 1 款繰入金、1 項他会計繰入金、1 目一般会計繰入金、補正額 2 万円の増で、国民健康保険運営協議会関係経費分を一般会計から繰り入れするものでございます。

2 項基金繰入金、1 目財政調整基金繰入金、補正額 3, 6 0 0 万円の減で、保険料引き上げに伴う基金の繰り入れの減でございます。

以上、簡単でございますが、御説明とさせていただきます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○井上議長 これより本案に対する質疑に入ります。

浅野議員。

○浅野議員 国保については、30 年 4 月から大阪府の一元化というのが始まります。2 年前に、国保保険料は将来の見通しを考えながら約 2 万円を引き下げてますが、今回の歳入で大体幾らぐらい上がるのか、それだけ教えてください。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 今回、補正予算させていただいておりますのは、1 人当たり 2 万円の引き上げを予定しております。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 詳しいことはまた一般質問させていただきますので、よろしく申し上げます。

以上です。

○井上議長 ほかにございせんか。

関口議員。

○関口議員 30年から国保が統一化されることにより、保険料が大阪府から示されたということで、今回補正されたわけですが、先ほど1人当たり約2万円の引き上げということでしたが、これ医療分それから介護、後期含めたら現行は幾らで、引き上げになったら幾らになるかということをお教えいただきたいと思ひます。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 先日ですけれども、大阪府のほうから粗い試算ということで、各市町村の平成30年度に統一した場合、今の時点で保険料が幾らになるかという試算をされております。それで、村のほうですけれども、平成28年度予算ベースで9万4,870円、それが平成30年度に統一化された場合、平成29年度の予算ベースで収納必要額を計算しますと14万7,255円、これが1人当たりの保険料ということになって、約1.5倍の保険料になります。

以上です。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 今担当のほうでも言われましたように、大阪府が示したのは非常に粗い試算でこうなりますよということで、現在9万4,870円が14万7,255円に引き上げられるだろうという仮試算に基づいての措置であります。だけど、今後公費として拡充される部分については除いた試算でありますよということが、府からもそう書いておりましたけれども、今後国から新たな1,704億円の補助もつくと言われておりますけれども、この額については確定したかどうかお尋ねします。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 1,700億円、全国的に国から補助をいただくということで、今予定されておりますけれども、この補助につきましては、府のほうでもどのように使われるかというところがまだ見えてないところがございます。今回の1人当たり14万7,255円、この辺につきましても含まれておりませんので、今後この辺につきましては府のほうでも試算いたしまして、保険料に反映されていくものと考えております。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 その国の補助が加味されていない中で示された額ということで、非常に粗い試算に基づいて、すぐそれに答える必要があるのかなという疑問もあるにはあるんです。それで今回、当初予算では従来どおり2万円引き下げた保険料ということで提案されました。そのことで、私たちはそれについては賛成をしたわけですがけれども、もしも今提案さ

れております補正予算ではなく、29年にこれまでどおりの保険料で据え置いた場合の基金の残高は、29年度では幾らになるのかお尋ねします。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 当初予算で上げてます引き上げたままの保険料で行きましたら、平成29年度で約1,600万円の基金残高になる見込みでございます。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 現状のままで行っても、積立金は1,600万円まだ残るとのことですね。今後広域化されたときに、一気に6万円も上げられたら困るので、徐々に上げていこうやないかという村のそういう方針ではありますけれども、府も認めてる粗い試算で、今後措置される公費の拡充部分が除かれているという試算に、早々と引き上げることはないんじゃないかなと私は思うんですね。7月の本算定以降に改めて検討してはどうかなと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 今大阪府から示されているところには、不確定要素、その辺はございます。しかし、示されてる数字でいきますと、1人当たり平成30年に府下一元化になりますと、約6万円の引き上げが見込まれております。そういう中で、保険料を段階的に引き上げたいと考えております。

以上でございます。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 先ほどから繰り返しますけれども、国の公費助成も加味していないこと、それから基金の積立金がまだありますよね。そういうことが確定していない中で、早々と引き上げるのはどうかなということを、やっぱり本算定以降に、府の示す保険料が確定してからでも遅くはないと私は思います。

以上、そのことを。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 今関口議員がおっしゃったように、一度に上げればいいんじゃないかと。ただ、これは粗い試算ですから、実際どの程度の額になるかわかりませんが、仮に6万円だとすると、一度に6万円上げるというのは非常に住民の方にとって負担が大きいというのは、私は間違っていない判断だというふうに思います。それと、そういう意味でできるだけその引き上げが予想されるということですから、これは議員も委員になっておられますけど、国保の運営協議会の中でやっぱり段階的に引き上げるべきだという、そういう答申をいただいたというところでございます。

それと、基金があるということですが、これは課長申し上げたように、平成29年度で1,600万円なんですよね。その時点で、29年度末で1,600万円、いわゆる30年、31年ということを見ると、確実に値上げしなければその基金は底をついて、国保会計そのものが赤字になっていくということは、これは容易に想像がつくわけでございます。

それと、国の助成金1,700億円、多分これは消費税10%が見送りになりましたから、1,700億円じゃなしに300億円減額されて今1,400億円だと思いますけども、いわゆるこれについても、村が全て享受できるということじゃなしに、その配分というのは決まってないですけども、保険料に対して一般会計から繰り出しをしてたり、基金から保険料に充当してる場合は、一部そういう国の公費助成を受けられないということは、国がはっきり申しておりますから、そういう意味ではほかの自治体と同じような助成というのは得られない部分が出てくるわけですよ。そういった意味で、やはり将来的に医療費が増嵩する、あるいは今の保険料が格段に府内で安いということを考えると、持続可能な制度を維持していくという意味では、やはり段階的に引き上げていくというのが住民の方々の負担をある意味軽減していく方法ではないかなというふうには思ってます。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 返すようですけども、私は一気に6万円を上げろということ言うてるわけではありません。せめて、大阪府は今の粗い試算を精査すると言うてるわけですから、その精査した段階で、そしてまだ29年度も据え置いた状態で、末には1,600万円の基金がまだあるという中で、これについても大阪府が精査した、きっちりとした保険料を示した段階、また今年度は据え置いた額で、そういうことで段階的にやれるのではないかとことを言ってるわけです。もういいわ。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 確かに、理論上確定してないということですから、机上の議論をどこまでするかということですが、仮に医療費が、村の場合非常に人口が少ないわけですから、ちょっとした先進医療を受けるだけで医療費が膨らむと。仮に府が精査してその保険料を出してきたときに、要は基金で賄えないということが十分あり得るわけですよ。だから、その場合赤字を出すことにはなりますが、村としては大阪府に必要な保険料は全て払わないと、いろんな給付は住民の方が受けられないということにはなりますが、赤字になった場合、委員としてどういうふうな補填を考えられるのか。私は、そこは一気に上げるということが非常にしんどいんで段階的に上げようということを御提案させていただいたわけですが、段階的に上げないということであれば、その足らずの財源はどういうふう考えて

おられるのかということをお聞かせください。

○井上議長 反問できないです。

それでは、これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第35号につきましては、会議規則第38条第3項の規定により本会議で議決することに異議ございませんか。

(「異議なし」「異議あり」との声あり)

○井上議長 本会議、ここで議決するかで。あと討論あります。

異議なしと認めます。よって、議案第35号につきましては本会議で議決することに決しました。

これより議案第35号に対する討論に入ります。

討論される方はありませんか。

討論がございますので、まず原案に反対者の討論から賜ります。

関口議員。

○関口議員 議案第35号国民健康保険特別会計補正予算について、反対の立場で討論をいたします。

今回、大阪府が示した統一保険料の試算についてであります。今後措置される公費拡充などは算定から除かれて試算されていること、また今回の試算は当てにならない数字と大阪府も認めている非常に粗い試算であること、村の保険料は長年の国保料の引き下げを求める声に答えて、平成27年度よりようやく国保料が引き下げられ、大阪府下で一番低い保険料となり国保加入者の負担が軽減されました。今回の案は、現行の保険料9万4,870円が55.2%引き上げられ、必要保険料は14万7,255円になるという府の試算に対応するもので、一度に引き上げるのは大き過ぎるので、ことしから少しずつ上げていこうというものです。

しかし、今回の大阪府の保険料の試算は余りにも当てにならない数字で、大阪府のおどしともとれるこの試算に、早々と引き上げるべきか疑問があります。

平成29年度国保会計予算は、国保料は据え置きで提案されました。大阪府から広域化された場合の統一保険料が示されたとはいえ、非常に粗い試算です。本算定を待ち、保険料の上げ幅を検討することもできるのではないのでしょうか。せめて29年度は据え置き、広域化された時点から引き上げる検討もできるはずであります。制度改定により保険料が上がるのに対して、府の公費で激変緩和措置がとられます。ただし、法定外繰り入れをしていないところとありますけれども、村は一般会計からの繰り入れではなく、国保会

計の積立金を繰り入れで行っております。これを一般会計からの法定外繰り入れと同じ扱いにするというのは納得できません。緩和措置の対象となるよう、村としても主張していただきたい。

以上のことから、一旦据え置き予算を提案したものを同じ3月議会で値上げするなど、到底賛成できません。また、大阪社会保障推進協議会への府の説明会では、必要保険料について今後大阪府が精査していきたいと回答しております。

1つに、大阪府が精査した後、また2つ目に国が措置する1,700億円あるいは1,400億円になるかもしれませんが、都道府県への配分が決まってから、3番目には7月の本算定後改めて保険料を検討すべきではないかと主張し、反対討論といたします。(拍手)

○井上議長 次に、原案に賛成者の討論を賜ります。

清井議員。

○清井議員 議案第35号平成29年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について、賛成の立場から討論いたします。

本議案は、30年度国民健康保険広域化に向けての保険料の増額補正であり、段階的値上げを踏んでいくことは、保険制度の円滑かつ適正な運営には必要不可欠と考えております。

よって私は本議案に賛成するものであります。

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

賛否両論が出ておりますので、起立によって採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成者の方は起立願います。

(賛成4名 反対2名)

○井上議長 起立多数です。よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第30、請願第1号小吹台入り口における自動車解体業者進出反対と千早赤阪村の環境保全条例(仮称)の制定を求める請願についてを議題といたします。

小吹台地区紹介議員の関口議員、田中議員、山形議員、紹介議員席へお願いします。

紹介議員からの説明を求めます。

関口議員。

○関口議員 2月15日議長宛に提出されました請願書の朗読をもって提案とさせていただきます。

受理番号1号、件名、小吹台入り口における自動車解体業者進出反対と千早赤阪村の環

環境保全条例（仮称）の制定を求める請願。

請願者の住所及び氏名、千早赤阪村小吹68-434、小吹台自治会長近藤正幸ほか1名。紹介議員の氏名、関口ほづみ、田中博治、山形研介、浅野利夫、徳丸幸夫。

請願文書を朗読させていただきます。

請願趣旨、千早赤阪村小吹台入り口の、いわゆるS字カーブ部にDARAZINI TRADING合同会社による自動車解体施設の造成工事が進行中です。当該場所は小吹台住宅に隣接している上、住民所有の車及び南海バスの出入り口となっており、住民にとっての主要な生活道路です。

千早赤阪村は、豊かな自然に恵まれた土地で、この地をついの住みかとして移住してきた人も多くいます。また、国宝、重要文化財を有する観心寺と境界を接し、楠木正成公ゆかりの史跡も多く、近隣の多くの方々が歴史探訪されます。

こういう場所に自動車解体施設ができると、景観は損なわれ、住宅全体の環境に悪影響や危険が及ぶことは明らかです。トレーラーの出入りによる交通の危険、道路の傷み、廃液・廃油や悪臭の発生、処理物による環境汚染、騒音、火災等々、環境破壊が進行していきます。村の大切な自然と魅力いっぱいの歴史景観に悪影響を与えていくのは必至です。

事前に住民には何の連絡、相談もなく、住民の心配をよそに、高い鉄製の塀で囲いをし、急斜面の上には危険な立米ブロックを並べる。府から、手をつけないように言われた敷地奥の草刈りは、「邪魔になるので取った」と違反する。

造成工事では、大阪府の工事指導に従わず、注意されると、「従業員が勝手にやった」などと責任転嫁する。入り口斜面の工事は、8回も注意・指導され続けるずさんさです。

このような状況から見ても、事業者が今後、安全や環境に留意した事業を行うことは、到底考えられません。無秩序な業者が進出すると、村の指針にあるような「魅力的な村づくりで若者を呼び込み、活力ある村づくりをしていく」ことは難しくなっていきます。

そこで、私たちは、「一冊の絵本のような村」と言われている自然と歴史の薫り高い千早赤阪村の未来を守るため以下の請願をいたします。

請願事項1、千早赤阪村は住民の環境を守るため、小吹台入り口の自動車解体業者の進出に反対するとともに、関係機関に進出を中止させるよう働きかけてください。

2、「千早赤阪村環境保全条例（仮称）」を制定してください。村長の許認可権、罰則、立入検査などを条例で明記し、土地周辺関係者の同意がなければ、無秩序な業者の操業や工事ができないことを記述してください。

3、近隣2市（富田林市、河内長野市）と一体となって、境界部に問題が起きないように環境保全条例を早急につくるよう働きかけてください。

以上が請願文書です。

2月15日の請願提出には2,705名の署名が添えられ、後日の追加も含めて合計3,169名の村民の願いが込められています。請願採択いただきますようお願いして提案といたします。

○井上議長 これより本件に対する質疑に入ります。

清井議員。

○清井議員 請願事項につきまして、行政、村の考え方とあわせて、紹介議員さんにお聞きしたいと思います。

まず1点目、千早赤阪村は住民の環境を守るため、小吹台入り口の自動車解体業者の進出に反対するとともに、関係機関に進出を中止させるよう働きかけてくださいとありますが、まず行政に聞きます。

村は、行政区域外である富田林市での自動車解体業者の進出に際して反対できる根拠はあるのか。そして、あわせて関係機関に進出を中止させるよう働きかけてくださいとありますが、やるとすればどういう方法が考えられるかお聞きしたいと思います。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 今回の小吹台入り口の問題に関しては、その地域の環境を守るという思いは地域住民の方も行政も議会も、そんな大きな隔たりはないというふうに認識をしております。そうした中で、今議員から御質問があったように、反対ができるのか、あるいは関係機関に対して働きかけができるのかと、その根拠も含めてお尋ねをいただいたわけでございますが、行政としてはあくまで法律の範囲内で行動するということが原則でございます。これは本当に冷たい返事になって心底申しわけないというふうには思うわけでございますが、行政というのはあくまで中立な立場で行政運営をするということでございますので、その法律の枠組みを超えたそういった運動ということになれば、これは現実的に不可能だというふうに思っております。

それと、我々公務員というのは、採用されたときに地方公務員法に基づいて宣誓をして、署名もしておるわけでございまして、そういう意味では憲法を守り、法律条例に従うという、そういうことを宣誓いたしております。ですから、住民の皆さんがおっしゃってるといふことに対しては、心情的には十分理解をするわけでございますが、やはり行政の立場あるいは公務員の置かれている立場ということからいいますと、全ておっしゃってるといふことに対してイエスという返事がなかなかできないということで、それが住民の皆さんから見ると、なかなか行政は言うことを聞いてくれないというふうに映るわけでございますが、その点については決してそうでないということは御理解をいただきたいというふうに

思います。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 ここで紹介議員さんにお尋ねしますが、今行政のほうは、一般論といいますか、このケースも含めてなんでしょうけど、行政自体が関係機関に対して反対であるとかということの働きかけは、これは無理じゃないかという意見をいただきました。紹介議員さんとしましても、当然地元の議員さんですから、私も心情的にはわかります。ただ、方法論として今後具体的に、そしたらどこへどういうことを言うていって、阻止させるように働きかけをするんやという部分について、お考えがあったらお聞きしたいと思います。

○関口議員 御質問にお答えいたしますけれども、私たち議員は住民の代表でもあります。住民の住環境を安心・安全に守るのも議員の務めだと考えております。その中で、法は当然守るべきものだと考えておりますが、村として大阪府や富田林市と連携し、進出を中止できるような方策を見つけていただきたいと、このように考えております。既に、私の9月の議会で質問いたしましたところで、そのときの答弁ですけれども、府とか村、富田林市、河内長野市の関係課で構成する連絡会議を設置して、連携を密にし、情報を共有するという答弁をいただきました。この答弁に基づいて、富田林市、河内長野市と協議をしていただいた中で、あの場所には里道があるということがわかりました。その里道について、今は地元の方が富田林市に申し入れにいたり、そういうことをやっていたいております。ですから、行政としても関係機関と協議して情報を共有し、その情報を私たちに知らせていただくということは、十分やっていたけるものだと思っております。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 次に、請願事項2点目です。

千早赤阪村環境保全条例（仮称）を制定してください、これは私自身も賛成します。ただ、その附帯条件としまして、村長の許認可権、罰則、立入検査などを条例に明記しとありますけれども、今回の自動車解体業者の場合は、許可権者は知事であって村長ではない。こういった個別の許認可にかかわる部分の権限について、環境条例に明記することが可能なかどうか。そして2点目は、続けて、土地周辺関係者の同意がなければ操業や工事ができないことを記述するとありますけれども、これも同様の意味で環境条例に記述することが可能なかどうか、まず行政のお考えをお聞きします。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 2点お尋ねがございました。2点まとめて回答させていただきたいと思えます。それと、ちょっと法律上の解釈ですから、長くなる点はお許しをいただきたいというふうに思います。

それで、法律で規定されてること、今回自動車リサイクル法という法律ですが、その法律で規定されていることについて、いわゆる自治体が条例を定めるというのは条例による上乗せ、横出しという、そういうことになるわけでございます。非常に難しい問題もありまして、この点について昨日、弁護士の先生ともいろいろ議論をいたしました。過去の最高裁の判例では、2つの考え方が示されておりまして、1つは国の法令が全国的に一律に同一内容の規制を施す趣旨で制定されている場合は、条例で上乗せするということは違法だと。いわゆる全国どこでも同じような基準で処理しなさいというような決め事については、条例で勝手に決めてはいけませんと、こういうことです。それ以外の部分、それ以外の趣旨でそれぞれの地方公共団体において、その地方の実情に応じて別段の規制を施すということを法律が容認している場合は条例で規制してもいいですよ、こういうふうな最高裁の判例がございます。

まず、今回お願いでいただいております許認可とか罰則、立ち入りあるいは周辺土地所有者の同意ということについて、具体的にどういうことを意味されてるのかということがちょっとわかりにくい部分がございますので、明確にお答えできない部分もありますが、いわゆる条例制定権の範囲としては、都道府県に専属する事務については市町村条例が制定できないというふうにされております。いわゆる都道府県知事と市町村長が同一事項について二重に審査する制度を設けるということは、これは法理論上できないということでございます。この点に関しましては、そういったことについて平成14年でございますが、徳島地裁で判決がございました。水道水源保護に関する阿南町条例という、町が県の知事の権限、いわゆる廃棄物処理法上知事の審査権限があるわけですが、これについて町の条例で町長の権限を定めたというものでございますが、これについて判例は、この廃掃法上は市町村長と知事の役割分担を明確に規定していることに鑑みても、およそ同法が町長の権限を想定しているものとは考えがたい事態にあるとし、条例を違法というふうに判決を下しております。

よって、今回自動車リサイクル法上、知事の権限というふうにされている事項について、村が条例で許認可あるいは立入検査、その他同意、罰則等々を規定するということは困難であるというふうに考えております。

我々きのう議論する中で、次善の策として、例えば事業所から100メートルとか200メートルとか、そういうところに住宅が存在する場合、地元同意とか地元説明会の開催ということを事業者には義務づけできないかということについても検討いたしました。自動車リサイクル法というのは、基本的には使用済み自動車のリサイクル、適正処理を図ることが法律の主な目的になってございまして、生活環境保全も法律もその目的の一つ

ではあるんですが、主たる目的ではないということで、それを踏まえたと、先ほどの最高裁の判例等を引用する中で、それぞれの自治体において、その地方の実情に応じ別段の規制を施すことを容認するという、その程度がやはりこの自動車リサイクル法はそんなに余地がないというようなことでございます。それともう一つは、やっぱりそういったことを条例で規制しようとする場合、相当程度の合理的かつ特別な理由が要るとか、あるいは条例の規制が比例原則ですね、いわゆる必要性とか過剰規制、禁止の原則に違反しないというふうに必ず言い切れないと、やはり条例が制定できないということをお伺いしておりますので、この本件についても条例を制定することは極めて難しいのかなというふうな思いでございます。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 今行政の見解を聞きましたが、紹介議員さんはこれをどのように受けとめられているのか、再度お伺いします。

○井上議長 田中議員。

○田中議員 ありがとうございます。

今請願の2番目の千早赤阪村環境保全条例（仮称）を制定してくださいということと、村長の許認可権あるいは罰則、立入検査などを条例で明記するというふうになっていますけど、この条例の制定につきましては、どこまで条例で住民の生活環境に影響を及ぼすものに対して規制をかけることができるかが問題と思います。千早赤阪村でこれから十分精査をしていただきまして、住民によりよい環境をつくっていただきたいと考えて、お願いとします。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 そしたら、最後の近隣2市、富田林市、河内長野市と一体となって境界部に問題が起きないように環境保全条例を早急につくるよう働きかけてくださいとありますが、富田林市、河内長野市には既にこれに関連する条例等はまだできてるわけですね。その中で、本村が今これから新年度で新しい環境条例をつくるべく、予算もつけられております。そういう状況を踏まえて、環境保全条例を早急につくるよう働きかけてくださいということは、どういうことをこの3番目の文章で、具体的にどのようなことを求められているのかお聞きしたいと思います。

○井上議長 山形議員。

○山形議員 この件については、昨年12月の議会で一般質問で小吹台入り口沿いの自動車解体施設の工場の現状は、の中で、村として私が環境保全条例の制定を求めましたところであります。今清井議員からの質問なんですけど、今回の請願事項とは富田林市、河内

長野市においては策定されてからかなりの年数が経過していることから、そこで今回のような近隣の事業が規制できるよう実効性のある条例になるよう行政に働きかけていただきたいなど、そう私は考えております。

以上でございます。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 じゃあ、一言だけ言わせてもらいます。

環境条例というのは、しょせん理念の条例でして、具体的な事象をつかまえてこれをしたら、もちろん環境を守ることが一番の目的なんですけども、個別の許認可等に関して、先ほども説明ありましたとおり、そういうことは内容として盛り込んでいくことはちょっと難しいかなと。そういうことで、これ請願事項が出てますが、この内容についてはもう少し請願者と協議なさって内容の検討を加えた上で行政が受け入れ……。このままでは、先ほど言いましたように、1点、2点についてはなかなか行政とは一致したところは得られてないですから、そういったことを検討されてはどうかなということを申し上げておきます。

○井上議長 ほかにございませんか。

(「質疑なし」との声あり)

○井上議長 これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

請願第1号につきましては、会議規則第38条第3項の規定により本会議で採決することに異議ございませんか。

異議ございませんか。

清井議員。

○清井議員 私先ほども申し上げましたとおり、この請願の内容につきましてはもう少し慎重に検討されてやられるのが適当ではないかと思います。だから、この文面のままで請願については私はちょっと理解できませんので、申しわけないですが、私は採決に加わらずに退席させていただきます。

○井上議長 これより請願第1号に対する討論に入ります。

(「討論なし」との声あり)

○井上議長 これにて討論を終結いたします。

これより請願第1号を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり採決することに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり採択されました。

清井議員、入ってもらって。さきの議案は採決した。

~~~~~

○井上議長 議事日程第31、次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項についてを議題といたします。

本件につきましては、議会運営委員会の清井委員長から閉会中に次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について調査を行いたいとの申し出がございました。

お諮りいたします。

委員長からの申し出のとおり閉会中に調査を行うことに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、閉会中に調査を行う旨決しました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第32、過疎地域自立促進特別委員会の閉会中の所管事務調査についてを議題といたします。

本件につきましては、過疎地域自立促進特別委員会の田中委員長から閉会中に所管事務の調査を行いたいとの申し出がございました。

お諮りいたします。

委員長からの申し出のとおり閉会中に調査を行うことに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、閉会中に調査を行う旨決しました。

~~~~~

○井上議長 議事日程第33、庁舎建設特別委員会の閉会中の所管事務調査についてを議題といたします。

本件につきましては、庁舎建設特別委員会の田中委員長から閉会中に所管事務の調査を行いたいとの申し出がございました。

お諮りいたします。

委員長からの申し出のとおり閉会中に調査を行うことに異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○井上議長 異議なしと認めます。よって、閉会中に調査を行う旨決しました。

ここで休憩いたします。

午後1時15分から再開いたします。

午後0時24分 休憩

午後1時18分 再開

○井上議長 午前中に引き続き再開いたします。

~~~~~

○井上議長 議事日程第34、一般質問に入ります。

1番目の質問者、浅野議員。

○浅野議員 4番、公明党浅野利夫でございます。議長通告に基づきまして、2点質問させていただきます。

1点目、国保料の統一化、一元化についてお伺いいたします。新聞の記事が「統一化」となっておりますので、今後「一元化」で統一させていただきます。

2月17日金曜の毎日新聞夕刊には、大阪府は国民健康保険料を府内で統一する方針を固めたとの記事が掲載されておりました。市町村ごとにばらつきがある保険料を統一し、住民の負担を公平化するのが狙いであり、来年4月の導入を目指すとのことでした。全国的に見ても、1人当たり医療費や所得の格差、1人当たり保険料の都道府県内格差があり、大阪府でも市町村の国保が抱える構造的な課題として、1点、年齢構成が高く、また医療水準が高いこと、2点目が所得水準が低い、3点目が保険料負担が重い、4点目が保険料の収納率低下、5点目が一般会計からの繰り入れ、繰上充用など、ほかにも市町村間の格差があります。国保に対する財政支援の拡充が検討されているようですが、新聞の記事には現在43市町村のうち、37市町村で値上げとなるとのことでした。

本村は2年前、保険財政収支見通しを推計し総合的に検討を行った結果、全会一致で約2万円の値下げを実施しており、値上げとなると、現在の保険料と新制度での料金の格差は想定で幾らになるのか。現状との乖離が大きくなると、保険料の納付に支障が出るのではないかと考えますが、どうでしょうか。また、国保の基金はどのようになるのか、お伺いいたします。

2点目の質問です。

村道等の補修工事は早急に、についてお伺いをいたします。

昨年の3月議会で、村道等補修工事の優先順位は、との件で一般質問をさせていただきました。そのときの回答では、舗装の劣化状況の調査結果と路線の重要度を評価して決めるとのことでした。1年が経過して村内を巡回してみました。今までに舗装工事を要望した路線で、一部の路線は工事が完了しているものの、他のどの路線で工事が終わっているのかわからないと感じた次第であります。そこで、以下の3点についてお伺いをい

たします。

1 点目、劣化状況の調査結果はどうであったのか。

2 点目が、補修工事の優先順位は決まっているのか。

3 点目、通学路や高齢者が多く利用している道路、屋外の街灯がなく、特に夜間では足元がわかりにくく、危険な道路の把握ができているのか、お伺いいたします。

以上の2点につきまして、的確な答弁を求めます。よろしく申し上げます。

○井上議長 質問事項1番目の答弁者、池西住民課長。

○池西住民課長 保険料の統一化について御答弁申し上げます。

先般、大阪府から示された新制度による粗い試算での平成29年度保険料、1人当たり収納必要額は14万7,255円で、村の平成28年度1人当たり保険料と大きく乖離しており、約1.5倍の試算となっております。議員御指摘のとおり、保険料が1.5倍になれば、収納率の低下も予測され、この差額金を一度に引き上げると、被保険者への生活基盤への影響も懸念されるなど、各所に影響を与えることから、国民健康保険運営協議会の答申も踏まえ、先日の全員協議会で御説明いたしましたとおり、段階的な保険料の引き上げを予定しているところです。

また、本日御承認いただきました国民健康保険補正予算では、一般被保険者1人当たり保険料を2万円に引き上げるものでございまして、今後被保険者の皆様に御理解いただけるようきめ細やかな広報を行い、周知したいと考えております。

次に、国民健康保険の財政調整基金の推移予測でございしますが、平成29年度から平成31年度までの3年間で、それぞれ約2万円ずつ段階的に保険料を引き上げた場合、平成29年度見込み基金残高は約5,100万円で、平成31年度には約1,200万円の基金残高となる見込みでございします。ただし、平成29年度中の保険給付費の増減や平成30年度以降大阪府に支払う保健事業費納付金の増減により、基金残高も変動することもございします。

以上です。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 午前中の議会でもありましたけれども、29年度は2万円引き上げることでありました。あと、ちょっと方向転換しまして、保険料の徴収率をちょっと調べてみましたけれども、その推移を見ても、本村は大阪府でずっと上位を維持しております。平成21年度から24年度までと26年度は、大阪府内で2位です。平成25年度と27年度は、これは1位であります。大阪府の平均徴収率は86から87%であるに対しまして、本村は約10%上回っております。ちなみに、27年度の本村の徴収率ですが、これ

は98.1%という高徴収率でありました。なお最低は、ある市ですけれども、余り直接言うともまずいので三洋電機の本社があったところの市ですが、85.99ということで12%も本村が上回っております。

私は、高い徴収率については職員の努力のたまものであると思っておりますし、安定的な国保運営ができる大きな要因でもありと考えております。要は、努力しているところと余り努力されていない、そうでないところとの差ですね、かなり大きい。そして、各市町村によってもそれぞれの事情があるとは思いますが、徴収の努力が報われる制度にしないと、一元化されても徴収率が悪くなるおそれがあります。一元化した場合、インセンティブはどのようになるのか、2点目の質問としてお伺いします。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 国や大阪府においても、収納インセンティブについては重要課題の一つであると認識されております。国のガイドラインですけれども、標準収納率の算定に当たっては、各市町村の収納率の実態を踏まえた実現可能な水準としつつ、かつ低い収納率に合わせることなく、規模別や市町村別などにより適切に設定することとされていることから、大阪府では各市町村における実質収納率を基本として、規模別の基準となる収納率との差に応じた諸条件を加味した上で設定されると聞いております。例えば、実収納率ですけれども、それが高い場合には実収納率よりある程度低く設定することで、その差額分がその市町村独自の財源となるなど、インセンティブが働く仕組みとして、逆に実質収納率が低い水準の場合には、実収納率を少し上回る収納率に設定することで収納率向上のために努力していただくというような仕組みを想定されているようでございます。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 インセンティブが働くということで、やりがいのある職員の方もやりがいができるんじゃないかと思っております。

3点目として、この一元化は平成30年度からですが、今後大阪府におきまして国民制度の運営方針など、今現在検討されていくことになると思っておりますけれども、府下一元となる平成30年4月までの移行までのスケジュールはどのような形になっているのか、わかればお聞きしたいと思います。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 今後のスケジュールですけれども、国は7月に追加の1,700億円の追加公費の考え方を示されるということです。最終12月に事業費納付金や標準保険料率の算定に必要な仮係数を示される予定でございます。大阪府は、6月に国保運営方針のたたき台を策定いたしまして、以後9月に方針案、最終12月に国保運営方針が決定される予

定でございます。来年1月には、事業費納付金や標準保険料率も確定される予定でございます。村のほうでは、府が1月に示される標準保険料率を参考に、2月に保険料率を決定しまして、3月に関係条例改正を予定しております。

○井上議長 要望をお受けします。

浅野議員。

○浅野議員 あと要望ですが、団塊の世代、我々ですけれども、退職して健保組合とか共済組合などが各市町村の国保に一斉に加入されて、加入者が急増している状態、これは医療費の増加というのも懸念されてる状態ですけれども、本村においてもますます高齢化になっていくと思います。国保の運営協議会でもよく検討していただきまして、大阪府との連携を密に、激変緩和措置を講じていただけるようぜひとも働きかけていただきたい旨お願いをいたしまして、要望といたします。

○井上議長 質問事項2番目の答弁者、西川理事。

○西川理事 村道等の補修工事について御答弁申し上げます。

村は、154路線、延長約57キロメートルを村道として管理しています。昨年度、舗装の劣化状況を把握するため、村道全線を対象に計測が可能な約50キロメートルの路面状況を計測、解析いたしました。国土交通省の舗装点検要領により判定しますと、その結果は損傷レベル大で修繕が必要な段階は約1割、損傷レベル中は約2割、損傷レベル小で健全な段階は約7割でありました。この調査結果と路線の重要度を合わせて評価し、舗装修繕の区間別優先順位づけを行いました。今後は、この舗装修繕計画をもとに計画的に修繕工事を進めていきたいと考えており、1年目となります今年度は水分東阪線、森屋ひえの前線、水分森屋線、千早大橋脇谷線、西峯唐谷線などの路線で舗装修繕工事を行いました。

以上、答弁といたします。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 私は村内いろいろ回ってるんですけど、それで多くの住民からも道路のふぐあい、例えばちょっとした穴ぼこ、でこぼこなどをすぐ直してほしいという要望をたくさん受けるわけですけれども、今回、今答弁していただきました舗装修繕計画というのは、舗装路面の劣化状況の調査結果に基づいて策定したということではありますが、住民の方が道路を評価する場合は、ちょっとへこんである水たまりやったら、水はねとか車が通ったときの振動、騒音といったことで、そういう環境とかでこぼこなど、自分らが歩きにくいとかそういうことで判断をされるわけなんですよね。だからそういうことで、やはり地区内の方は自分らがそこを一番早く直してほしいというのはやはり当然のことと思います。

高齢者とか通学道路、また安全を確保するには舗装修繕計画だけにとられることなく、住民からの意見、要望を尊重した住民目線で維持管理が必要じゃないかと私は考えております。いろんな方から要望を受けるんですけど、傷んでるのはここだけではないと、私も思っておりますが、口に出しては言っておりません。住民の方にとっては、やはり自分らが言うたことはすぐ直してほしいという切実な問題かと思っております。前にも言われたことなんですが、同じように村に税金を払ってるからな、てなことも言われたこともあります。大体、この件について住民目線でということに対してはどのように考えておられるのか、答弁をお願いしたいと思います。

○井上議長 質問事項2番目の答弁者、西川理事。

○西川理事 村道の舗装維持管理については、舗装修繕計画に基づく計画的な維持管理と住民からの要望や道路パトロールにより発見されたふぐあい箇所への補修など、日常的な維持管理により対応しています。一般に、道路管理者、道路利用者、沿道住民といった評価者によって舗装の評価に関する視点も異なり、良否を判断する基準も異なってきます。

こうしたことから、道路管理者が作成した舗装修繕計画だけに偏ることなく、道路利用者や沿道住民からいただきました意見や要望を考慮し、舗装の維持管理を進めていきます。

以上、答弁といたします。

○井上議長 浅野議員。

○浅野議員 要望しておきます。

村道とか、住民の方は生活道路も含めてるわけですけども、村民が日常生活を行う上で必要不可欠なインフラ施設でもあると、これは私も思います。村は、舗装修繕計画に基づいて、計画的に舗装の維持管理を進めていくということで、これもやはり正しいことで、限られた予算内で健全な状態を維持するためには、やはりライフサイクルコストを意識するのも当然だと思います。効率的な維持管理に努めるよう要望し、またあわせて、地区内の生活道路のふぐあい、住民の日常生活に直接影響するものでありまして、道路のふぐあいに関する通報とか改善要望があったときには、できる限り迅速な対応を図っていただきますようよろしくお願いいたします。

以上が要望です。

あと、ちょっと個人的なことで申しわけありません。ここで、私ごとですけども御礼を言わせていただきたいと思います。

3期12年間、計48回一般質問をさせていただき、今48回目が終わったわけですけども、今回が最後の一般質問となりました。今まで丁寧に回答をいただきまして、本当

にありがとうございました。29年度は、また新人議員も当然してこられると思います。新しい角度で、また村政のさらなる発展を願ひまして、村長、副村長、また職員の方には大変お世話になりました。私は、次の村議選には出馬をいたしません。今まで本当に皆さんにお世話になったことをここで御礼を言わせていただきまして、また今後村、村政の発展に微力ながら、影ですけど、努力させていただくことをお約束いたしまして、御礼の挨拶とさせていただきます。言葉足らずで本当に申しわけありませんが、今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（拍手）

○井上議長 第2番目の質問者、徳丸議員。

○徳丸議員 3番、日本共産党の徳丸幸夫でございます。

以下2項目について質問をいたします。

第1に、村内に設置されているトイレの改修についてです。

村内には、幾つかのトイレが設置され、村民はもとより来村者に利用されております。道の駅、いきいきサロンくすのき前のトイレは、全て和式となっております。棚田に設置されているトイレは、古くて衛生上からも改修が必要ではないでしょうか。これ以外にも、村民運動場、テニスコート、金剛登山口、くすのきホール内のトイレも古くなっております。来村者をおもてなしするためのトイレや看板の整備を、村長の所信表明では明らかにしており、予算も4,000万円を計上しています。この予算で、どのトイレの改修を予定しているのか伺います。同時に、新年度のできるだけ早い時期に改修が必要ではないかと思ひます。答弁を求めます。

また、本村の重要文化財でもあります水分神社のトイレは極めて不衛生で、参拝者が利用しにくくなっております。来村者が気持ちよく参拝できるようにするためにも、神社側に改修整備を申し入れるべきではありませんか。第4次総合計画の第7期実施計画では、村の魅力やおもてなしを向上するとともに、交流人口の増加を図ることを目的として、内容は観光地となっている文化遺産についてトイレの整備を行うとともに、文化財所有者に対して整備に係る費用の補助を行うと明記しております。積極的な答弁を求めます。

次に、金剛自動車、以下金剛バスと言ひますが、バス停の整備について伺ひます。

村内には、金剛バスのバス停が17カ所あります。屋根のある待合所は5カ所しかありません。屋根があつても破れているところもあります。屋根の役割を果たしてありません。また、椅子の置いてあるバス停は4カ所しかありません。業者が少ないとはいえ、余りにもみずぼらしいものではないでしょうか。今後、高齢化が進み、自動車の利用がますます困難になれば、バスの利用が中止にならざるを得ません。バス停利用者はもちろん、来村者に対してもサービス向上になります。せめて利用者の多いバス停には、長椅子等を

設置して、安心して待ち合わせができるようにすべきではないでしょうか。バス停の整備は、村単独では無理があり、金剛バスの協力も当然必要であります。金剛バスへの協力の依頼と村の積極的な対応を求めます。

以上です。よろしくお願いします。

○井上議長 質問事項1番目の答弁者、清水副村長。

○清水副村長 1点目の村内トイレの改修について御答弁申し上げます。

観光などで村外から本村を訪れる方に村内で気持ちよく過ごし、村に対してよいイメージを持って帰っていただくことは重要でございます。その一つの要素として、訪れた施設で使用するトイレが衛生的で気持ちよく使用できることが必要であるというふうに考えております。まさに、トイレは文化だというふうに思います。

このようなことから、平成29年度において村が設置し管理している楠公誕生地でのトイレの改修を進めるほか、民間の管理で多くの来村者が訪れる施設のトイレ整備への補助制度を設けます。この補助制度の対象については、水分神社などの施設を想定しており、関係者に補助事業として実施するよう進めていきたいというふうに思っております。

なお、下赤阪の棚田のトイレにつきましては、国指定史跡地内にあることから、この場所で建築工事をするということについては、文化庁との調整など相当な困難が予想されるというふうに思っております。

それと、今後どういう形で整備していくのかということですが、単年度の財政の影響ということも十分踏まえる必要があるというふうに思っておりますので、今申し上げたようなトイレ以外については、優先順位をつけながら順次改修を進めていきたいというふうに思っております。予算にもよりますが、大体3年程度でできればいいかなということでございます。

○井上議長 徳丸議員。

○徳丸議員 棚田のトイレですけども、この間現場へ行ってみましたら、中学校のトイレは使わないでくださいと書いてあるんですね。来村者があのトイレが使いにくいんじゃないかなと思って見てたんですけど、せめて棚田を見に来た来村者に対して、きれいなトイレの提供をすべきじゃないかなというふうに思いますが、まずこの点についてお聞かせいただきたいと思います。

それから、4,000万円以上の活用の方法ですけども、いつどこでどういう事業をするのか、あわせてお聞かせいただきたいと思います。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 まず1点目の棚田のトイレの件でございますが、確かに中学校のトイレを

使うなというのは、ある意味学校の管理運営上、不特定多数の方が来られるということで、そういうことの措置を講じられてるんだらうというふうに思います。柵田については、柵田ゆめあかり等々、村の目玉になるような観光振興事業ということもありますので、先ほど申し上げたように、全面的な改修というのは、これはやっぱり規制区域内ということでございますから非常に難しいというふうに思いますが、じゃあ、それにかわってどういうことができるかということは、今回のトイレのリフレッシュ事業とあわせて検討していきたいというふうに思っております。

それと、4,000万円の使い方ということでしょうか。その予算書にも書いてございますが、直接村が管理するトイレと、それは1カ所ないし2カ所ぐらい。それとあと、民間のトイレに対する助成ということで、今現在2カ所考えてございます。先ほど議員から御質問のあった水分神社についても、優先度合いが非常に高いということで、我々担当課のほうでは神社側といろいろ今調整をさせていただいておるということでございますが、なかなか補助率が2分の1ということ、それともものによっては非常に金額が膨らむということ、あるいはほかにも改修したい。例えば、屋根の改修をしたいというようなことをおっしゃってたり、なかなか今時点で合意に調整が済んでるというわけではございませんので、そういったところについては、議員のほうからもまた御支援いただければというふうに思います。

○井上議長 質問よろしいですか。

○井上議長 質問事項2番目の答弁者、清水副村長。

○清水副村長 それでは、2点目のバス停の整備について御答弁申し上げます。

観光産業の振興は、地域再生の切り札として期待が寄せられているというふうに思っておりますし、本村におきましても観光客を受け入れる、おもてなしを強く意識した、先ほど来御答弁いたしましたトイレの整備あるいは誘導サインの整備というものを、平成29年度から進めていくということにいたしております。

今回、議員から御質問通告を受けまして、私も村内にある金剛バスのバス停を見て回りました。ほとんどのやっぱりバス停というのは古く、特に議員も先ほどの質問の中でおっしゃってましたが、森屋のバス停、これは村の顔となる玄関口のバス停であるというふうに思いますが、いかにもさみしい感じがいたしますし、金剛登山口のバス停は前に大きなゴミ箱が置かれているということで、そのおもてなしという点ではまだまだ改善の余地があるというふうに強く感じたところでございます。

議員御指摘のとおり、村民はもとより村を訪れていただく観光客のサービスの向上、イメージアップを図るためにもバス停の整備の必要性というものを強く感じております。そ

ここで、実情調査をいたしましたところ、道路敷におきましてはバス停の整備、特にベンチを設置する場合は、道路管理者から道路法による占有許可を得る必要があるということ。それと、許可に当たっては、これは国交省の道路局長通知で、占有許可の主体者は路線バス事業者あるいは地方公共団体で的確な管理能力を有する者というふうにされておりますし、また設置場所についてもいろいろ詳細の基準が示されております。この基準に当てはめると、村内の道路ではその基準をクリアすることができないというようなことで、道路敷にベンチを設置するということは、これは法令上困難であるというふうに思います。

次に、乗降者数の多い森屋あるいは金剛登山口のバス停というのは、いわゆる大きな市有地に面しておりますので、現状見たところ、森屋のバス停の上屋っていうのは、金剛自動車株式会社が整備をしたもので、その椅子は土地の所有者が設置をしていただいております。それと、登山口のほうの上屋は地元有志が整備をされ、ベンチは広告のために民間企業が設置をしてるところでございます。

以上の状況を踏まえまして、金剛自動車にバス停の整備の協力要請を先般行いましたが、金剛自動車としてはバス停の整備予定はないと、非常につれない返事をいただいたところでございます。本村といたしましては、住民サービスに加え、おもてなしの向上に寄与するということから、引き続き粘り強く、金剛自動車とは協議をしていきたいというふうに思っております。

さらに、なかなか整備といっても費用がかかることですから、民間事業者としては難しいということもございます。ですから、我々としては次善の策として、金剛自動車あるいは土地所有者に管理を行っていただくということを前提として、富田市の駅前のバス停のような、あんな大きいもんじゃないですけども、上屋ベンチの整備の例を参考にして、これは富田林市があそこの部分というのは実は整備をしてる、近鉄でも金剛バスでもないとう、そういう整備の仕方もございますし、ほかの市では一定バス事業者に対して補助をしているとか、住民から寄附を募って、寄附が建設費に達したらそこで建設をしてるとか、いろんなやり方がございます。そういう意味では、そういう手法についても検討し、まずは村の玄関口であります森屋のバス停の整備について検討を行っていきたいというふうに思います。あわせて、おもてなしの意識を高めるとともに、やはり日々の住民サービスにおいて、これは村長のマニフェストでも言っておりますが、ワンランク上の行政サービスを提供すると。そういうことができるよう平成29年度から村職員を民間企業の研修に参加させ、ホスピタリティーを向上させる取り組みもあわせて進めていきたいというふうに思います。

○井上議長 徳丸議員。

○徳丸議員 確かに、設置場所については非常に場所が狭いということですし、新たにつくるといのは大変だと思うんですけども、しかし、少なくとも柔軟な対応をしていただきたいと。場所によって広く使えるところもあるし、椅子一つも置けないような場所もあります。それから、屋根のあるところでも破れている屋根があります。地域の皆さんがつくったのかもしれませんが、せめてそういうみすぼらしい屋根については修理をすべきだと思うんですけども、どうなのでしょう。改めてお聞かせいただきたいと思います。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 今議員から、いろいろ資料をいただいて読ませていただいておりますが、確かに先ほど申し上げたように、私も回って、結構傷んでるなというところは多くございました。その一方で、恐らく自分たちで掃除をされてるんでしょうね。東阪のバス停でしたか、竹ぼうきがずっとかけてあって、非常に中はきれいに掃除をさせていただいてるというような状況でございました。実態をやっぱりよく調べないといけないのかなというふうに思っております。まず、誰がそれを設置したのかということですね。それと、やっぱり金剛自動車のバス停ですから、そこには当然土地の所有者もおられるし、管理してるのは金剛自動車ですから、やっぱりそのあたりとよく相談しながら、可能な範囲でできることから、先ほど申し上げたように、まずはバス事業者で考えていただく。そうでなければ、村として何ができるのかと、それが補助なのか、村が直接やるのかといったやり方も含めて検討していきたいというふうに思います。

○井上議長 徳丸議員。

○徳丸議員 よろしく願いしておきます。

最後になりますけれども、私も今限りで議員をやめることになりました。44年近い長い間これまで務めてきましたけれども、職員の皆さん初め、皆さんには大変お世話になりました。改めて、この場をおかりしまして厚くお礼を申し上げます。また今後とも、村政にかかわりながら、いろいろと知恵も力も発揮できるのであればやっていきたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

○井上議長 3番目の質問者、山形議員。

○山形議員 議席番号7番、山形研介です。議長通告に基づき、質問をいたします。担当課の理事の答弁を求めます。

空き家情報バンク制度についてでございます。

先日、私のところに空き家を利用したいとの要望に来られました。そこで、2点についてお伺いいたします。

1つ目は、何かいい物件がないものかと考え、空き家バンクへ問い合わせしてみましたと

ころ、利活用が可能な家が空き家の登録はないとのことでございました。これが1点目。

2点目、空き家バンクの制度の現状、そしてふだんから私の住む小吹台を初め、村内でも多くの空き家を目にするのに、登録物件がなかなかふえない、その理由についてお伺いいたします。よろしくお願ひいたします。

○井上議長 質問事項の答弁者、高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 空き家情報バンク制度について御答弁申し上げます。

平成27年4月から導入しております空き家情報バンクの成約実績は、平成27年度の1件のみ、平成29年2月末現在の空き家の利用希望者の登録者は20件、問い合わせは延べ約90件程度いただいております。

一方、空き家を貸したい、売りたい物件所有者の登録数は、議員から問い合わせいただいた時点ではゼロ件でしたが、現在1件となっております。

議員御指摘の、空き家はあるのに空き家登録物件がないや利活用希望者がいるのに空き家情報バンクの成約実績が上がらないという現象は本村だけではなく、空き家情報バンクを実施している全国の自治体で起こっている課題であり、その多くは所有者がその家には住んでおらず、誰にも売ったり貸したりという資産運用をしない、できないことによるものです。一番多くお聞きするのは、お盆や暮れ、正月のみ帰省されるケースです。仏壇が置いてあり、親戚が年に数回だけ帰ってくる家として使用されているため、所有者から見れば空き家ではない物件です。そのほかには、所有者が不明の物件や相続の関係等で空き家として貸したり売ったりすることのできないような物件も多くあります。

空家等対策の推進に関する特別措置法いわゆる空家特措法を受け、本年度村内全域を対象に空き家実態調査を実施したところ、空き家と思われる物件は145棟でした。これまで、仏壇が残っているような物件は利活用されてくることはありませんでしたが、今後はこのような物件におきましても、積極的に資産運用していただけるよう、まずは所有者に興味を示していただきたいと考えており、今回の調査で空き家と考えられる物件のうち、所有者が明らかとなった120棟の所有者に対し、空き家情報バンクの案内を初め、利活用する際の改修費用の補助制度等の案内や、空き家の利活用に向けたアンケート調査を送付したところです。

空き家の利活用は、地域活性化に不可欠でありますことから、今後も着実に空き家物件の登録が増加するよう取り組みを進めてまいります。

以上、答弁といたします。

○井上議長 質問をお受けします。

山形議員。

○山形議員 今まで、この件について各先輩議員も質問をなさいました。今回の今の答弁ですけれども、一応政府の方針もあったんでしょうけれども、今お調べ願ったところ、今の答弁で145棟の中で所有者が明らかになったのが120棟という答弁をいただきました。これは今までにない答弁だと私は考えております。今後、こういう形の調査をしていただきまして、いい結果が出ますように願っております。

そこで、1つ再質問をさせていただきます。

私のところへ、ちょっと活用させてほしいというのがありましたもので、こういう質問を書かせていただきました。空き家を利活用するほうにスポットを当ててお伺いさせていただきます。

現在の空き家情報バンクは、移住者希望である個人に対しのみ情報提供することを想定しております。そこで、NPO等団体が空き家の利活用を希望するケースを想定されておりません。村として、移住者獲得は最重要課題であるということについては私も認識しておりますけれども、地域を活用化するためにもNPO等団体の力をおかりすることも重要であろうかと考えます。空き家情報バンクの利用者、希望者登録に団体も加えるべきと考えますが、この点についてお伺いいたします。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 空家特措法では、空き家等の所有者または管理者は周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、空き家等の適切な管理に努めるものとする規定されるとともに、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態、または著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより、著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空き家等を特定空き家として位置づけ、市町村長は除却、修繕、立木竹の伐採等の措置等の措置の助言または指導監督、命令、さらには要件が明確化された行政代執行の方法により強制執行を可能とする規定が設けられました。

本村といたしましては、空き家の所有者が適正管理をするための一つの手法として、空き家情報バンクに登録いただき、売却や賃貸を通じて適正管理をしていただくよう促してまいりたいと考えており、空家特措法の周知が進めば、登録物件も増加する可能性もあります。

議員御指摘のとおり、現在の空き家情報バンクの利用者は個人のみしか想定しておりませんが、物件所有者がNPO等団体に賃貸することを希望されることも想定されます。また、団体等による地域を活性化する活動を支援していくためにも、今後空き家の利用希望者の登録を団体等も可能とするよう開設することといたします。あわせて、団体等が利活

用する場合には、都市計画法上、居住用の建物、店舗等への用途変更をする必要が生じる可能性も想定されることから、円滑にマッチングができるよう利活用の目的に対応可能な物件を見きわめながら、きめ細やかに相談に乗ってまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

○井上議長 山形議員。

○山形議員 ありがとうございます。

先ほども述べましたように、この答弁の中で一つ一つ職員さんの努力で、今こういう答弁をいただいたんだと思いますけども、やはり120棟の棟があることによって、所有者がおることによって村が活性化につながるというのが私の考えであります。ぜひとも努力していただきまして、一件でも多くそういう利活用ができますようお願いしたいと思います。

そこで、最後に要望させていただきたく思います。

空き家の利活用は、地域の活性化の生命線であると考えております。少しでも多くの空き家を利活用するように、仕組みを実現していただくよう要望して、この質問を終わります。ありがとうございました。

○井上議長 4番目の質問者、清井議員。

○清井議員 議席番号5番、清井でございます。通告のとおり3点質問します。

まず、赤阪小学校学童保育と幼稚園のあり方についてお聞きします。

新年度の予算説明書によりますと、幼稚園の3歳児が17名中3名となっております。この理由は、働くお母さん方が夏休みのない保育園に子どもを預けられる割合がふえたためとのことでした。同様の理由で、赤小のPTAの中でも学童保育の早期実現を望む声が多く大きくなってきております。年間出生数が少ない中、今後も保育士への入所希望者がふえるとすれば、幼稚園のあり方についても検討する時期にきていると思われま

す。子育て支援として、全国的に認定こども園の設置が進められておりますが、本村でもこれについて検討されてはどうか。あわせて、学童保育についても真剣に検討していただきたいと思

います。2点目は、市街化調整区域の利活用への取り組みと今後の見通しについてお聞きします。

昨年6月に開催されました村都計審で、第3次都市マス改正案が承認されました。この改正点は、地区計画開発許可制度などを柔軟に活用して、集落機能を維持しつつ地域が活性化する取り組みを可能とするものであります。あわせて、調整区域における地区計画ガイドライン案が示されました。これにより、調整区域の利活への第一歩が踏み出されたも

のと思っております。そして本年1月、大阪府から既存集落等の機能やコミュニティの維持への対応を目的とする開発等の取り扱い案のパブリックコメントが実施されました。その結果はどうであったのかお聞きしたいと思います。

そして、今後の提案基準の整理、大阪府の協議等も行われるわけですが、調整区域活用への今後の見通しはどう進められるのかお聞きします。

3点目は、新庁舎建設の財源計画についてです。今年1月に建設計画の見直しに伴い、代替案が示されました。計画見直しの主な理由は、くすのきホール解体に対する住民の声と事業費が当初の見込みを大幅に上回ったためであります。本議会は、10日の特別委員会で代替案に現庁舎の建てかえてで進められるよう決議いたしました。この場合の事業費はおよそ10億9,000万円とされております。ただし、仮庁舎とするくすのきホール改修費は事業費に計上されておられません。この点につきましては、検討委員会でも指摘されました。くすのきホールの改修の位置づけとその費用を幾らと見込み、財源はどうするつもりなのかお聞きしたいと思います。

○井上議長 質問事項1番目の答弁者、北浦教育課長。

○北浦教育課長 御答弁申し上げます。

新年度のこごせ幼稚園の入園者は3名で、これまでになく少ない状況です。この入園者数の極端な現象が、来年度に限ったことなのか、今後も続いていくかの判断は難しいですが、共働き世帯が大部分を占めている若い保護者世帯においては、0歳児から預けられる施設の必要性が高くなっていることは事実です。今後、村内の保育施設としては、0歳児から預けられ、幼稚園機能もあわせ持つ認定こども園の存在が望まれてくるものと予想され、公設、民設にかかわらず、認定こども園設立の場合の就学前教育、保育を検討していく必要があると考えています。

また、赤阪小学校区の学童保育に関しましては、幼稚園のあり方の議論と並行してできるだけ早期に開設できるよう検討してまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 再質問します。

3月2日に赤小のPTAの役員さんと面談しました。赤小から小吹台へ行ってるのは5名程度らしいです。それぞれ児童の下校時間には違いがありますから、その都度小吹台から迎えに来てもらっている。ただし、小吹台からの帰りは原則保護者が迎えに行くことになっている、そのようなことをおっしゃってました。

関連しまして、小吹台小学校では学童の指導員が見守りをしながら放課後運動場を開放

しており、学童保育の児童以外にも自由に校庭で遊んでいる。ただし、赤小は原則放課後は校庭は解放していない。しかし、月に二、三回はPTAの事業として、保護者が見守り役をする中で運動場を開放してもらっている。その場合、解放された日には児童100人中30人程度が遊びにきている。それは、家の近くに大きな公園がないからということだ。

例えば村のほうから、赤小の校庭開放の件ですが、シルバーさんをお願いして可能な限り運動場を開放してもらえないかというような話もありました。これは、学童保育への第一歩として、これぐらいなら実現可能かなと思いますが、いかがでしょうか。

○井上議長 近藤参事。

○近藤教育課参事 赤阪小学校の運動場開放なんですけども、PTAの方に見守りをしていただいて、毎日ではなくて月に数回程度行っているところです。ただ、小学校の校長、教頭等、PTAの役員の方と話し合いでそのようになっているようで、人手不足という意味ではなくて、事故とかがとか起きたときの責任の所在という点から必ず見守りが必要というような話になってるようですので、そういった責任がシルバーさんとなると、やはりなかなか難しいのではないのかなと思います。ただ、教育委員会事務局としましては、放課後子どもたちが外で元気に遊んでもらいたいと思いますので、もう少し日数的なものを考えられないかとか、保護者と話し合っただけではどうかというのを学校に促したいと思います。

以上です。

○井上議長 質問、要望もございませんか。そうですか。

質問事項、2番目の答弁者、高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 市街化調整区域の利活用への取り組みと今後の見通しはについて御答弁申し上げます。

村内の集落の活力維持に向け、昨年6月に村都市計画マスタープランの改正及び市街化調整区域における地区計画のガイドラインを策定し、5,000平米以上のまとまりのある開発を行う地区計画の運用を開始し、現在森屋北部において商業施設の誘致に向けた取り組みを進めております。

御提案の提案基準、既存集落等の機能やコミュニティの維持への対応を目的とする開発等の取り扱い案は、本村のような過疎地において、地区計画に満たない小規模の個別の開発が可能とするよう大阪府に要望してきた結果、策定していただけるようになったもので、現在府において新提案基準策定に向けた準備が進められており、パブリックコメントが本年1月23日から2月23日の1カ月間実施され、3月上旬には寄せられた意見とそ

れに対する府の考え方を公表した上で、3月中には大阪府開発審査会を開催し、決定していくとのことでした。

この新しい提案基準の運用に当たっては、市町村が独自に区域や具体的な基準を策定する必要があることから、例えばUIJターン向けの住宅や古民家カフェ、工房、アトリエ等の建設が可能となるように府と協議を行ってまいりたいと考えております。新提案基準策定後は、千早地区での地域活性化事業のツールとして、さらには不動産業界に情報発信し、本提案制度を広く活用してもらうことで、集落活性維持に努めてまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

○井上議長 質問をお受けします。

清井議員。

○清井議員 あと、大阪府との提案基準の整理、協議ということになってくるかと思うんですが、できるだけ早く進めていただきたいと思います。

これは1つの提案なんですが、集落が活力を維持、活性化をするには、やっぱり若い力、若い人たちを村へ呼び込んでくるという施策も大事だと思います。しかしながら、本村の住宅事情をこうして並べてみましたら、戸建て住宅が中心でして、学生や若い社会人が親の家に同居しない限りは、村内で戸建て住宅を購入するというのは、これは非常に難しい話かなと思います。

それで今回、大阪府との協議に当たって、若者が転出しないように、また移住者が住み着きやすいようにするために、賃貸住宅といいますか、そういったタイプの住宅も建設可能とするような取り組みも大事ななと思っております。こういった提案基準の協議というのは可能なかどうかお聞きしたいと思います。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 集落の活力維持や回復を図る上で、若者の力はなくてはならないものと私たちも認識しておりますが、若者が村内で住み続けていただくための環境づくりはできてないのが現状です。

現行の開発許可制度では、市街化調整区域で認められる住居は自己用の戸建て住宅の建設を基本としており、共同住宅は建設できないこととされております。本来、市街化区域で共同住宅を建設すべきですが、市街化区域である小吹台地区では、地区計画により建設を禁止しており、森屋や水分など北部市街地では余剰の土地がほとんどないことから、既存の空き家の利用に加え、議員御指摘のとおり、市街化調整区域において共同住宅の建設が可能となるよう協議を進めてまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 ありがとうございます。

ぜひそのように、いろんな用途の建物が建てられるように進めていただきたいと思います。そして、あわせてこの制度が一日も早く実行できるように話を進めていただきたいと思います。要望して終わります。

○井上議長 質問事項3番目の答弁者、高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 新庁舎建設の財源計画について御答弁申し上げます。

2月17日から27日まで、3つの代替案に対する住民アンケートを実施しました。結果として、代替案2、現庁舎の位置で建てかえが一番多く、その結果を踏まえ先般庁舎建設特別委員会で最終案として現庁舎の位置で建てかえに決定したところです。

御質問の仮庁舎として利活用する、くすのきホールの大ホールの改修経費については、約1億5,000万円と試算しておりますが、これらの経費は施設そのものの維持補修や長寿命化計画の中で対応していくべきものと位置づけを整理し、新庁舎を建設してもしなくても対応が必要となることから、代替案の総事業費には計上いたしませんでした。

現庁舎の位置での建てかえの場合、結果として庁舎建設の際の仮庁舎として利活用することといたしますが、可能な限り経費を抑制したいと考えております。

また、これら改修経費の財源につきましては、今回の改修が大ホールそのものの利活用を促進するための改修であることから、過疎対策事業債を活用するなど、可能な限り有利な財政支援の活用を進めてまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

○井上議長 質問をお受けします。

清井議員。

○清井議員 私は、これまで遊休財産の整理の関連して、村が所有するいわゆる公共施設等総合管理計画を早うつくったらという話、行政側もつくとおっしゃってて、28年度中という約束があったんですが、先日の全協でその素案が初めて示されました。その中で、そういったものの中で、今後のくすのきホールのあり方という項目もあったかと思うんですけども、今回庁舎を、ここを解体して、どっちにしたっていわゆる仮設経費としての仮庁舎が必要なんですけど、それをくすのきホールで今後維持管理していく、有効活用していくためにということで、仮設経費ではなくそういった今後の施設管理の面での経費として見るというふうにおっしゃってるわけですね。くすのきホールの改修費に1億5,000万円とありますが、用途とすれば、事務所として用途する。それが後々ホールとし

て利用する。そうしますと、実際どんなものを想定してはるんか。後々、本体の庁舎の建設期間中は仮設の事務所ですが、それが終わった後、そのホールをどのように利用していくのか。そして、関連して空調設備が悪いとか排水が悪いとかいろんな課題があるようですが、どこまでそれについて、この1億5,000万円の中で改修していくおつもりなのかということ。1億5,000万円の出については過疎債が活用できるよということをおっしゃってますが、実際どの程度、財政課との協議等はどうされてるのかお聞きしたいと思います。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 くすのきホールの大ホールの改修について御答弁申し上げます。

今後の公共施設のあり方につきましては、現在総務課において公共施設等総合管理計画の策定作業中であり、先般の全員協議会においてもその素案を報告させていただいたところです。本計画は、役場庁舎やくすのきホールを初めとする村の公共施設、公共建築物について基本的な方針を盛り込む予定としており、新庁舎建設案との作成と並行して調整してまいりました。

今回のくすのきホールの大ホールの改修内容は、仮庁舎として一時的に利用するための簡易で最低限必要なレベルの改修というわけではなく、本計画に基づき、維持補修や長寿命化対策を目的とし、本格的な改修を行う予定であることから、仮設経費ではなく施設の更新に係る経費として認識いたしております。

次に、具体的な改修内容につきましては、太子町の万葉ホールのような多目的ホールをイメージしておりまして、客席及び舞台部分の床を上げてフラットなホールに改修いたします。また、空調設備につきましても老朽化しているため、6メートル程度の天井を設け、E S C O事業で省エネルギー対応の空調設備に改修、照明設備などもL E Dに改修する予定です。

最後に、財源の過疎債につきましては、係る経費に対して全額活用する方向で財政担当課と調整しているところです。

以上、答弁といたします。

○井上議長 清井議員。

○清井議員 全体の事業費について、もう一回聞かせてもらいます。

今回の現庁舎建てかえに当たっては10億9,000万円、大きな数字を示されております。これについて、くすのきホールでの建てかえのときの反省として、それが当初見込みより大幅に上回る、その要素としてはアクセス道路といった初めからわかっているもの

は別にしましても、擁壁のやりかえであったり排水処理機能であったりというような、非常に基本的なというか、開発区域を定める場合には当然調査しておくべき課題が経費として見てなかったというような話がありました。

余談ですが、私は前に一度、庁舎の建設というのは役場にとって非常に大きな事業やから、庁舎建設準備室とかそういうのをつくって、ある程度専門家集団でそれに当たってもらったらどうかという提案をしたけども、前の副村長に蹴られました。それで、後から思えばそういうことも必要じゃなかったのかなというような気がします。

けさ補正予算で、地籍関係の登記関係の補正予算で上がってきてます。これはもう当然に、開発区域を決めて、開発区域をくくるには筆界確認とかそういう地図の関係の費用というのは一番先に投入されるわけなんですけども、そういったものの、それは当初10億9,000万円の中で見込まれている話なのか。そして、この場所は教育委員会に聞きましたら、文化財の調査が必要であると、そういうことも聞きました。それから、前のときにも出ました排水処理機能、前の道路側溝で、これでいけてるんですかねという話ですね。それから一つ、建物を建てますから土地のボーリング、地質調査、こういった費用も計上されてるんか、その辺の課題と関連する費用の整理というのができてるんかどうかお聞きします。

○井上議長 高橋理事。

○高橋理事兼地域戦略室長 事業費について御答弁申し上げます。

新庁舎建設の計画見直しに際しましては、候補地選定業務を委託し、建築職の村職員の管理のもと、3つの代替案を取りまとめたもので、具体的には敷地余剰権等の調査や整理、計画条件の設定など事前調査を行い、課題の洗い出しやその対応策など検討してまいりましたもので、可能な範囲で事前調査ができていますものと認識いたしております。

御指摘の経費につきましては、一般的に必要とされる測量や筆界確認関係経費、地質調査経費などの主な経費については見込んでおりますが、地図訂正費用などの定額な経費や試掘の結果により大きく変わる埋蔵文化財調査経費は必要な経費であるとは認識しておりますが、計上しておりません。

また、排水処理につきましては、現在雨水の放流先が府道富田林五條線の道路側溝となっていますことから、富田林土木事務所に相談しているところですが、具体的な建設案での流量計算による確認などが必要との指導をいただいておりますのでございます。このたび最終案が決定しましたので、より具体化する中で引き続き協議してまいりたいと考えております。

今後、現庁舎の位置での新庁舎建設の具体的な協議を進めていくこととなりますが、議

員御指摘のとおり、早期の課題把握と解決そしてコスト削減を基本に庁舎建設事業を推進してまいりたいと考えております。特に、コスト削減につきましては詳細を詰めていく中で、今回計上していない経費や建築物価のアップにより事業費総額が増加する可能性もありますが、今回の住民説明会や住民アンケートで寄せられた意見の中では、人口が減ってくるから代替案のような規模の庁舎は要らないとか議会が広過ぎるなど、厳しい意見も寄せられていることから住民の意見を真摯に受けとめ、建設コストを極力抑えるよう調整してまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。

○井上議長 質問をお受けします。

○清井議員 要望しときます。

○井上議長 はい。

○清井議員 できるだけ、今おっしゃっていただいたとおり、非常にやっぱり大きな事業ですから、計画で1つ穴があきましたらもうどかんと様子が変わってくるということのは往々にしてありますんで、くすのきホールの轍を踏むことなく慎重に進めていただきたいと思います。

終わります。

○井上議長 第5番目の質問者、関口議員。

○関口議員 2番、日本共産党関口ほづみです。私は通告に基づき、3点について質問いたします。

初めに、学校給食の無償化で人口増を求めて質問いたします。

全国的な少子・高齢化、人口減少の中で、国のまち・ひと・しごと創生事業に基づいて各自治体が人口減少対策に取り組んでおります。例えば、学校給食費の無償化は全国55市町村で実施されています。近畿では、兵庫県の相生市、奈良県黒滝村、北山村、和歌山県高野町、北山村、古座町、京都の伊根町の7市町村で実施されております。本年4月からは、7町村が新たに加わり、少なくとも全国で62自治体に上り、その成果もあらわれております。

憲法26条では、義務教育はこれを無償とするとしております。この立場からも、学校給食費の無償化や補助は全国的な流れになっております。村では、ことし1月から給食費への補助を実施していただき、府下では一番安い給食費となりました。村平成29年度村政運営方針では、子育て世代の定住化を図ることで生産年齢人口、将来を担う年少人口を増加させ、選ばれるまちを目指すための攻めの予算を編成したとしておりますが、近隣市町と比べて思い切った事業とは思えません。選ばれるまちを目指すための攻めの予算とい

うのであれば、大阪府下ではまだどこも実施していない給食費の無償化を行うべきではないかと思えます。

次に、小吹台入り口の自動車解体業者進出について質問いたします。

小吹台入り口の自動車解体業者進出工事に端を発して、改めて村周辺の環境保全策が急務となっております。今議会には、業者進出反対と村環境保全条例の制定を求める請願が3, 169名の署名を添えて提出され、その請願は午前中に採択されました。今後は、請願の趣旨に沿って村としてあらゆる努力をしていただくことを求めます。

小吹台入り口工事については、昨年7月末から草刈りが始まり、何ができるのかもわからないままに急ピッチで工事が進められ、小吹台住民の不安が噴出いたしました。私は、住民の不安を取り除くことを優先して、富田林市や大阪府に申し入れ、情報を住民に知らせるとともに、法違反をしていないか、富田林や大阪府にパトロールの強化と指導を求めてまいりました。しかし、業者は法すれすれにどんどん工事を進めました。11月25日には社長が逮捕され、1月5日に再逮捕され刑が確定したことによって、ダラジーニ本人が自動車解体業を行うことはできません。こうした経過で、現在は工事がストップされたままではありますが、今後どういう形で工事が再開されるのか不安です。地元では、住環境を守るため、対策委員会で熱心に協議されています。村の環境を守るために、住民の立場に立ち、村としてあらゆる努力をすることを求めます。

そこで、一刑が確定した社長の現在の状況について村が把握していることを全て教えていただきたいと思えます。

2つ目に、対策委員会に村、富田林、大阪府の担当も来ていただき、情報交換や状況の説明などをしていただくことを計画していました。ところが、日程調整またその他の意見もあり、そのことはまだ実現しておりません。今後、この問題を解決していく上で、情報交換や関係機関の説明を受けることは大事なことだと思います。地元の要請があれば、積極的に協力していただけるのかお伺いいたします。

最後に、高齢者福祉の充実を求めて質問いたします。

高齢化が加速する中、千早赤阪村の高齢化率は41.1%で、府下平均の25.9%を大きく上回り大阪府下で最高となっている中、村では介護予防や要介護者の生活支援に努力をしていただいております。軽度の要介護者や要支援者がデイサービスに行けない日は、長い1日の終わりを家の中で待つしかない、こういう生活をしているという例が何件もあります。地域のボランティアや社協の協力で、地区の集会所などで出張デイサービス、おしゃべり会、お茶飲み会などができないのでしょうか。交通手段を使って自力で趣味の教室やお友達のところに行けない高齢者は、つつい家の中にひきこもりがちにな

り、体力も弱っていく、お医者さんにかかる、これは悪循環だと思います。近くの集会所などには歩いてでも行けるのではないのでしょうか。何らかの形で、こうした出張デイサービスなどが実施できるようにしていただきたいと提案いたします。

以上、よろしく願いいたします。

○井上議長 質問事項1番目の答弁者、北浦教育課長。

○北浦教育課長 御答弁申し上げます。

学校給食法で、給食施設の設置や運営に要する経費以外の学校給食費は保護者負担とすると明記され、多くの自治体では食材費相当額を学校給食費として保護者に負担を求めています。御質問の無償化については、保護者の負担軽減をという趣旨と考えますが、以前からお答えしていますとおり、適正な受益者負担の観点から実質無償化である100%補助とすることは考えておりません。

以上、答弁といたします。

○井上議長 質問をお受けします。

関口議員。

○関口議員 平成28年度、今年度の予算で、こごせっ子応援プラン1、200万円が計上されておりましたが、この1、200万円は実際にどう活用したのかお伺いいたします。1月からの給食費の軽減の費用にだけ使われたのか、その辺をお尋ねいたします。

それから、平成29年度予算では給食費補助が453万8,000円計上されておりますが、無償にする予算として新たに1,600万円あったら無償化の予算となるという予算審議の中で出ておりましたけれども、給食費の無償化に必要なお金は約2,000万円と私は試算しますが、平成28年度のこごせっ子プラン並みの予算に、わずかに乗せれば無償化は実施できるのではないかと思います、その点についてお尋ねいたします。

○井上議長 北浦課長。

○北浦教育課長 平成28年度当初予算の1,200万円こごせっ子教育応援事業として計上していましたが、全面的に事業の見直しをさせていただきまして、学校給食費の補助のみとさせていただきました。

それから、29年度予算453万8,000円で、あと幾らが無償にするのに必要かということですが、今保護者に29年度の予算として、学校給食会の予算としては、給食費自体は2,100万円ちょっとになっております。したがって、その差額が無償化するには必要になっておりますけれども、それは無償化した場合であって、もともと以前からお答えしておりますとおり、その給食費補助以外の部分については保護者に負担いた

だくという方針でございます。

以上でございます。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 先ほど申し上げましたように、今年度平成30年度の給食の軽減費用453万円プラス、あと平成28年度のごせっ子の応援プランでしたら1,200万円ですけれども、その程度もう少し上回る、思い切れば給食費は無料化できるということを主張したいと思います。

それと、私はいつも、村の学校給食は村で自慢できる一つだと宣伝をしております。もちろん、その内容については給食の関係者、教育委員会の皆さんが努力をしていただいているということを経験した上ででございます。この給食の内容がよいということとあわせて、給食費は無償で大阪府ではどこも実施していない、このことをアピールして子育て世代の定住を図ることは期待できるのではないかと思います。

午前中のいろんな意見もありまして、お医者さん代が無料が拡充されてきた。全てうちの村は後追い、後追いになってるんですね。これを、千早赤阪村、大阪で唯一の村、そこで学校給食の中身もよい、無料化したということのアピール性とあわせて、子どもを育てる世帯を呼び込むという、そういうことにつながると思いますが、その点はどうでしょうか。

○井上議長 北浦課長。

○北浦教育課長 以前から申し上げてますとおり、学校給食の無償化ということは現在考えておりません。ただ、先ほど議員言っていただきました千早赤阪村の給食については、ほかへアピールできる、自慢できる内容であるということはそのとおりであると、我々も自覚しておりますし、ほかの市町村から転勤されてきた学校の先生方も、いい意味で驚いていただいております。したがって、今後はこういう、まず給食の内容が自慢できるものであるというようなことをよりアピールして、それによってほかの市町村から、子どもを育てるなら千早赤阪村へ行かせたいと、行きたいというようなことを打ち出していけばいいんじゃないかというふうに考えております。

以上でございます。

○井上議長 要望をお受けします。

○関口議員 要望しておきます。

給食の内容がいいよ、給食代も安いよというだけでは、繰り返しますけれども、アピール性がないし、もうちょっと努力していただいて、内容もいい上に無料やよということでもんどもん来ていただくという、そういう思い切った予算にさせていただくことをお願いして

終わります。

○井上議長 質問事項2番目の答弁者、松本村長。

○松本村長 まず、小吹台入り口の工事の状況でございますが、昨年11月25日にダラジーニ社長が逮捕されました。現在、釈放されておりますが、確定刑が自動車リサイクル法の欠格要件に当たるため、社長本人が自動車解体業を行うことができません。一旦工事は中断している状況でございます。今後、事業者がどのような方法で当該地を利用されるかと、大阪府を初めとする関係機関と連携し情報収集に努めるとともに、小吹台自治会や住民の皆さんに可能な限り情報提供を行ってまいります。

また、昨年9月に実施いたしました住民説明会の後、自治会からの要請がございました。再度の説明会の開催に向け、大阪府、富田林市、河内長野市に出席依頼を行い了承をいただいたところでございますが、小吹台自治会内部での調整がつかず、まだ実施できない状況でございます。

次に、条例制定の請願が採択されましたが、まずは来年度予算で美化や環境に対する幅広い条例の制定に向けた検討費を計上しており、今後法的な課題や規制に対する内容について有識者の方の御意見もいただきながら、住民の皆さんにも参画いただき、十分時間をかけ、千早赤阪村になじむ条例を策定したいと考えております。法的にできることとできないことがございますが、今後も住民の皆さんの声に耳を傾けながら、努力は惜しまず、住民目線で対応していきます。

○井上議長 質問をお受けします。

関口議員。

○関口議員 午前中に採択されました請願については、一部問題もある中ではありますけれども、採択されました。請願の趣旨に基づいて最大限効果のある条例をつくっていただくことを要望しておきます。

それで、社長については再逮捕された後、4カ月ほどもうこのままの状態になっておまして、一応あそこは静かなものですので、余り皆さんが以前のように不安を抱くということは、今のところありませんけれども、村長も申されましたように、今後どうなるかわからないという不安は常にあります。そういう中で、こんだけ長いこと静かやから、社長は国外退去してるんじゃないかといううわさもありますが、その辺で村として社長の状況を、今どこかにいて何かしてるというような情報があれば、ぜひ伝えていただきたいと思っております。

それと、9月の説明会以降2月に対策会議に来ていただいて、説明会、情報交換なりをするということは、先ほど言いましたように調整がつかず実現できておりませんが

も、それはそれとして、今後その対策会議で、やっぱり直接情報を聞きたいというようなことがありましたら、関係機関、村、来ていただくことができるのかどうか、そのことについて再度お尋ねいたします。

○井上議長 池西課長。

○池西住民課長 社長の今の状況というところですけども、私ども社長と最近会っておりません。それで、富田林市からの情報によりますと、工事のほうは寒い時期ですんで一旦中断したいと。暖かくなったら実施する予定をしてるというふうなことも聞いております。それでまた、事業のほうも解体業ではなく、自動車の古物商、その許可を持ってはりますんで、その方向でやろうかなというふうなこともおっしゃってたというふうな情報は富田林市からいただいております。

それともう一つ、大阪府や富田林市のほうに説明会、その辺また出席していただけないかということですけども、これは村長みずから大阪府のほうや富田林市のほうに、9月の折に出席に関しては要望しておりますので、また実施されるようで村のほうにも自治会のほうから要望があるようでしたら、参加していただけるものと考えております。

○井上議長 関口議員。

○関口議員 今後の展開でどうなるのかまだまだ不安ですし、富田林市の情報によると、社長が古物商としてまた工事を始めるのではないかという情報もあるということですが、これまでも社長は何回も法違反すれすれのことをやりながらやってきているという中で、古物商をやるとなると、またいろんな違反をするのではないかという不安も広がってくるかと思えます。今のところ、大阪府とか富田林市が業者との接点を持っている中で、今の村の状況、請願が採択されていることなども、きっちりと彼らに伝えてもらいたいと思えます。

それから、暖かくなったら、そしたら来て、また不安が広がってくるという、私たちもそのことが本当に、またこれからどういう展開になるのかと、新たなことが出てきましたら、またそれはそれで地元としても運動の展開をまた変えていかれるかとも思いますが、そういう意味では大きな全体の説明会ではなくて、対策会議に情報を教えるというようなことを小まめにぜひやっていただきたいと思えます。その点ではどうでしょうか。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 今の御質問で、古物商だから解体業だからとか、外国人だからという、そこはよく承知をしておりますけど、日本人だって同じような可能性があるわけですから、余りそういうことを行政的に言うと、やっぱりいろいろ職業選択の自由とかそういうところの難しい問題があるのかなというふうには思っています。

法すれすれということなんですが、我々としては府とかあるいは富田林と協力して、自動車リサイクル法とか宅地造成等規制法とかそういうことに違反してないかとか、あるいは行政指導をきちっと守ってるかどうか、ということは、これは現地確認とか立入調査に同行する中で、厳しく見てるということですので、住民の皆さん方からも、これは法に違反してるん違うかとう、そういうお問い合わせがあれば、即座にそういうことの対応もさせていただけてるんで、やっぱりこういうことをきちっと積み重ねていくという中で、例えば相手方が法を守らないとか行政指導に従わないということであれば、結果としてその知事の許可がおりないということになるわけですから、そういうことを粘り強くやっていくしかないというふうに思ってます。

先生おっしゃったように、今後地元に対していろんな情報提供とか話し合いの場という、そういうことをおっしゃいました。それは、先ほど来村長も御答弁させていただいたように、我々はいつでも行きますよと。ただ、一定の9月18日みたいな無秩序な説明会じゃなくて、ルールを守ってやっていただくということであればいつでも行きますということ、これは申し上げているわけでございます。

関口議員ともこの議会でいろいろ議論を、この問題についてはさせていただいたかと思えます。大体1年ぐらいたつわけですよ、去年の5月にこの問題が出てきて、いまだその解決の糸口さえ見出せない。午前中も私、請願のときも申し上げましたが、やっぱり地域の環境を守るという、そういうところの価値観は全然違うと思うんですよ、住民の方も行政も議会も。にもかかわらず、同じテーブルに着いて話し合いが全然できてないというのは、僕は異常なことなんかなというふうに思います。原因はいろいろあると思うんですけども、そういう意味で、役場というのは、いつでもその地域の方々ときちっと話し合いをするという、そういう扉を開いてるということは、これから先生方、小吹台、いろいろあしたから選挙モードになるんでしょうから回られると思いますけど、これはやっぱりきちっと村のメッセージとして伝えていただきたい。それは、自治会の役員とか検討委員会のメンバーだけじゃだめなんですよ。一人一人の小吹台の住民にきちっとそのメッセージを伝えていただく。そこで要請があれば、出前講座でも何でもいいわけですよ。我々いつでもどこでも行くというふうに申し上げてるわけですから、やっぱりきちっと話をするということがまず大事なのかなと。きょう請願の中で、清井議員が退席をされましたが、もっとちゃんと話すべきちゃうかというのは、私ごもっともだと思ってます。そういう話し合いの場がきちっとできるようにするというのは、きょう請願の採択に賛成された、やはり議員のある意味責任だと思いますから、そういうメッセージをきちっと小吹台の住民の方に伝えていただきたいということをお願いしたいと思えます。

○井上議長 要望をお受けします。

関口議員。

○関口議員 制約のある中でいろいろお互いに努力してるというのはわかります。それと先ほど、外国人だからどうかというのは、本当に一部の方にそういうのがありますけれども、私たちは決してそういうことを言うてるではありません。そのところは理解していただきたいと思います。全部が全部そういうことでやってるわけではなくて、また9月18日の説明会についても、あれはよくないということは大半の方、私たちも当然そのように思っておりますので、そのところはみんなそういうものであるというふうにはとらんといてほしいなということを言うときます。

それから、今工事現場の反対側のほうは太陽光パネルが設置されております。住民の間には、今の問題の場所も太陽光パネルみたいなのができたらいいのになと、そういう声もありますけれども、当該地は富田林市ということでありまして、地域の環境を守るという立場で、こういうこともそういう観点で検討できないか、そういうこともこれからの課題として考えていっていただきたいなというふうにも思います。

以上、要望としときます。

○井上議長 質問事項3番目の答弁者、和田健康福祉課長。

○和田健康福祉課長 御答弁申し上げます。

高齢になっても元気で生きがいを持ち、住みなれた地域で自分らしく生き生きと暮らしていくためには、身近な地域で人と人とのつながりを深めることが重要です。

高齢者が何らかの形で地域や近隣の人との接点を持つことで、周りの人が高齢者の様子を把握することができ、高齢者の安全の確保にもつながります。ひとり暮らしなど、高齢者のみの世帯が増加していますが、高齢になると家の中にひきこもりがちになり、地域で孤立してしまうおそれもあります。それを防ぐためには、高齢者を初め地域の誰でもが気軽に立ち寄ってお茶を飲んだり、おしゃべりのできる居場所づくりが効果的です。

村では、地区福祉委員会や地域のボランティアによる喫茶や高齢者の集い、世代間交流、見守り声かけ訪問など、小地域ネットワーク活動を通じて高齢者の見守りなどを行うため、社会福祉協議会に事業補助を行っております。また、村の介護予防事業終了後は、身近な場所で運動や交流を続けることができるよう、自主グループづくりを支援しています。今後とも、社会福祉協議会と相談し、地域の資源を活用しながら、高齢者が地域の中でいつまでも生き生きと過ごせるような居場所づくりを考えたいと思います。

以上、答弁いたします。

○井上議長 質問をお受けします。

関口議員。

○関口議員 ある高齢者の方は、週に1回だけだけどデイサービスに通っていますと。その日はよう眠れるんやけれども、そのほかの日は眠れないので、お医者さんに行って、お医者さんから眠り薬を調合してもらって寝るという、そういう生活をしているそうです。デイサービスに行く日は、歌を歌ったりおしゃべりしたり、体を動かしたり気持ちも開放的になるので、楽しく過ごせるから眠れると。1日じっとして、夜が来たら薬を飲んでるって、こんな生活が決して楽しいとは思えません。ですので、デイサービスには行けないけれども、どこか近くのおうちに行って、お友達としゃべれるような、そういうことができれば、お医者さん代も要らないやろうと思うんです。

そこで、29年度の新たな予算で地域活動補助金が計上されました。各地区30万円以内で地域の実情に応じて補助されるというものだったと思うんですけれども、こうしたものを活用することも一つだと思うんですけれども、いろんなケースがあると思いますが、村としては各字ごとでそんなことができるような方法を検討していただきたいと、再度伺います。

○井上議長 清水副村長。

○清水副村長 今議員おっしゃった地域活動の補助金というのは、基本的に今、区に補助金を渡してる部分があるんですけども、それに上乘せして、地域独自にいろんな地域の課題に取り組んでいただくということで、例えば草刈りであったり、集会所の補修であったり、危険箇所の改修であったり、それぞれ補助率を100%から50%あるいは30%、幾つかのメニューを用意して、それぞれの地域で選んでいただくという補助金でございます。今我々制度設計してる中では、今先生おっしゃったようなそういう地域の生きがい対策というのは、特になくて、地元の区長さんからもいろいろメニューの御要望をお受けしましたが、その中でもないということで、とりあえず29年度はそういったメニューについては用意しておらないわけですが、それぞれの地域で高齢化が進んでおりますので、やっぱりそういう生きがい対策として、地域として全体で取り組んでそういうことをやっていくんだということであれば、各区から御要望をいただければ、それは補助メニューとして30年度以降検討していきたいというふうに思います。

○井上議長 質問をお受けします。

関口議員。

○関口議員 今副村長が言われたこの補助金のことですけれども、ある程度メニュー、こういうものしかできないのかなというふうにとられる方もあると思うんです。だから、こうしたこともあるでという、こっちからの提案も必要かなと思います。

何といたしても、私が言うてるようなことはやってくれる人、それから最初だけはちよっと村がお手伝いしてというようなことが必要ですので、そうしたことも含めて、今後実現に向けて努力していただくことを要望しまして終わります。

○井上議長 第6番目の質問者、田中議員。

○田中議員 6番、田中博治でございます。私は議長通告に基づき、以下の2点について質問をいたします。

1点目は、千早赤阪村国民健康保険診療の運営について、2点目は千早赤阪村立学校園の非構造部材の耐震化について。

まず1点目の、千早赤阪村国民健康保険診療の運営についてを質問いたします。

保健センター内の国保の診療所及び千早診療所は、平成19年10月から指定管理者制度を導入されました。医療法人のやすらぎ会所属の小吹台にあります植田診療所により運営を行っていただいておりますが、4月1日からは新しい指定管理者として、公益社団法人地域医療振興協会による運営を予定されております。私は、常日ごろよりこの千早赤阪村が無医村にならないかと心配で思っております。では、公益社団法人地域診療振興協会とはどんな団体なのか調べました。当協会は、昭和61年に地域医療への生きがいと実績を持つ医師が中心となられ、設立された団体だそうでございます。現在、北海道から沖縄県まで全国の68の病院や診療所、老人保健施設等を運営されていると聞いております。さまざまな僻地の医療問題に対しても、安心した医療、福祉で地域の振興を図り、医療の充実に全力で取り組む協会だそうでございます。

では、今後も住民の方が身近な場所で安心して医療を受けられることができるのか、また今後の村の診療所はどう変わっていくのか、以下の点についてお伺いをいたします。

1つ、診療所の職員は何人体制で実施予定なのかお伺いをいたします。

2つ、診療科目はどうなるのかお伺いをいたします。

3つ、診療時間はどうなるのかお伺いをいたします。

4つ、赴任される医師の経歴についてお伺いをいたします。

5つ、今後の取り組みについてお伺いをいたします。

6つ、住民の方への周知はどうされるのかお伺いをいたします。

以上、6点について明快なる御回答をお願いいたします。

引き続きまして、2点目の質問は、千早赤阪村立学校園の非構造部材の耐震化について質問をいたします。

村立学校園の本校舎については、10年前より幼稚園園舎を初め、赤阪小学校の体育館を初めとする本校舎と分館の耐震化を松本村長の英断により実施をしていただきました。

そして、翌年には村立中学校の体育館を初め、別館や本校舎の耐震化を実施していただきました。現在では、一定の安心できる教育環境は整ったと思っております。

それとは別に、大きな地震時には天井や照明器具や書棚や体育館内の備品等のいわゆる非構造部材の耐震化ということも今後考えていかねばならないと私は思っております。村の教育委員会として、このような整備計画についてはどのように考えておられるのかお伺いをいたします。

ことわざにもありますように、時にいて欄を忘れずの心境で私はあります。お伺いいたします。

以上で2点の質問は終わります。ありがとうございました。

○井上議長 質問事項1番目の答弁者、西口健康福祉課参事。

○西口健康福祉課参事 4月からの国民健康保険診療所の運営について御答弁申し上げます。

まず、診療所の職員でございますが、医師1名、看護師1名、事務職1名の計3名でございます。

次に、診療科目でございますが、内科、外科、小児科でございます。

次に、診療時間でございますが、保健センター内の診療所は午前の診療時間は、月曜日から金曜日の午前9時から12時、午後は月曜日、水曜日、木曜日の午後2時から午後4時30分までとなっており、午後の診療曜日がふえ、診療時間がふえることとなります。千早診療所は、火曜日と金曜日の午後2時から4時までとなります。

次に、医師の経歴でございますが、お名前は川妻史明氏でございます。年齢は現在52歳で、自治医科大学を卒業後、大阪府立病院、阪南中央病院、松原保健所、門真保健所などで勤務され、その後自治医科大学附属病院や新潟県のゆきぐに大和病院を経て、長野県で地域医療に携わっておられます。

次に、今後の診療所の取り組みについてですが、訪問診療など地域の身近なかかりつけ医として取り組んでまいります。

次に、住民への周知ですが、村広報紙に川妻医師のコラムなどの掲載や健康教室への参加など国保診療所や川妻医師の周知に努めていきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○井上議長 質問をお受けします。

はい。

○田中議員 西口参事、ありがとうございました。

千早診療所の動向についてお伺いをいたします。

千早診療所の改修工事をされたと聞いておりますが、どのような改修工事をされたのかお伺いいたします。

○井上議長 西口参事。

○西口健康福祉課参事 千早診療所の改修工事ですが、屋外にあった仮設トイレを撤去しまして屋内に新設するとともに、待合室からトイレまでは吹き抜けであったため、新たに壁を設置しまして防寒対策を行うなど、利用者の立場に立った環境整備を行いました。

○井上議長 質問をお受けします。

田中議員。

○田中議員 ありがとうございます。

千早診療所は、老朽化が進んでいますけど、今後千早診療所をどのようになされる、要は運営をされるのかお伺いをいたします。

○井上議長 西口参事。

○西口健康福祉課参事 今後の千早診療所ですが、御質問のとおり老朽化が進んでおりますので、建てかえや新設の必要性は認識しております。今後、千早地区におきましては、避難所等の防災施設の整備が必要と考えておりますので、その中で千早診療所の新設を検討してまいりたいと思っています。

以上です。

○井上議長 要望をお受けします。

○田中議員 ありがとうございます。

4月より村の診療所がリニューアルされると、新しい先生がおいでになることが決定されております。一安心であります。私は常々、何回も言っておりますけど、この村が無医村状態にならないこと、そして住民の方が身近な場所で安心して医療を受けることができるということで、村長を初め関係者の方々にはお礼をこの場で申し上げます。ありがとうございました。

○井上議長 質問事項2番目の答弁者、北浦教育課長。

○北浦教育課長 御答弁申し上げます。

村立学校園の非構造部材の耐震化につきましては、調査から実施まで相当な費用を要すると見られ、現時点でいつまでに終わるといことは明確に申し上げることはできず、村の財政状況を勘案しながら進めたいと考えています。耐震化実施までは、施設の設置者である村教育委員会と施設の管理者である学校園で日常の点検管理を行うとともに、経常的な経費により対応可能な書棚を固定することや非構造部材の落下による被害を受けないよう、緊急時における動線を想定しておくことなどにより、安全確保に努めたいと考えてお

ります。

以上、答弁とさせていただきます。

○井上議長 質問をお受けします。

田中議員。

○田中議員 ありがとうございます。

私は思うのですが、体育館や本校舎は耐震化されているので一応は安心だと思っております。しかし、本校舎は大丈夫だったとしても、体育館や教室などで非構造部材による被害が多数の児童・生徒が出てもつまらないとは思っております。

では、お聞きしますが、現在の村立小・中学校内で非構造部材でこれは耐震化をぜひやっておかねばいけないなというものがあれば、二、三程度教えてください。

○井上議長 北浦課長。

○北浦教育課長 非構造部材といいますのは、地震が起きましたら上から落下してくるあるいは倒れてくると。それによって、下にいる生徒や児童の身に危険が及ぶようなものということで、体育館にありますバスケットボールのゴールでありますとか、あるいは設置の仕方にもよりますけれども、照明器具でありますとか書棚など該当しますので、そういうものについては落下を防ぐ、転倒を防ぐというようなことが必要になってまいります。

以上でございます。

○井上議長 田中議員。

○田中議員 ありがとうございます。

これからの質問は、ちょっと私の一般質問と離れると思っておりますが、皆様御了承をお願い申し上げます。

これから2つの質問をいたしますので、お答えください。北浦課長にお伺いいたします。

1つ目は、いつも年中ですけど、暑いときも寒いときも市民グラウンドを見れば、いつもサッカーコーチをなされております。練習をやっておられます。そのサッカーの経歴についてお尋ねいたしますが、そして青少年に対しての思いを、いろいろあるかと思っておりますけど、苦労したこともいろいろあると思っておりますけど教えてください。

それから2つ目は、40年近く勤務された役場を今月末で退職なされます。その思い出はたくさんあると思っておりますけど、簡単ではいいですけどお願いいたします、お伺いいたします。

○井上議長 通告ございませんので、答弁しにくいような顔をしていますけど……。

○田中議員 議長のあれでお願いします。

○井上議長 最終ですので、答弁やなくて思うことだけ言うてください。

○北浦教育課長 こういう村議会の場で、一職員の退職に当たっての気持ちであるとか、好きでしてるだけのサッカーについて聞かれるというのは、恐縮といいますか、ここで発言が許されるのかどうかということですのでけれども、議長を初め議員の皆様もそういうことがあるほうがいいようですので、少しだけ話させていただきます。

ちょっとサッカーのことは予想してなかったんですけども、どんな思いとかということですけども、長い間してますけれども、本当に好きでしてるだけで、ただ子どもたちが楽しんでやればいいなということだけでしてきたということでございます。

それから、役場での生活を終えることにつきましては、昭和55年4月にこの役場へ入っていただいて37年間になると思いますけども、いろんな仕事をさせていただきました。そしたら、人にどんな仕事をしたのかと聞かれたか、私はこの道をつくったとか、俺はこの箱物をつくったとか、あるいはこの制度を構築して自分の給与分ぐらいの歳入を確保したとか、そのようなことを申し上げるようなことは何もございません。ただ、そのときそのとき命じられた仕事、配属された部署の歯車の一つとして業務に取り組んだにすぎません。それぞれの業務の間では、取り組みには私個人の感情としましては、つらいこと、苦しいこと、嫌なこともありましたけれども、村職員としての仕事である、業務であるということを生かして取り組んでまいりました。その成果としては、全てが全て満足できる結果でもなく、ああすればよかった、もっとほかのことができたんじゃないかという後悔もございます。ただ、今から時計の針を逆回転させて時間を戻すこともできません。後悔だけが残ってくるところでございます。できることなら、自衛隊体験研修からもう一回やり直したいという思いもありますが、とても体力的には無理だと思います。

このような職員でしたので、議員の皆様を初め住民の方にもいろいろ迷惑をかけたかと思いますが、そちらのほうは許していただきたいと思います。今後は、一流を目指すという村の力になれるとは限りませんが、あと少しばかり小さな歯車の一つとして、私たちの村の役には立つことができればと考えております。最後まで、今日まで御指導いただいた議員の皆様へのお礼とともに、また今後もよろしく願いますということで終わりとさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○井上議長 要望ございませんか。

○田中議員 本題に戻ります。御協力ありがとうございました。

先日のNHKを見ていますと、私は知らなかったんですけど、大川小学校、それから高校の教室に3階の窓を破って自動車が飛び込んでるんですね。なかなかないんですね。そ

れを存続されるとは聞いて、皆さんに見ていただくとはNHKが言っていたんですけど、こんな光景は僕が想像もしてなかったんですけど、神戸の大震災でもほとんどの方がたんすの下敷きとかで亡くなられた方が多いそうでございますけど、学校園も同じだと思っております。そのためにこの質問をさせていただきました。本校舎は大丈夫だったろうけど、体育館で児童・生徒が亡くなってたといっても、これもつまらないと思いますんで、ちょっと今この大川小学校ですか、高校の教室の3階に自動車が飛び込んできたと、津波で。ここは津波ありませんけど、そういうことも、想像もしてないことが現実として起こったと。そして、大川小学校では70名から80名の方が亡くなられてるわけですね。だから、やっぱりそういうこともあるかと思えます。

また話は飛びますが、北浦課長も体を大切にされて、少しでも長く青少年にスポーツを教えていただいて、また今言われました村の職員なり、また村民として小さな歯車として頑張っていたければ幸いかと思っております。

これにて私の質問、2件について全て終わります。ありがとうございました。

○井上議長 以上で本定例会に付議された案件は全て終了いたしました。

ここで松本村長より挨拶がございます。

○松本村長 皆さんのおかげで平成29年度の一般会計、特別会計は全て成立させていただきました。どうもありがとうございました。

懸案でございました庁舎建設用地も、紆余曲折がございましたが、現庁舎建てかえと決定いたしました。新年度より早期建設に向かって走り出すつもりでございます。少子・高齢化の現在、住民の利便性とニーズに対応できるコンパクトで風通しのよい役所をつくりたいと思えます。

また、財政面でございますが、議員の皆さん、職員の皆さん、住民の皆さんの御協力により、やっと世間並みの財政運営ができるようになりましたが、残念ながら財政力指数は0.3台が現状で、予算でも税収を5億円弱としか組めません。道路インフラが非常に弱い、山地あるいは棚田しかない村で過疎からの脱却を目指すのは、全く新しい手法しかないとは私は考えております。多分、今までの従来手法ではとても無理やと思います。私たち行政も、人口1,000人増、税収3億円増への道を模索しております。

本来は、来月に村議会の選挙がございまして、ぜひ皆さんが当選いただき、ダイナミックな村づくりに御協力をお願いしようと思っていたところ、お二人からリタイアの表明がございました。残念でございますが、議員をおやめになりましても、ぜひ私どもの村のこれからの発展に御援助いただきたいと、心からお願いいたすところでございます。

あと、非常に私どもの村も、これからやっと財政的に幾分余裕ができたかなというところ

ろではございますが、非常に資産も傷んでおります。ということで、なかなか10億円や20億円そこそこの基金では安心できません。特に、我々が望むことはぜひ財政力指数がせめて0.5ぐらいまで持っていきたい、それが至上命題かなと思いながら一生懸命努力いたしますので、ぜひとも議員の皆さんの御協力をお願いいたしまして、これからの村づくり、ぜひ後押ししていただきますようお願いして、私の挨拶といたします。どうも今回ありがとうございました。（拍手）

○井上議長 どうもありがとうございました。

これで本日の会議を閉じ、平成29年第1回千早赤阪村議会定例会を閉会いたします。

どうも御苦労さまでした。

午後3時26分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

千早赤阪村議会

議 長   井 上   昭 司

議 員   関 口   ほづみ

議 員   徳 丸   幸 夫